

# 病 院 年 報

---

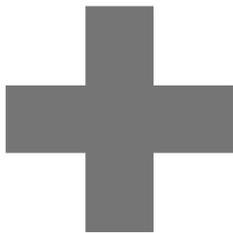
平成 28 年度

ANNUAL  
REPORT 2016

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

 日本赤十字社 福島赤十字病院





日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 病院年報

平成28年度

---

福島赤十字病院

---

# 福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

## 理念 Philosophy

みなさまに信頼され親しまれる福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital entrusted and loved by the community

## 基本方針 Policy

- 1. 患者さま中心の医療** Patient-centered medical care  
患者さまの人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた患者さま中心の医療に努めます
- 2. 良質な医療の提供** Providing quality medical care  
医療技術の向上および施設の充実を図り、良質な医療の提供に努めます
- 3. 地域医療機関との連携** Cooperation with the medical institution of the area  
よりよい医療を提供するために、地域医療機関との連携に努めます
- 4. 救急医療の充実** Enhancement emergency medical care  
救急患者さまには常時対応し、救急医療の充実に努めます
- 5. 災害時の救護活動** Relies activities at the time of disaster  
国の内外を問わず、災害時の救護活動に努めます
- 6. 経営の健全化** Soundness of management  
良質な医療活動遂行のため、経営の健全化に努めます

### 患者さまの権利

福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します

1. 最善にして公平な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が守られる権利
3. 個人のプライバシーが守られる権利
4. 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利
5. 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利

## 発刊にあたり



福島赤十字病院  
院長  
渡部 洋一

当院全職員の長年の夢であった新病院建設の社長承認が得られ、平成28年10月1日に建築を着工いたしました。この年報には、この記念すべき年、平成28年度に全職員が1年間努力して仕事に取り組んだ結果が掲載されています。

新病院建設事業の完遂と安定した経営のためには、医業収支の黒字化が必須です。新入院患者確保が重要であり、救急患者を断らず、紹介患者を円滑に受け入れる方針を再確認いたしました。その結果、地域医療支援病院としての紹介率は79.5%、逆紹介率は76.8%と高い数字を達成することができました。また年間の救急車受入件数は3,326件と過去最多となり、県北医療圏におけるNo.1を維持いたしました。前年度よりも新入院患者数が増加しましたが、在院日数は0.7日短縮した影響で病床利用率は0.5%低下しました。また、医事課を中心に経営改善プロジェクトを立ち上げ、総合入院体制加算、HCU入院医療管理料、脳血管疾患等リハビリ料1を取得、救急医療管理加算1と病棟薬剤業務管理加算等の算定を増やしたことが功を奏し、医業収益が過去最高となりました。さらに医業費用削減のため診療材料の安価な物品への変更と値引き交渉により診療材料費を大幅に削減し、医業収支の大幅な黒字化を達成しました。

新病院は平成30年8月に竣工予定であり、31年1月から診療を開始いたします。延床面積は24,802㎡で、病院棟は地上7階建、鉄骨造り、免震構造です。病床数は298床で、救急センター、循環器センター、脳卒中センター、HCU、救急病床を設け、救急医療、高度医療に力を注ぎます。入院患者の高齢化、認知症合併入院患者の増加を鑑み、精神科病棟を存続し身体合併症を有する精神疾患患者の入院診療を継続します。また災害拠点病院としてヘリポートを屋上に設置し、非常電源や井水設備を充実させます。

未曾有の超高齢化社会の到来によって病院を取り巻く環境は大きく変化しており、病院にも大きな変革が求められています。病気だけを診るのではなく、患者のADLや退院後の生活を考慮した診療を行わなければ質の高い医療とは言えない時代です。そのためには医師、看護師のみならずリハビリ療法士、社会福祉士、管理栄養士など多職種の実業スタッフの連携、地域の医療機関との連携が重要です。

新病院建設プロジェクトにおいて掲げた「ふくしまの未来に安心と希望を！」というキャッチフレーズにふさわしい病院を創り、福島県民、特に県北医療圏の住民のいのちと健康、尊厳を守るため努力してまいりますので、よろしくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

平成30年2月

# 目次

## 福島赤十字病院 平成28年度 病院年報

---

### I 一年の動き

1. 平成28年度の動き	1
2. 熊本地震における救護活動	6
3. 院友会	8

### II 病院の概況

1. 病院の沿革	11
2. 病院概要	13
3. 組織図	18
4. 職員数	19
5. 会議及び委員会	20
6. 救護班名簿	21

### III 統計

1. 平成28年度実績表	23
2. 月別入院実績表[入院患者数、入院稼働額、入院単価]	24
3. 月別外来実績表[外来患者数、外来稼働額、外来単価]	27
4. 行為別稼働額	30
5. 入院患者数	32
6. 新入院患者数	33
7. 外来患者数	34
8. 新外来患者数	35
9. 診療科別稼働額	36
10. 一人一日入院単価(自費収益を含む)	38
11. 外来単価(自費収益を含む)	39
12. 手術件数(手術室)	40
13. 平均在院日数	41
14. 病床稼働率(退院を含む)	42
15. 紹介率・逆紹介率	43
16. 分娩件数	44
17. 救急患者数	45
18. 損益推移	46
19. 比較損益計算書	47
20. 比較貸借対照表	48

## IV 活動実績

1. 内科・消化器内科	49
2. 糖尿病・代謝内科	50
3. 循環器内科	51
4. 神経内科	52
5. 精神科	52
6. 小児科	53
7. 外科	53
8. 血管外科・心臓外科	55
9. 呼吸器外科	56
10. 整形外科	57
11. 脳神経外科	57
12. 皮膚科	59
13. 形成外科	60
14. 泌尿器科	60
15. 産婦人科	60
16. 眼科	62
17. 耳鼻咽喉科	62
18. 放射線科	63
19. 麻酔科	64
20. リハビリテーション科	65
21. 薬剤部	66
22. 医療技術部[栄養課、臨床工学技術課]	68
23. 看護部	71
24. 検査部	82
25. 医療社会事業部[医療社会事業課、社会課]	85
26. 事務部[総務課、企画課、新病院建設準備室、会計課、医事課、用度施設課]	91
27. 医療安全推進室	98
28. 付帯施設[訪問看護ステーション、指定居宅介護支援事業所]	101

## V 会議・委員会活動

1. 会議	105
2. 病院運営に関する委員会	108
3. 医療安全管理に関する委員会	116
4. 診療に関する委員会	121
5. 教育・研究に関する委員会	128
6. 労務及び安全管理に関する委員会	129

## VI 研究発表

1. 学会・研究会発表	131
2. 学会・研究会講演	138
3. 論文発表・著書	141



I

一年の動き



# 1. 平成28年度の動き

## 平成28年 4月

- 辞令交付式〔1日〕  
医師8名、臨床研修医6名をはじめ、総勢58名の新規採用職員を迎えた。



- 新規採用職員オリエンテーション〔1～6日〕
- 平成28年4月熊本地震発災〔14日前震・16日本震〕→6p～7p  
熊本地震における人的被害は、建物倒壊等による「直接死」より避難生活に伴う体調悪化などによる「震災関連死」が上まわる。14日の地震では熊本県益城町や熊本市などに被害が集中、16日の地震以降は阿蘇市や八代市などに被害が拡大した。当院では4月20日から救護活動を展開し、病院支援や避難所内の巡回診療を実施する。

## 平成28年 5月

- 赤十字月間・看護の日イベント開催〔12日〕  
正面玄関エントランスホールにて、調剤薬局のおくすり相談、ハンドトリートメントや健康チェック、各種健康相談、熊本地震に対する福島赤十字病院の活動パネルの展示を実施。



- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.40』発行〔17日〕
- 永年勤続功労表彰〔23日〕



## 〈主要ニュース〉

- 電気事業法改正により電力の完全自由化が開始〔1日〕
- 「障害者差別解消法」が施行〔1日〕
- 熊本地震〔14日〕  
熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の「前震」が発生。2日後の16日にはマグニチュード7.3の「本震」が起き、いずれも最大で震度7を観測した。地震活動で震度7を2回記録したのは観測史上初。地震による死者50名、避難所や車中などで体調を崩して死者110名。
- 2020年東京五輪エンブレムが決定〔25日〕  
選ばれたのは野老朝雄氏デザインした「組市松紋」

- パナマ文書公開〔10日〕
- 第42回先進国首脳会議が日本の三重県志摩市（賢島）で開催〔26日～27日〕  
日本でのサミット開催は6回目。
- オバマ米大統領が広島訪問〔27日〕  
米大統領として初めて、被ばく地の広島市を訪問し、安倍首相とともに平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に献花した後、「核兵器のない世界」を目指す声明を発表。

# 1. 平成28年度の動き

- 福島赤十字病院ボランティア会総会〔25日〕

## 平成28年 6月

- ANA(全日空)様より「しあわせの花・すずらん」の贈呈〔2日〕
- 診療報酬改定勉強会〔13日〕
- 中学生ドリームアップ事業受入〔27日～9月2日〕



- 米大リーグ・マーリンズのイチロー外野手が日米通算4257安打を記録〔15日〕
- 北海道函館市で震度6弱の地震発生〔16日〕
- 「18歳選挙権」施行〔19日〕
- イギリスが国民投票で「EU(欧州連合)離脱」決定〔23日〕

## 平成28年 7月

- 新病院建設住民説明会〔2日〕
- 院友会総会・新人会員歓迎会〔6日〕→9p
- 新病院建設・経営改善職員説明会〔7日・12日〕
- 常備救護班救護員・新登録救護員任命式〔13日〕  
平成28年度救護員→21p参照
- 日本赤十字社福島県支部・病院・血液センター合同災害救護訓練〔16日〕
- 福島県看護協会主催「高校生1日看護体験」受入〔26日〕
- 熊本地震派遣報告会〔29日〕



- 「EU離脱」によりイギリス大統領に女性大統領テリーザ・メイ氏が就任〔14日〕
- 国立西洋美術館が世界遺産登録決定〔17日〕
- 「ポケモンGO」日本で配信開始〔22日〕  
拡張現実(AR)機能を使ったスマートフォンゲーム
- 東京都知事に元防衛相を務めた小池百合子氏が女性初当選〔31日〕

## 平成28年 8月

- 「福島わらじまつり・ダンシングソーダナイト」総勢100名参加〔5日〕→9p
- 東稜高校1年生病院ボランティア受入〔17日～19日〕
- 福島県総合防災訓練(会津若松市)〔28日〕

- 第31回夏季五輪リオデジャネイロ大会が開幕〔5日～21日〕  
日本は史上最多のメダル41個(金12個、銀8個、銅21個)を獲得
- 天皇陛下退位のご意向示唆〔8日〕



# 1. 平成28年度の動き

## 平成28年 9月

- 第19回東北ブロック赤十字病院球技大会(仙台市)[10日]
- 福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)起工式[28日]



- 豊洲市場の盛り土問題が発覚[10日]
- 女子レスリング伊調馨選手が国民栄誉賞受賞[13日]
- 鳥取県で震度6弱の地震発生[21日]

## 平成28年10月

- 東北ブロックDMAT参集訓練(山形県)[1日～2日]
- 日本赤十字社健康保健組合の設立[1日]
- 院友会旅行「松島散策と豪華寿司バイキングツアー」[1日・5日]→9p
- ふくしま防災フェア(福島市)[15日・16日]



- 大隅良典・東京工業大栄誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞[3日]
- 歌手ボブ・ディラン氏がノーベル文学賞を受賞[13日]
- 三笠宮崇仁親王薨去[27日]

- 癒しのクラシックギターコンサート[18日]
- 第52回日本赤十字医学会総会(宇都宮市)[20日～21日]
- 福島市総合防災訓練(福島市)[22日]

## 平成28年11月

- 多数傷病者対応訓練(浪江町)[1日]
- 第14回福島赤十字病院地域連携懇話会開催(ホテル辰巳屋)[2日]  
後藤大介精神科部長による講演  
「超高齢社会と認知症～地域で支える医療ネットワークの構築に向けて～」



- アメリカ大統領選が実施。共和党候補ドナルド・トランプ氏が次期大統領[8日]
- 福岡市のJR博多駅前で道路陥没[8日]
- 「ウルTRASーパームーン」観測[14日]

# 1. 平成28年度の動き

- 第4回福島赤十字病院ふれあいまつり開催〔5日〕



- 院友会旅行「東京ディズニー旅行」〔16日・19日〕→9p
- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.41』発行〔30日〕

## 平成28年12月

- 経営改善職員説明会〔2日・9日〕
- 院友会クリスマスパーティー〔14日〕→9p
- アルパコンサート〔14日〕→9p
- 院内クリスマスキャンドルサービス〔22日〕



## 平成29年1月

- 仕事初め・病院長年頭挨拶〔4日〕



- 消費増税再延期の改正法が成立〔18日〕

- ユネスコの無形文化遺産に「山・鉾(ほこ)・屋台行事」が登録された〔30日〕

- 2016年の流行語大賞に「神ってる」決定〔1日〕

- 韓国朴槿恵大統領の弾劾訴追案が可決〔9日〕

- 2016年の漢字に「金」決定〔12日〕

- 新潟県糸魚川市で大火事〔22日〕  
新潟県糸魚川市で中華料理店から出火した火が強風であおられ計150棟を延焼した大火事が発生

- 茨城県で震度6弱地震発生〔28日〕

- 天皇陛下の生前即位で平成31年から新年号(元号)に変わることが発表される〔11日〕

- アメリカの新大統領に“ドナルド・トランプ氏”が就任〔20日〕  
就任早々にTPP離脱を表明しました。

- 稀勢の里関が横綱昇進〔23日〕



# 1. 平成28年度の動き

- 「福島の病院にピアノと音楽を届けたい」実行委員会よりピアノの寄贈〔12日〕
- QCサークル発表〔12日・13日〕  
最優秀賞  
本館3病棟「人口呼吸器管理における口腔ケア」  
優秀賞  
リハビリテーション科部「総合実施計画書で、ガッチリ!!」  
医療安全推進委員会・患者誤認防止対策チーム「患者誤認防止ポスター作成」  
検査部「止血バンド、ホントはなくしたいです。」
- 院友会旅行「蔵王スキー・温泉旅行」〔28～29日〕→9p

## 平成29年 2月

- 日本赤十字社第1ブロック合同災害救護訓練(青森県)〔9日～10日〕
- 院内消防訓練〔16日〕
- 福島東稜高校インターンシップ〔21日～23日〕
- 第7回院内災害訓練〔25日〕  
大地震を想定した災害訓練を実施、災害対策本部を立上げトリアージエリア  
設営からの訓練を迅速かつ安全に行い、災害拠点病院としての行動を確認した。



- 北朝鮮が日本海に弾道ミサイルを発射〔12日〕
- [北朝鮮]金正男氏暗殺事件〔13日〕  
北朝鮮の最高指導者“金正日氏”の長男“金正男氏”がマレーシアのクアラルンプール国際空港で殺害された。
- プレミアムフライデー初開始〔24日〕

## 平成29年 3月

- 渡部病院長が福島県災害医療コーディネーターに委嘱された〔23日〕
- 臨床研修医の研究発表会と終了証書授与式〔23日〕



- 韓国朴槿恵大統領罷免〔10日〕  
韓国の憲法裁判所が朴槿恵大統領を弾劾により罷免することを決定。
- 改正道路交通法〔12日〕  
高齢者による事故が多発したことを受け「改正道路交通法」が施行された。
- サルマン国王来日〔12日〕  
サウジアラビアのサルマン国王が46年ぶり来日、1000人を超える同行者と500台を超える高級車を使用するなど豪華さが話題になる。

- 3月31日付退職  
幹部職員 名誉院長 芳賀甚市 副院長 今野 修
- 辞令交付式〔31日〕

## 2. 熊本地震における救護活動

平成28年4月14日(木)12時26分(前震)、4月16日(土)1時25分(本震)に熊本県熊本地方で国内観測初めて、マグニチュード6.5以上の地震後にさらに大きな地震が発生しました。

当院では、日本赤十字社の「わたしは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります」という使命のもと、DMAT(Disaster Medical Assistance Team：災害医療派遣チーム)および救護班、救護班車両および物資搬送支援、病院支援職員、こころのケア班を派遣し、救護に取り組んだ。

派遣地	派遣人員	期間
熊本赤十字病院支援	【DMAT】 医師1名 看護師1名	平成28年4月20日 ～26日
熊本赤十字病院 救護班車両および物資搬送支援	主事1名 業務員1名	平成28年4月23日 ～25日
熊本赤十字病院支援	看護師1名 主事1名	平成28年4月25日 ～5月1日
第1救護班 熊本県南阿蘇村、益城町	医師1名 看護師3名 薬剤師1名 主事2名	平成28年4月25日 ～5月1日
熊本赤十字病院支援	主事1名	平成28年5月3日 ～5月9日
第2救護班 熊本県益城町	医師1名 看護師3名 薬剤師1名 主事2名	平成28年5月4日 ～5月9日
こころのケア班 熊本県益城町	班長1名 看護師2名 精神保健福祉士1名 主事1名	平成28年5月19日 ～5月25日

熊本赤十字病院支援 4月20日(水)～4月26日(火)



救護班車両および物資搬送支援 4月23日(土)～4月25日(月)



第1 救護班

熊本県南阿蘇村、益城町 平成28年4月25日～5月1日



第2 救護班

熊本県益城町 5月4日(水)～5月9日(月)



こころのケア班

熊本県益城町 5月19日(木)～5月25日(水)



## 3. 院友会

### <概要>

福島赤十字病院院友会は当院に勤務する職員及び常勤の嘱託・臨時職員を対象に、職員同士の親睦を図ることを目的としている。会長は院長、副会長は副院長、事務部長、看護部長が務め、監事は会長が任命する。その他役員は各部署から毎年1名ずつ選出され、年間を通して季節に応じたイベントを企画運営している。

イベントの他、院友会員の体育および文化サークルの活動を通して親睦と福利厚生を推進を図ることを目的に“体育・文化サークル活動助成金”を交付している。(助成金交付対象サークル：野球部・ソフトボール部、バレーボール部、フットサル部・卓球部・テニス部)

### <平成28年度役員>

会長 渡部 洋一(院長)  
副会長 宮田 昌之、今野 修(副院長)、緑川 茂樹(事務部長)、會澤 英子(看護部長)  
幹事 出羽 明子(医局)、渡辺 泰昇(本3)、齋藤 安希(本4)、渡邊 彩香(1-2)、  
廣瀬 朱香(1-3)、松本 睦美(1-4)、佐藤 恵子(2-2)、菅野 宏美(2-3)、  
大沼 夏澄(3-4)、佐藤 弘子(外来)、伊藤紗也加(手術室)、二瓶 瑤子(薬剤部)、  
酒井 絢香(検査部)、阿部 直人(放射線科部)、三浦 友輔(リハビリテーション科部)、  
菊地 利恵(医療技術部)、貴島 竹代(事務部)、金子 瑛(事務部)

### <平成28年度活動報告>

日時	内容	場所	参加者(名)
7月6日(水)	院友会総会及び新入会員歓迎会	サンパレス福島	248名
8月5日(金)	福島わらじ祭り (ダンシングソーだないと)	福島市	100名
10月1日(土) 5日(水)	松島うまいものツアー	松島市周辺	86名
11月16日(水) 19日(土)	ディズニーリゾートツアー	東京ディズニーリゾート	71名
12月14日(水)	クリスマスパーティー	ホテル辰巳屋	243名
1月28日(土)～ 29日(日)	蔵王温泉旅行	山形蔵王	32名

### <平成28年度決算報告>

収入の部	支出の部	翌年度繰越額
11,423,829円	8,847,478円	2,576,351円

福島赤十字病院院友会総会



福島わらじまつり・ダンシングソーダナイト



日帰り旅行



「松島うまいものツアー」



「東京ディズニーリゾート」

院友会クリスマスパーティー



一泊旅行「蔵王スキー・スノーボード温泉ツアー」





# II

## 病院の概況



# 1. 病院の沿革

< 年月 >	< 沿革 >
昭和18年 8月	日本赤十字社福島支部福島療院として福島市舟場町に発足(病床数32床) 飯坂海軍病院の分院として診療が行われる <診療科目：内科、小児科、耳鼻咽喉科、理学診療科>
昭和19年 1月 4月	20床増床(病床数52床) 福島赤十字病院と改称
昭和25年10月	入院患者に対する完全給食を開始
昭和28年 2月	30床増床(病床数82床)
昭和30年 7月	20床増床(病床数102床)
昭和33年 6月 10月	産婦人科部設置 18床増床(病床数120床)
昭和34年 5月 12月	整形外科部設置 30床増床(病床数150床)
昭和37年 1月 2月	皮膚科部、眼科部設置 現在地(福島市入江町)へ新築移転
6月	<鉄筋コンクリート造4階建、延床面積4,740㎡> (病床数200床／一般170床・結核30床) 入院患者に対する基準寝具開始
昭和38年 6月	秩父宮妃殿下御慰問
9月	総合病院の承認を受ける
昭和39年 9月	救急病院の指定を受ける
昭和40年 7月	福島市外3町村委託による伝染病棟50床併設(病床数250床)
昭和42年12月	精神科・神経科部設置
昭和43年 4月	東病棟増築、100床(精神)を増床(病床数350床)
昭和44年 9月	循環器科部、呼吸器科部設置
昭和52年 8月	精神病床100床のうち40床を一般病棟に変更
昭和54年 5月 9月 12月	エネルギーセンター棟を新設 放射線科部設置 胃腸科部、泌尿器科部設置
昭和56年11月	新館棟を増築、50床増床(病床数400床)
昭和57年 4月	脳神経外科部設置
昭和59年 3月	病院駐車場として国有地(福島大学跡地)を取得
昭和60年 5月	脳血管系疾患の収容病床として20床増床(病床数420床)
昭和61年 1月	麻酔科部設置
昭和63年 7月	外来診療会計コンピュータ稼働
平成元年 9月	三笠宮寛仁親王妃殿下御慰問
平成5年12月	病床23床増床(救急特例病床17床、CCU 6床) (病床数443床) 心臓血管外科部設置
平成6年 2月	本館棟等増改築工事完了
6月	医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X
平成8年 4月	胃腸科部を消化器科部と名称変更
8月	結核病床30床を廃止(病床数413床)
11月	災害拠点病院の指定を受ける
平成10年10月	皇太子殿下並びに皇太子妃殿下御視察
12月	訪問看護ステーション設置
平成11年 3月	伝染病床50床を廃止(病床数363床)
4月	第二種感染症医療機関の指定を受ける(6床) (病床数369床 / 一般303床・精神60床・感染6床)



昭和18年 8月 舟場町に開院



昭和37年 2月 入江町に新築移転



平成6年 2月 本館棟増改築

< 年月 >	< 沿革 >
平成12年 4月	福島県精神科救急医療施設の指定を受ける 居宅介護支援事業所設置
平成13年 4月 9月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター設置 医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V1
平成14年 7月	地域医療連携室開設
平成15年 4月	呼吸器外科部設置
平成16年 3月 6月 10月	臨床研修病院(協力型)の指定を受ける 1号館、2号館3病棟改修工事完了 臨床研修病院(管理型)の指定を受ける
平成18年 3月 6月	病理検査室設置 精神病床10床を減床(病床数359床/一般303床・精神50床・感染6床) 医療安全推進室設置
平成19年 3月 9月	病院機能評価Ver.4.0の認定を受ける 医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V4 オーダーリングシステム導入 富士通(株) EGMAIN-FX V2 導入オーダ：患者基本、処方、検体検査、入退院、病棟移動、給食、病名、診療予約、 検歴参照
平成20年 1月 4月 12月	教育研修推進室設置 医療技術部設置 血管造影撮影室増築
平成21年 3月 4月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター運営終了 DPC(診断群分類別包括制度)対象病院の指定を受ける
平成22年 4月 平成23年 3月 7月 9月	糖尿病・代謝科部設置 東日本大震災発生 救護班延べ77個班を派遣 平成23年7月新潟・福島豪雨発生 救護班1個班を派遣 地域医療支援病院の認定を受ける
平成24年 3月 4月	ホールボディカウンター及びホールボディカウンター室を設置 病院機能評価Ver.6.0一般にて更新 新病院建設準備室設置 ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を開始
平成25年 4月 5月	神経内科部設置 医療用画像管理システム(PACS)導入 追加オーダ：放射線
平成26年 7月 9月 10月	HCUを設置 自動精算機／POSレジシステム導入 医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V6 オーダーリングシステム更新 富士通(株) EGMAIN-GX V4 追加オーダ：細菌検査、生理検査、病理検査、内視鏡検査、注射(外来)、リハビリ 診療科名称を変更(24科) 福島県認知症疾患医療センターの指定を受ける
平成27年 3月 5月	現病院土地との交換により新病院予定地(福島市八島町87番1・88番)取得 名称から「総合病院」を削除
平成28年 4月 9月	救急科部設置 心療内科を廃止 精神科病棟11床を減少(病床数348床/一般303床、精神39床、感染6床) 熊本地震発生 救護班2個班、病院支援職員2個班、こころのケア班1個班を派遣 福島赤十字病院 施設整備事業(移転新築工事)起工式

## 2. 病院概要

(平成29年3月31日現在)

### (1) 施設の概要

名 称	福島赤十字病院 Japanese Red Cross Fukushima Hospital	※平成27年5月に『総合病院』を名称から削除
所在地	〒960-8530 福島市入江町11番31号 11-31 Irie-cho, Fukushima-city, Fukushima 960-8530 JAPAN TEL(024)534-6101(代表) FAX(024)531-1721 <a href="http://www.fukushima-med-jrc.jp/">http://www.fukushima-med-jrc.jp/</a>	
敷地面積	10,247.17㎡	
延床面積	22,138.537㎡	
開設年月日	昭和18年8月1日	
開設者	日本赤十字社福島県支部 支部長 内堀 雅雄	
管理者	院長 渡部 洋一	
付帯設備	訪問看護ステーション Visiting-nurse station 指定居宅介護支援事業所 Designated home-care assist operation	

### (2) 診療科目 Medical Departments

内 科	糖尿病・代謝内科 Diabetes and Metabolism	呼吸器内科 Respiratory	循環器内科 Cardiology
消化器内科 Gastroenterology	精神科 Psychiatry	小児科 Pediatrics	外科 General surgery
心臓外科 Cardiac Surgery	血管外科 Vascular Surgery	呼吸器外科 Thoracic Surgery	整形外科 Orthopaedic
脳神経外科 Neurosurgery	皮膚科 Dermatology	形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	泌尿器科 Urology
産婦人科 Obstetrics and Gynecology	眼 科 Ophthalmology	耳鼻咽喉科 Otolaryngology	放射線科 Radiology
麻 酔 科 Anesthesiology	神 経 内 科 Neurology	リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	救 急 科 Emergency Medicine

(全24科)

### (3) 病床数

	許可病床数	実働病床数
一般病床	303床	303床
精神病床	39床	39床
感染症病床	6床	6床
計	348床	348床

#### (内訳：実働病床数)

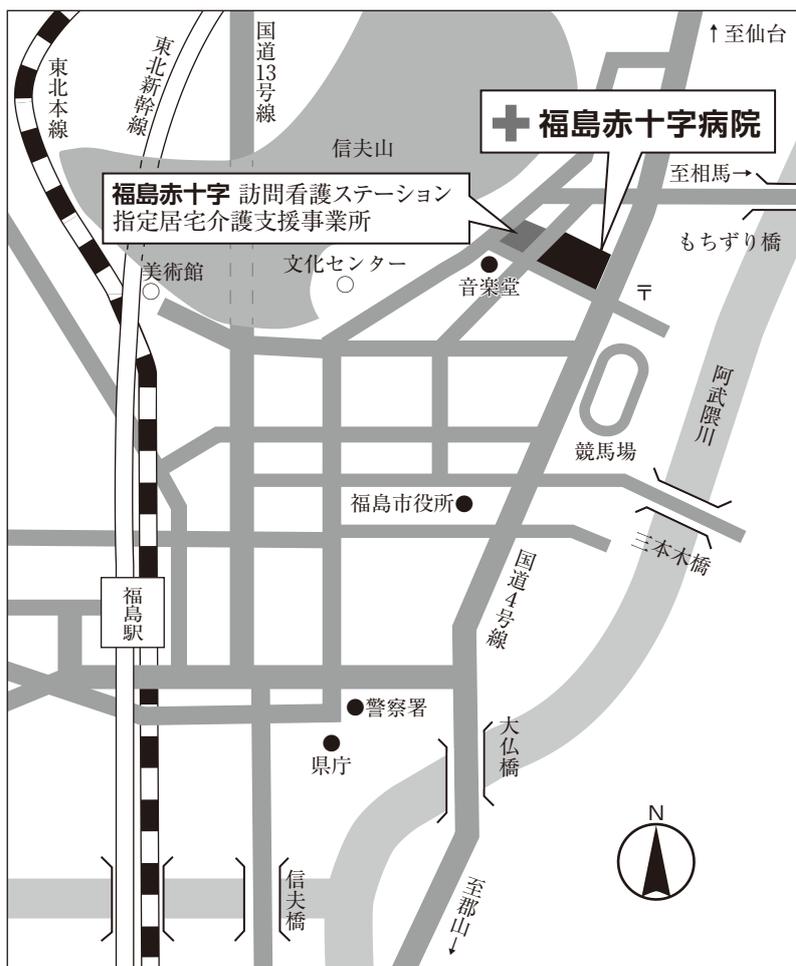
1号館2病棟 45床	2号館2病棟 39床	本館3病棟 31床
1号館3病棟 49床	2号館3病棟 28床	本館4病棟 51床
1号館4病棟 50床	3号館4病棟 49床	感染症病床 6床

#### (内訳：部屋別)

1人部屋	2人部屋	3人部屋	4人部屋	5人部屋以上	計
67	15	3	11	37	133



## (6) 位置及び案内



■交通機関(福島駅東口から約3.5km)

●タクシー 7分

●バス 10分 伊達・藤田方面行き  
梁川・掛田・保原方面行き  
(日赤病院前下車)

## (7) 機関指定

機関指定	
健康保険法指定医療機関	国民健康保険法指定医療機関
臨床研修指定医療機関	結核予防法指定医療機関
生活保護法指定医療機関	身体障害者福祉法指定医療機関
更生医療指定医療機関 (整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科)	戦傷病者特別援護法指定医療機関
原子爆弾被害者に対する指定医療機関	養育医療(母子保健法)指定医療機関
育成医療(児童福祉法)指定医療機関	労働者災害補償保険法指定医療機関
地方公務員災害補償法指定医療機関	国家公務員災害補償法指定医療機関
救急告示病院	第二次救急指定病院
災害拠点病院(地域災害医療センター)	福島県特定不妊治療費助成事業指定医療機関
開放型病院	第二種感染症指定医療機関
地域医療支援病院	

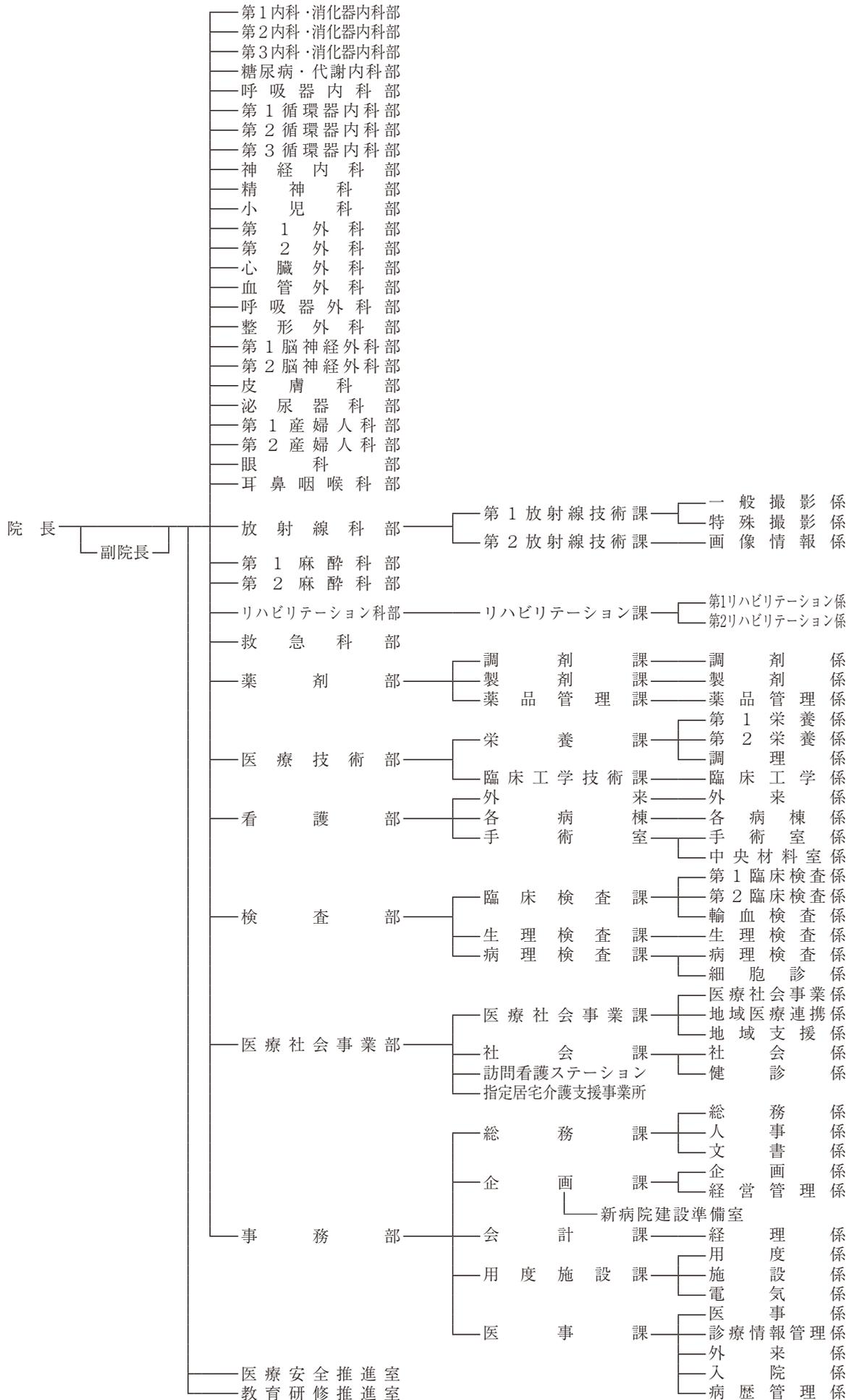
(8)施設基準の届出状況

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日	
基本診療料	一般病棟入院基本料 7対1	(一般入院)第1840号	平成26年10月1日	
	精神病棟入院基本料 13対1	(精神入院)第1045号	平成25年4月1日	
	診療録管理体制加算2	(診療録2)第23号	平成16年6月1日	
	医師事務作業補助体制加算 30対1	(事補2)第116号	平成27年4月1日	
	急性期看護補助体制加算 50対1	(急性看補)第147号	平成26年10月1日	
	療養環境加算	(療)第113号	平成23年3月1日	
	重症者等徴用環境特別加算	(重)第172号	平成19年5月1日	
	精神病棟入院時医学管理加算	(精入学)第19号	平成22年9月1日	
	精神科身体合併症管理加算	(精合併加算)第7号	平成20年4月1日	
	医療安全対策加算1	(医療安全1)第39号	平成20年4月1日	
	感染防止対策加算1	(感染防止1)第23号	平成27年3月1日	
	患者サポート体制加算	(患サポ)第25号	平成24年4月1日	
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	(褥瘡ケア)第8号	平成23年5月1日	
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠)第37号	平成21年4月1日	
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩)第26号	平成21年4月1日	
	精神科救急搬送地域連携受入加算	(精救急受入)第3号	平成24年4月1日	
	総合評価加算	(総合評価)第33号	平成26年4月1日	
	病棟薬剤業務実施加算	(病棟薬)第6号	平成26年8月1日	
	データ提出加算2	(データ提)第33号	平成24年10月1日	
	退院調整加算	(退院)第2号	平成24年4月1日	
	ハイケアユニット入院医療管理料1	(ハイケア1)第3号	平成26年7月1日	
	臨床研修病院入院診療加算	(臨床研修)第12号	平成17年4月1日	
	救急医療管理加算	(救急加算)第49号	平成22年4月1日	
	妊産婦緊急搬送入院加算	(妊産婦)第8号	平成20年4月1日	
	救急搬送患者地域医療連携紹介加算	(救急紹介)第26号	平成24年4月1日	
	救急搬送患者地域医療連携受入加算	(救急受入)第14号	平成23年4月1日	
	特掲診療料	糖尿病合併症管理料	(糖管)第51号	平成27年10月1日
		がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼)第44号	平成22年9月1日
がん患者指導管理料1		(がん指1)第20号	平成26年8月1日	
がん患者指導管理料2		(がん指2)第10号	平成26年4月1日	
がん患者指導管理料3		(がん指3)第7号	平成26年4月1日	
小児科外来診療料		(小外)第4号	平成8年4月1日	
糖尿病透析予防指導管理料		(糖防管)第21号	平成27年10月1日	
院内トリアージ実施料		(トリ)第8号	平成24年7月1日	
夜間休日救急搬送医学管理料		(夜救管)第31号	平成24年4月1日	
ニコチン依存症管理料		(ニコ)第249号	平成23年4月1日	
開放型病院共同指導料		(開)第24号	平成15年8月1日	
地域連携診療計画管理料		(地連携)第1号	平成18年8月1日	
ハイリスク妊産婦共同管理料1		(ハイI)第22号	平成19年4月1日	
がん治療連携指導料		(がん指)第94号	平成23年7月1日	
認知症専門診断管理料		(認知診)第4号	平成26年12月1日	
肝炎インターフェロン治療計画料		(肝炎)第16号	平成22年4月1日	
薬剤管理指導料		(薬)第167号	平成22年6月1日	
医療機器安全対策管理料		(機安1)第7号	平成20年4月1日	

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日
特掲診療料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易 ジェノタイプ判定)	(HPV)第123号	平成26年4月1日
	検体検査管理加算Ⅱ	(検Ⅱ)第3号	平成20年4月1日
	埋込型心電図検査	(植心電)第5号	平成22年4月1日
	時間内歩行試験	(歩行)第21号	平成27年2月1日
	ヘッドアップティルト試験	(ヘッド)第9号	平成24年4月1日
	神経学的検査	(神経)第16号	平成20年4月1日
	コンタクトレンズ検査料1	(コン1)第247号	平成22年7月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検)第16号	平成24年4月1日
	画像診断管理加算1	(画1)第27号	平成21年5月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M)第219号	平成24年4月1日
	冠動脈CT撮影加算	(冠動C)第8号	平成21年6月1日
	大腸CT撮影加算	(大腸C)第8号	平成24年4月1日
	心臓MRI撮影加算	(心臓M)第7号	平成21年6月1日
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方)第17号	平成22年4月1日
	外来化学療法加算1	(外化1)第63号	平成21年6月1日
	無菌製剤処理料	(菌)第23号	平成20年4月1日
	脳血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ)第154号	平成28年3月1日
	運動器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ)第104号	平成25年9月1日
	呼吸器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ)	平成25年9月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ)第22号	平成27年3月1日
	経皮的冠動脈形成術	(経冠形)第12号	平成26年4月1日
	経皮的冠動脈ステント留置術	(経冠ス)第12号	平成26年4月1日
	経皮的中隔心筋焼灼術	(経中)第7号	平成20年4月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメー カー交換術	(ペ)第105号	平成18年4月1日
	大動脈瘤バルンパンピング法	(大)第53号	平成18年4月1日
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸)第18号	平成28年2月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則5 及び6(歯科点数第2章第9部の通則 4を含む。)に掲げる手術	(通手)第146号	平成20年4月1日
	胃瘻造設術	(胃瘻造)第29号	平成26年4月1日
	輸血管管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ)第14号	平成18年6月1日
	輸血適正使用加算	(輸適)第15号	平成24年4月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前)第24号	平成25年4月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥)第14号	平成26年4月1日
	麻酔管理加算Ⅰ	(麻管Ⅰ)第41号	平成15年4月1日
	入院時食事療養費	(食)第752号	平成18年4月1日
	酸素の購入単価		平成27年4月1日 (毎年届出)

# 3. 組織図

平成28年4月1日現在



## 4. 職員数

(平成29年3月31日現在)

### (1) 病院

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
医師	40	68	108	48.4
研修医	13		13	13.0
薬剤師	17		17	17.0
診療放射線技師	14		14	14.0
臨床検査技師	21	2	23	22.1
臨床工学技士	4		4	4.0
管理栄養士	5		5	5.0
栄養士	4		4	4.0
理学療法士	10		10	10.0
作業療法士	4		4	4.0
視能訓練士	3		3	3.0
言語聴覚士	3	1	4	3.7
臨床心理士	1		1	1.0
社会福祉士	4		4	4.0
精神保健福祉士	1		1	1.0
保健師	5		5	5.0
助産師	15	1	16	15.8
看護師	248	17	265	260.0
准看護師	6	1	7	6.5
事務職員	60		60	60.0
技術員	2		2	2.0
調理師	5		5	5.0
ボイラー技士等	1		1	1.0
看護助手	28		28	28.0
放射線助手	0	1	1	0.6
業務員	10		10	10.0
小計	524	91	615	548.1

### (2) 付帯事業

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
訪問看護ステーション職員	5		5	5.0
指定居宅介護支援事業所	3		3	3.0
小計	8	0	8	8.0

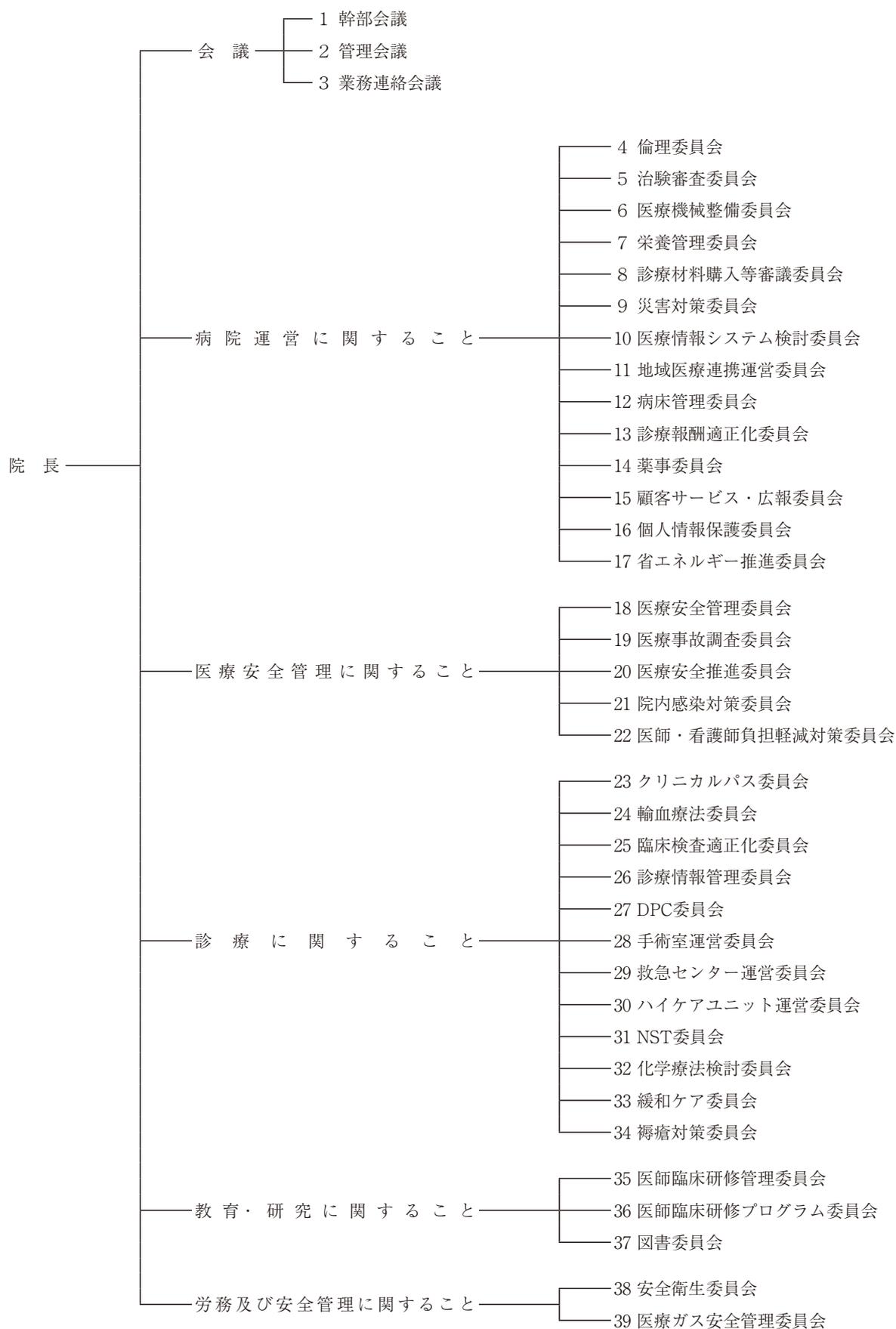
### (3) 合計

(単位：人)

	常勤職員	非常勤職員	実人員計	換算人員計
( 1 ) + ( 2 )	532	91	623	556.1

# 5. 会議及び委員会

平成29年3月31日現在



## 6. 救護班名簿

(平成29年3月31日現在)

### (1) 常備救護班

	第1救護班		第2救護班		第3救護班		第4救護班	
医師	神経内科部長	中村耕一郎	第1内科・消化器内科部副部長	郡司 直彦	整形外科部副部長	佐藤 法義	第2産婦人科部部長	伊藤 史浩
看護師長	手術室看護係長	國分 花子	3号館4病棟看護係長	成澤 裕美	1号館4病棟看護師長	菅野いづみ	2号館3病棟看護師長(助産師)	石田 久江
看護師	2号館2病棟看護係長	柳田 美穂	本4病棟看護係長	鈴木 牧子	2号館2病棟看護師	黒沢真由美	1号館3病棟看護係長	武田 里美
	本3病棟看護師	田島 一樹	本3病棟看護師	國分 典子	3号館4病棟看護師	安在 沙織	外来看護師	木幡 紀子
主事	企画課主事	野崎 謙司	医事課入院係長	金原 昭世	企画課企画係長	野地 幸次	医事課病歴管理係長	池田 久光
	医療社会事業課精神保健福祉士	菅野 直樹	福島県支部組織振興課参事	久保 芳宏	医事課主事	金子 瑛	福島県支部組織振興課青少年係長	小林 俊之

	第5救護班		第6救護班		第7救護班		第8救護班	
医師	心臓外科部副部長	五十嵐 崇	精神科部副部長	藤森 春生	第3循環器内科部長	阪本 貴之	第2麻酔科部長	出羽 明子
看護師長	1号館2病棟看護係長	小林 洋子	1号館2病棟看護師長	菅野ひとみ	3号館4病棟看護師長	安達 明美	本4病棟看護師長	齋藤 明子
看護師	1号館3病棟看護師	田畑 栄子	3号館4病棟看護師	齋藤 貴子	外来看護師	森田 直子	1号館2病棟看護師	野田 江美
	2号館2病棟看護師	菅野 忍	本3病棟看護師	菅野 里奈	3号館4病棟看護師	齋藤 文子	1号館4病棟看護師	清和 彩子
主事	総務課文章係長	菅野 正幸	総務課総務係長	國分 秀俊	企画課主事	二階堂雄平	医事課医事係長兼外來係長	池田 久光
	福島県支部総務課総務係長	深谷 秀樹	会計課兼企画課主事	山名慎一郎	福島県支部事業推進課主事	葛岡 大輔	医療社会事業部地域支援係長	富田 夕紀

こころのケア指導者	福島県支部事業推進課長	武田 玲子	看護副部長	渡邊 知子	医療社会事業部医療社会事業係長	高根 晴美	手術室看護師長	岩崎 陸子
	医療社会事業課精神保健福祉士	菅野 直樹						

薬剤師	薬剤部長	我妻 慎	薬品管理係長	緑上 淳一	調剤係長	川村 早苗	製剤係長	山脇 聡
	薬剤師	佐藤 南	薬剤師	齋藤可奈子	薬剤師	二瓶 瑤子	薬剤師	馬場 洵
	薬剤師	寶槻 友紀	薬剤師	酒井 亮	薬剤師	武藤 壮平		

### (2) 日本DMAT

統括DMAT	院長	渡部 洋一						
医師	第2脳神経外科部長	市川 剛	第1外科部長	遠藤 豪一	第2循環器内科部長	渡部 研一	神経内科部長	中村孝一郎
看護師	本館3病棟看護師長	鈴木 佳子	本館3病棟看護係長	奈良輪弘美	手術室看護係長	泉 弘子	3号館4病棟看護師	原田 瑞穂
	外来看護係長	渡邊あゆみ	本館3病棟看護師	鈴木 安英	手術室看護師	梅宮 誠	外来看護師	萩原 暁美
調整員	製剤課長(薬剤師)	渡部 寿康	医事課長	齋藤 智浩	薬剤師	薄 大介	福島県支部組織振興課参事	久保 芳宏
	臨床工学技術課長(臨床工学技士)	橋本 健一	総務課長	野田 誠	企画課企画係長	野地 幸次	福島県支部事業推進課主事	葛岡 大輔

### (3) 福島県DMAT

看護師	2号館3病棟看護師長(助産師)	石田 久江	1号館4病棟看護師	藤田 恵実
調整員	福島県赤十字血液センター献血2係長	松本 琢也		



III

統計



# 1. 平成28年度実績表

単位：人(患者延数、1日平均)日(在院日数)、円(稼働額、診療単価)

	入 院				外 来				合 計	
	患者延数	1日平均	在院日数	診療稼働額	診療単価	患者延数	1日平均	診療稼働額		診療単価
内科	19,073	52.3	16.1	784,378,199	41,125	30,085	123.8	454,610,932	15,111	1,238,989,131
消化器内科	5,808	15.9	11.3	270,459,796	46,567	5,824	24.0	96,723,841	16,608	367,183,637
小児科	526	1.4	4.0	28,321,856	53,844	4,359	17.9	40,107,373	9,201	68,429,229
外科	8,162	22.4	16.5	450,039,921	55,138	8,350	34.4	130,290,765	15,604	580,330,686
呼吸器外科	4,832	13.2	12.3	374,208,138	77,444	4,690	19.3	127,174,262	27,116	501,382,400
整形外科	13,313	36.5	18.2	705,532,407	52,996	17,355	71.4	97,316,276	5,607	802,848,683
脳神経外科	9,166	25.1	12.9	667,345,252	72,807	9,161	37.7	109,129,246	11,912	776,474,498
皮膚科	226	0.6	14.2	7,761,482	34,343	6,171	25.4	19,506,776	3,161	27,268,258
泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0	814	3.3	4,817,417	5,918	4,817,417
産婦人科	8,722	23.9	7.3	532,015,646	60,997	10,922	44.9	120,084,004	10,995	652,099,650
眼科	7	0.0	6.0	380,670	54,381	5,734	23.6	31,843,849	5,554	32,224,519
耳鼻咽喉科	1,567	4.3	5.5	82,611,985	52,720	7,113	29.3	37,271,912	5,240	119,883,897
麻酔科	48	0.1	3.6	2,666,328	55,549	692	2.8	1,331,997	1,925	3,998,325
精神科	7,270	19.9	48.8	151,178,807	20,795	13,758	56.6	80,819,033	5,874	231,997,840
血管外科・心臓外科	2,883	7.9	15.4	203,683,603	70,650	4,506	18.5	27,988,892	6,211	231,672,495
循環器内科	12,066	33.1	15.0	765,449,443	63,439	16,070	66.1	137,040,290	8,528	902,489,733
形成外科	0	0.0	0.0	0	0	685	2.8	6,790,159	9,913	6,790,159
神経内科	4,784	13.1	16.0	211,273,077	44,162	5,110	21.0	41,999,634	8,219	253,272,711
放射線科	0	0.0	0.0	0	0	23	0.1	5,845,920	254,170	5,845,920
健診	-	-	-	-	-	-	-	65,146,427	-	65,146,427
合計	98,453	269.7	14.0	5,237,306,610	53,196	151,422	623.1	1,635,839,005	10,803	6,873,145,615
前年度	99,721	272.5	14.7	5,180,607,549	51,951	150,536	622.0	1,610,174,969	10,696	6,790,782,518
増加率	△1.3%	△1.0%	△4.8%	1.1%	2.4%	0.6%	0.6%	1.6%	1.0%	1.2%

## 2. 月別入院実績表

### (1) 入院患者数

(単位：人)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	19,073	1,647	1,614	1,988	1,785	1,537	1,363	1,549	1,464	1,604	1,644	1,426	1,452
消化器内科	5,808	624	567	581	478	467	452	416	377	474	467	403	502
小児科	526	52	70	29	59	20	29	42	80	67	44	14	20
外科	8,162	779	747	579	637	698	810	746	705	655	638	545	623
呼吸器外科	4,832	364	347	451	343	373	475	347	466	416	471	401	378
整形外科	13,313	1,195	1,064	1,177	942	1,282	980	931	1,144	1,155	1,002	1,166	1,275
脳神経外科	9,166	967	792	709	782	714	773	873	732	859	780	529	656
皮膚科	226	19	7	8	22	22	19	32	8	30	8	23	28
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	8,722	773	697	804	804	794	644	705	678	602	724	727	770
眼科	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
耳鼻咽喉科	1,567	88	68	120	137	207	120	107	80	177	112	166	185
麻酔科	48	2	0	6	0	9	19	2	5	0	0	2	3
精神科	7,270	760	774	721	712	614	498	539	423	474	618	688	449
血管外科・心臓外科	2,883	299	200	160	167	170	234	244	244	244	266	314	341
循環器内科	12,066	893	1,126	1,019	692	703	829	826	1,298	1,169	1,132	1,117	1,262
神経内科	4,784	328	289	427	621	479	343	311	373	460	472	430	251
合計	98,453	8,790	8,362	8,779	8,181	8,089	7,588	7,670	8,077	8,393	8,378	7,951	8,195
1日平均	269.7	293.0	269.7	292.6	263.9	260.9	252.9	247.4	269.2	270.7	270.3	284.0	264.4
前年度	99,721	8,236	7,642	7,528	7,816	8,381	8,002	8,460	8,735	8,784	8,676	8,439	9,022
1日平均	272.5	274.5	246.5	250.9	252.1	270.4	266.7	272.9	291.2	283.4	279.9	291.0	291.0
増加率	△1.3%	6.7%	9.4%	16.6%	4.7%	△3.5%	△5.2%	△9.3%	△7.5%	△4.5%	△3.4%	△5.8%	△9.2%

## (2) 入院稼働額

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	784,378,199	66,229,857	63,364,937	80,688,568	69,912,462	63,087,392	55,900,656	64,814,793	63,532,944	70,241,399	67,346,438	58,349,712	60,909,041
消化器内科	270,459,796	26,906,287	23,926,760	27,847,362	24,138,676	21,368,444	21,070,302	19,662,083	16,739,244	21,671,470	23,114,528	20,735,250	23,279,390
小児科	28,321,856	2,919,710	4,179,200	1,458,530	2,950,080	1,206,190	1,969,100	2,292,000	3,792,620	3,293,050	2,324,370	804,890	1,132,116
外科	450,039,921	45,063,934	43,778,981	34,225,228	35,264,563	37,603,709	43,087,577	41,699,210	36,096,302	37,347,796	33,493,678	31,288,644	31,090,299
呼吸器外科	374,208,138	27,439,200	23,542,527	33,335,276	28,982,114	28,284,750	31,462,494	26,929,658	37,190,034	30,885,710	38,383,136	36,570,961	31,202,278
整形外科	705,532,407	63,355,273	58,566,544	57,913,761	47,253,441	69,255,932	52,507,091	48,114,190	65,161,214	64,228,151	52,198,086	64,722,431	62,255,693
脳神経外科	667,345,252	68,082,642	54,282,877	50,671,972	51,448,085	54,330,917	59,659,415	59,526,223	51,139,435	72,571,865	55,409,293	37,304,679	52,917,849
皮膚科	7,761,482	683,820	216,260	279,600	797,360	807,416	679,354	1,063,206	166,510	892,400	295,140	914,850	965,566
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	532,015,646	41,118,202	41,023,046	47,917,472	46,717,356	51,745,586	32,984,614	42,473,100	40,417,164	37,003,354	47,759,910	45,457,222	57,398,620
眼科	380,670	0	0	0	0	0	0	0	0	380,670	0	0	0
耳鼻咽喉科	82,611,985	4,945,946	3,714,676	6,012,944	7,050,808	10,675,498	6,673,158	5,497,226	4,169,694	8,921,246	6,073,680	8,575,344	10,301,765
麻酔科	2,666,328	182,180	0	324,390	0	430,320	743,190	190,220	456,720	0	0	158,898	180,410
精神科	151,178,807	14,354,556	16,504,442	16,309,814	16,569,057	12,573,611	11,121,139	11,122,080	7,774,652	9,489,952	12,812,845	13,756,870	8,789,789
血管外科・心臓外科	203,683,603	15,351,078	10,511,380	20,549,294	15,593,112	9,827,720	14,484,422	13,361,600	12,516,682	17,197,738	24,470,355	24,474,894	25,345,328
循環器内科	765,449,443	61,736,258	69,136,284	64,414,458	50,529,619	46,920,613	60,619,510	54,964,264	76,669,943	73,759,565	69,383,058	60,398,096	76,917,775
神経内科	211,273,077	14,601,723	13,484,316	19,153,248	26,939,744	20,667,518	14,262,014	13,927,980	16,907,913	19,783,177	21,468,582	18,731,390	11,345,472
合計	5,237,306,610	452,970,666	426,232,230	461,101,917	424,146,477	428,785,616	407,224,036	405,637,833	432,731,071	467,667,543	454,533,699	422,244,131	454,031,391
前年度	5,180,607,549	438,328,866	382,946,070	422,460,213	421,496,219	414,070,346	411,755,969	455,725,636	442,589,731	437,889,481	449,264,520	433,253,722	470,826,776
増加率	1.1%	3.3%	11.3%	9.1%	0.6%	3.6%	△1.1%	△11.0%	△2.2%	6.8%	1.2%	△2.5%	△3.6%

## (3) 入院単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	41,125	40,212	39,260	40,588	39,167	41,046	41,013	41,843	43,397	43,791	40,965	40,918	41,948
消化器内科	46,567	43,119	42,199	47,930	50,499	45,757	46,616	47,265	44,401	45,720	49,496	51,452	46,373
小児科	53,844	56,148	59,703	50,294	50,001	60,310	67,900	54,571	47,408	49,150	52,827	57,492	56,606
外科	55,138	57,848	58,606	59,111	55,360	53,874	53,195	55,897	51,200	57,020	52,498	57,410	49,904
呼吸器外科	77,444	75,382	67,846	73,914	84,496	75,830	66,237	77,607	79,807	74,244	81,493	91,199	82,546
整形外科	52,996	53,017	55,044	49,205	50,163	54,022	53,579	51,680	56,959	55,609	52,094	55,508	48,828
脳神経外科	72,807	70,406	68,539	71,470	65,790	76,094	77,179	68,186	69,863	84,484	71,038	70,519	80,667
皮膚科	34,343	35,991	30,894	34,950	36,244	36,701	35,755	33,225	20,814	29,747	36,893	39,776	34,485
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	60,997	53,193	58,857	59,599	58,106	65,171	51,218	60,246	59,612	61,467	65,967	62,527	74,544
眼科	54,381	0	0	0	0	0	0	0	0	54,381	0	0	0
耳鼻咽喉科	52,720	56,204	54,628	50,108	51,466	51,572	55,610	51,376	52,121	50,403	54,229	51,659	55,685
麻酔科	55,549	91,090	0	54,065	0	47,813	39,115	95,110	91,344	0	0	79,449	60,137
精神科	20,795	18,888	21,324	22,621	23,271	20,478	22,332	20,635	18,380	20,021	20,733	19,995	19,576
血管外科・心臓外科	70,650	51,341	52,557	128,433	93,372	57,810	61,899	54,761	51,298	70,483	91,994	77,946	74,326
循環器内科	63,439	69,134	61,400	63,213	73,020	66,743	73,124	66,543	59,068	63,096	61,292	54,072	60,949
神経内科	44,162	44,517	46,659	44,855	43,381	43,147	41,580	44,785	45,330	43,007	45,484	43,561	45,201
合計	53,196	51,532	50,973	52,523	51,845	53,008	53,667	52,886	53,576	55,721	54,253	53,106	55,403
前年度	51,951	53,221	50,111	56,119	53,927	49,406	51,457	53,868	50,669	49,851	51,782	51,339	52,187
増加率	2.4%	△3.2%	1.7%	△6.4%	△3.9%	7.3%	4.3%	△1.8%	5.7%	11.8%	4.8%	3.4%	6.2%

### 3. 月別外来実績表

#### (1) 外来患者数

(単位：人)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	30,085	2,502	2,386	2,536	2,439	2,596	2,494	2,557	2,547	2,550	2,462	2,345	2,671
消化器内科	5,824	491	421	475	450	475	515	521	523	442	485	490	536
小児科	4,359	303	335	344	346	350	316	363	475	447	353	336	391
外科	8,350	685	664	721	703	734	752	749	738	625	611	646	722
呼吸器外科	4,690	345	362	353	430	429	412	414	427	422	356	349	391
整形外科	17,355	1,320	1,319	1,448	1,474	1,545	1,535	1,517	1,351	1,458	1,359	1,354	1,675
脳神経外科	9,161	806	819	747	756	757	736	778	772	802	765	613	810
皮膚科	6,171	509	539	518	529	576	574	498	502	492	450	492	492
泌尿器科	814	61	38	71	113	68	70	62	63	64	50	74	80
産婦人科	10,922	918	999	1,048	958	1,035	817	909	870	838	821	807	902
眼科	5,734	519	450	467	468	481	525	499	463	487	471	408	496
耳鼻咽喉科	7,113	535	539	610	578	604	591	566	578	569	610	604	729
麻酔科	692	57	52	71	58	54	53	51	62	51	54	60	69
精神科	13,758	1,139	1,088	1,075	1,164	1,211	1,235	1,151	1,222	1,110	1,148	1,050	1,165
血管外科・心臓外科	4,506	373	371	370	393	381	416	348	425	356	349	311	413
循環器内科	16,070	1,283	1,261	1,297	1,355	1,323	1,353	1,282	1,427	1,322	1,367	1,232	1,568
形成外科	685	68	48	58	54	74	49	49	68	59	50	53	55
神経内科	5,110	381	358	432	425	444	420	454	438	413	425	450	470
放射線科	23	1	2	2	0	1	1	1	1	2	1	9	2
合計	151,422	12,296	12,051	12,643	12,693	13,138	12,864	12,769	12,952	12,509	12,187	11,683	13,637
1日平均	623.1	614.8	634.3	574.7	634.7	597.2	643.2	638.5	647.6	658.4	641.4	584.2	619.9
前年度	150,536	12,820	11,374	12,567	13,505	12,188	12,410	13,243	12,201	12,523	11,961	12,094	13,650
1日平均	622.0	610.5	669.1	571.2	613.9	580.4	653.2	630.6	642.2	659.1	629.5	604.7	620.5
増加率	0.6%	△4.1%	6.0%	0.6%	△6.0%	7.8%	3.7%	△3.6%	6.2%	△0.1%	1.9%	△3.4%	△0.1%

(2) 外来稼働額

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	454,610,932	36,310,236	35,978,096	37,472,860	37,504,527	38,774,689	38,240,199	37,328,243	38,858,342	39,608,565	37,059,998	36,732,057	40,743,120
消化器内科	96,723,841	8,928,530	6,861,710	7,808,100	7,397,050	7,886,883	8,340,750	7,811,320	8,798,763	7,340,582	8,359,413	8,797,850	8,392,890
小児科	40,107,373	2,946,612	3,102,001	3,517,548	3,538,748	3,603,859	2,510,597	3,672,730	3,374,992	4,044,439	3,502,780	3,083,192	3,209,875
外科	130,290,765	11,875,952	10,533,213	12,668,089	11,175,183	11,974,310	12,383,723	11,882,913	10,053,888	8,234,859	10,990,423	8,659,477	9,858,735
呼吸器外科	127,174,262	9,262,550	9,612,752	9,752,650	10,232,807	9,265,356	10,622,088	11,782,683	9,609,693	11,665,204	11,967,308	11,400,154	12,001,017
整形外科	97,316,276	7,424,783	7,581,037	7,642,563	8,736,226	8,555,808	8,238,056	8,629,609	7,171,379	8,533,927	7,922,953	7,388,527	9,491,408
脳神経外科	109,129,246	9,217,091	9,429,918	8,547,673	8,856,540	8,659,066	8,487,023	8,815,136	9,329,115	9,778,515	9,739,919	7,861,808	10,407,442
皮膚科	19,506,776	1,577,320	2,000,780	2,251,060	1,558,198	1,662,999	1,586,745	1,779,008	1,284,969	1,233,157	1,227,360	1,408,510	1,936,670
泌尿器科	4,817,417	405,700	255,440	373,060	367,500	529,840	418,850	420,570	475,137	369,370	304,520	380,430	517,000
産婦人科	120,084,004	10,180,050	10,490,170	11,038,370	9,432,590	10,270,270	8,928,210	10,629,090	9,682,023	9,748,345	8,935,700	10,083,090	10,666,096
眼科	31,843,849	3,052,680	2,506,170	2,380,261	2,930,303	2,489,710	3,349,888	2,588,470	2,698,788	2,903,929	2,397,080	2,215,660	2,330,910
耳鼻咽喉科	37,271,912	2,717,034	2,809,182	2,995,136	2,929,843	3,070,989	3,012,595	3,036,118	2,974,361	3,288,002	3,622,840	3,156,150	3,659,662
麻酔科	1,331,997	92,720	115,857	152,240	95,470	100,930	90,800	93,680	112,780	85,050	99,310	164,620	128,540
精神科	80,819,033	6,291,630	6,051,988	6,724,020	6,980,140	6,859,051	7,627,950	6,715,487	6,912,954	6,689,493	6,961,083	6,282,190	6,723,047
血管外科・心臓外科	27,988,892	2,008,606	2,047,825	2,688,523	2,830,361	2,132,760	2,451,874	2,073,893	2,579,142	2,118,781	2,144,557	2,254,397	2,658,173
循環器内科	137,040,290	10,598,729	10,471,602	11,210,440	10,375,640	10,931,000	10,635,537	10,979,598	12,251,130	13,087,994	11,104,474	11,071,076	14,323,070
形成外科	6,790,159	535,320	375,341	466,700	520,810	629,031	565,810	701,310	742,928	519,130	571,689	577,510	584,580
神経内科	41,999,634	2,910,408	3,145,200	3,784,195	3,299,710	3,713,903	3,437,990	3,709,030	3,644,983	3,084,442	3,687,600	3,572,490	4,009,683
放射線科	5,845,920	511,290	375,060	406,410	573,460	367,440	527,680	798,620	418,990	513,410	509,490	353,870	490,200
健診	65,146,427	3,498,487	1,443,089	3,517,803	3,567,543	4,247,276	4,349,823	7,886,022	6,627,307	8,605,376	7,352,658	8,813,592	5,237,451
合計	1,635,839,005	130,345,728	125,186,431	135,397,701	132,902,649	135,725,170	135,806,188	141,333,530	137,601,664	141,452,570	138,461,155	134,256,650	147,369,569
前年度	1,610,174,969	129,371,015	118,363,626	139,085,612	137,150,530	127,882,471	129,722,798	141,934,248	129,268,421	133,587,476	136,947,175	135,101,882	151,759,715
増加率	1.6%	0.8%	5.8%	△2.7%	△3.1%	6.1%	4.7%	△0.4%	6.4%	5.9%	1.1%	△0.6%	△2.9%

(3) 外来単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	15,111	14,512	15,079	14,776	15,377	14,936	15,333	14,598	15,257	15,533	15,053	15,664	15,254
消化器内科	16,608	18,184	16,299	16,438	16,438	16,604	16,196	14,993	16,824	16,608	17,236	17,955	15,658
小児科	9,201	9,725	9,260	10,225	10,228	10,297	7,945	10,118	7,105	9,048	9,923	9,176	8,209
外科	15,604	17,337	15,863	17,570	15,896	16,314	16,468	15,865	13,623	13,176	17,988	13,405	13,655
呼吸器外科	27,116	26,848	26,555	27,628	23,797	21,598	25,782	28,461	22,505	27,643	33,616	32,665	30,693
整形外科	5,607	5,625	5,748	5,278	5,927	5,538	5,367	5,689	5,308	5,853	5,830	5,457	5,667
脳神経外科	11,912	11,436	11,514	11,443	11,715	11,439	11,531	11,331	12,084	12,193	12,732	12,825	12,849
皮膚科	3,161	3,099	3,712	4,346	2,946	2,887	2,764	3,572	2,560	2,506	2,727	2,863	3,936
泌尿器科	5,918	6,651	6,722	5,254	3,252	7,792	5,984	6,783	7,542	5,771	6,090	5,141	6,463
産婦人科	10,995	11,089	10,501	10,533	9,846	9,923	10,928	11,693	11,129	11,633	10,884	12,495	11,825
眼科	5,554	5,882	5,569	5,097	6,261	5,176	6,381	5,187	5,829	5,963	5,089	5,431	4,699
耳鼻咽喉科	5,240	5,079	5,212	4,910	5,069	5,084	5,097	5,364	5,146	5,779	5,939	5,225	5,020
麻酔科	1,925	1,627	2,228	2,144	1,646	1,869	1,713	1,837	1,819	1,668	1,839	2,744	1,863
精神科	5,874	5,524	5,562	6,255	5,997	5,664	6,176	5,834	5,657	6,027	6,064	5,983	5,771
血管外科・心臓外科	6,211	5,385	5,520	7,266	7,202	5,598	5,894	5,959	6,069	5,952	6,145	7,249	6,436
循環器内科	8,528	8,261	8,304	8,643	7,657	8,262	7,861	8,564	8,585	9,900	8,123	8,986	9,135
形成外科	9,913	7,872	7,820	8,047	9,645	8,500	11,547	14,312	10,925	8,799	11,434	10,896	10,629
神経内科	8,219	7,639	8,785	8,760	7,764	8,365	8,186	8,170	8,322	7,468	8,677	7,939	8,531
放射線科	254,170	511,290	187,530	203,205	0	367,440	527,680	798,620	418,990	256,705	509,490	39,319	245,100
合計	10,373	10,316	10,268	10,431	10,189	10,007	10,219	10,451	10,112	10,620	10,758	10,737	10,423
前年度	10,276	9,931	10,273	10,869	10,013	10,155	9,951	10,097	10,080	10,213	10,716	10,473	10,565
増加率	0.9%	3.9%	0.0%	△4.0%	1.8%	△1.5%	2.7%	3.5%	0.3%	4.0%	0.4%	2.5%	△1.4%

# 4. 行為別稼働額

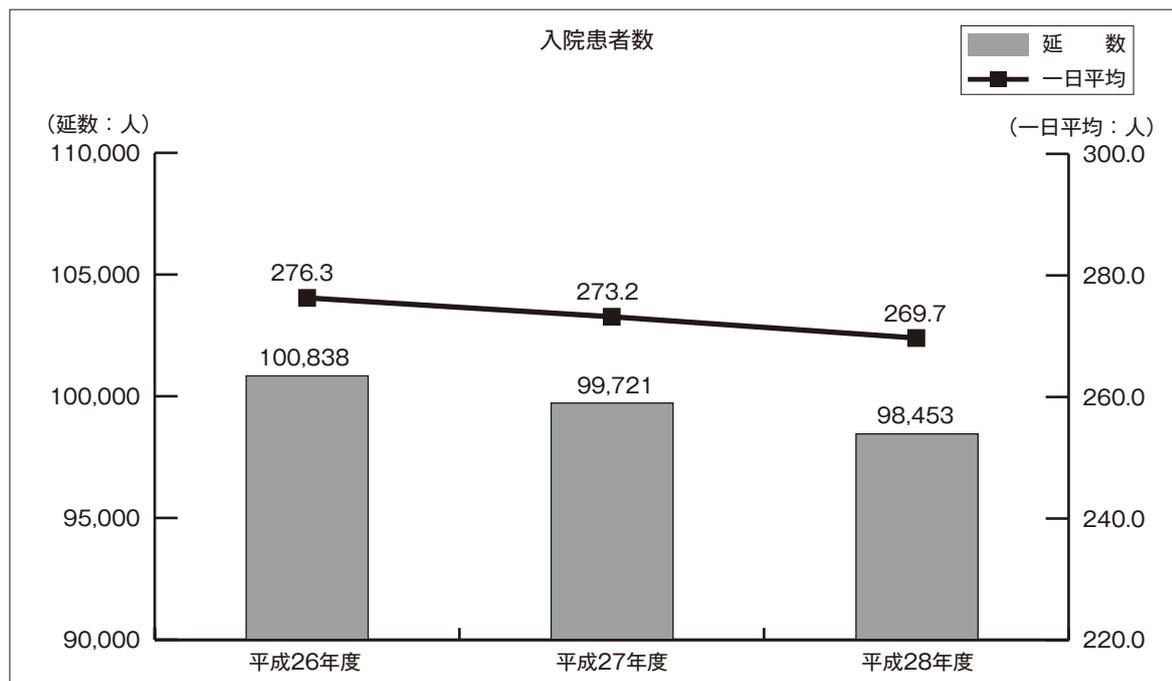
(単位：千円)

	入院料収益				入院診療収益 / 外来診療収益													自費収益(C)		合計 (A)+(B) +(C)	
	DPC 稼働額	入院料	食事 療養費	計(A)	検査料	画像 診断料	投薬料	注射料	処置料	手術 料等	初診 再診料	医学 管理料	在宅 管理料	理学 療法料	精神 療法料	処方箋料 その他	小計 (B)	室料差 額	文書検診 その他		
内 科	入院	548,119	57,800	27,181	633,100	7,279	954	7,540	37,695	692	44,250	1,191	9,362	3,189	15,145	775	0	128,072	21,223	1,983	784,377
	外来					167,057	36,739	505	134,012	293	883	23,651	9,863	56,397	32	0	13,992		443,423		11,187
消化器 内科	入院	162,754	40,499	6,487	209,740	5,014	324	2,419	2,606	374	37,783	297	2,821	268	2,227	55	0	54,188	6,045	487	270,459
	外来					45,978	13,519	36	22,674	135	699	5,030	2,807	1,545	0	0	1,607		94,030	0	2,693
小児 科	入院	16,399	8,224	702	25,325	159	8	54	1,583	0	199	252	481	203	21	0	0	2,960	0	36	28,321
	外来					6,476	768	213	124	15	0	2,714	6,158	6,779	0	0	972		24,219	0	15,888
外科	入院	224,742	41,320	8,973	275,036	2,689	591	1,590	2,684	584	147,377	457	3,785	272	3,137	157	56	163,378	10,656	969	450,039
	外来					25,579	18,709	106	60,938	428	3,733	7,007	7,815	283	29	0	2,472		127,099	0	3,191
呼吸器 外科	入院	176,406	24,130	7,719	208,255	3,186	221	830	8,468	185	136,800	301	3,487	936	4,178	105	891	159,587	5,730	636	374,208
	外来					17,239	28,114	73	61,568	52	667	3,784	5,998	6,746	214	0	1,055		125,510	0	1,664
整形 外科	入院	332,637	37,868	24,482	394,987	1,131	1,346	1,860	406	2,391	253,318	1,595	9,097	37	32,811	499	26	304,517	5,331	697	705,532
	外来					6,650	32,529	400	7,407	2,646	4,721	15,720	2,792	1,041	3,469	0	7,260		84,634	0	12,682
脳神経 外科	入院	310,574	49,288	13,104	372,966	1,414	3,012	1,629	998	375	223,230	1,945	5,269	153	49,363	71	10	287,530	5,787	1,063	667,345
	外来					10,543	67,482	200	2,992	199	2,294	9,971	5,695	486	535	0	3,461		103,856	0	5,272
皮膚 科	入院	6,164	416	406	6,987	32	14	81	57	1	5	30	122	14	396	13	0	764	0	10	7,761
	外来					3,504	71	30	2,791	1,260	444	5,388	2,054	17	8	0	3,118		18,685	0	821
泌尿器 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来					1,422	838	13	740	80	116	705	305	198	0	0	325		4,740	0	77
産婦人 科	入院	184,596	73,951	8,547	267,094	5,441	212	1,090	2,494	2,225	230,051	342	5,205	183	629	73	0	247,944	8,730	8,247	532,015
	外来					48,000	15,860	66	12,519	804	867	6,980	5,833	69	0	0	1,637		92,633	0	27,450

(単位：千円)

	入院料収益				入院診療収益/外来診療収益													自費収益(C)		合計 (A)+(B) +(C)	
	DPC 稼働額	入院料	食事 療養費	計(A)	検査料	画像 診断料	投薬料	注射料	処置料	手術料等 再診料	初診 再診料	医学 管理料	在宅 管理料	理学 療法料	精神 療法料	処方箋料 その他	小計(B)	室料 差額	文書検診 その他		
眼 科	入院	206	22	12	239	0	0	0	0	0	132	3	7	0	0	0	0	142	0	0	381
	外来					20,592	111	10	12	36	3,898	3,784	559	0	2	0	2,488	31,492	0	352	31,843
耳鼻 咽喉 科	入院	48,500	3,515	2,342	54,356	948	26	303	27	16	23,397	333	1,603	0	205	18	0	26,876	1,257	123	82,612
	外来					11,645	9,630	147	131	919	2,101	7,215	1,026	99	96	0	2,511	35,520	0	1,751	37,271
麻酔 科	入院	1,583	679	56	2,318	1	1	142	0	2	21	27	90	0	32	14	0	330	0	19	2,666
	外来					60	67	1	62	11	217	432	28	63	6	0	337	1,281	0	50	1,332
精 神 科	入院	0	90,740	12,975	103,715	4,919	3,114	10,727	2,307	3,262	812	76	2,405	34	4,626	14,397	0	46,679	531	254	151,178
	外来					4,600	5,159	13	265	11	9	10,232	2,831	1,242	0	44,202	7,870	76,433	0	4,387	80,819
養 料 科	入院	83,936	19,787	4,728	108,451	640	238	784	849	2,231	82,861	192	1,281	24	2,349	33	0	91,483	3,304	446	203,683
	外来					8,249	10,832	26	149	125	37	3,264	2,161	92	42	0	2,096	27,074	0	914	27,988
循 環 器 内 科	入院	378,743	60,594	18,630	457,967	15,533	263	6,412	1,451	1,213	244,236	956	7,604	1,641	11,734	493	0	291,534	14,617	1,331	765,449
	外来					66,786	18,323	112	2,441	623	1,615	12,185	5,624	17,613	0	0	8,080	133,403	0	3,637	137,040
形 成 外 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来					1,896	215	0	0	22	3,341	703	122	0	0	0	168	6,469	0	321	6,790
神 經 内 科	入院	154,654	15,647	6,792	177,092	545	226	568	1,581	61	1,208	695	2,337	18	23,757	122	0	31,119	2,701	360	211,272
	外来					8,576	17,445	110	595	116	978	5,208	3,737	847	104	0	2,190	39,904	0	2,095	41,999
放 射 線 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来					9	568	0	0	0	0	42	45	0	0	0	664	0	5,182	5,846	
合 計	入院	2,630,011	524,480	143,135	3,297,627	48,931	10,549	36,027	63,207	13,612	1,425,742	8,691	54,954	6,971	150,611	16,825	983	1,837,102	85,909	16,661	5,237,299
	外来					454,861	276,978	2,059	309,417	7,773	26,617	124,014	65,455	93,518	4,536	44,202	61,639	1,471,068		99,616	1,570,684

## 5. 入院患者数

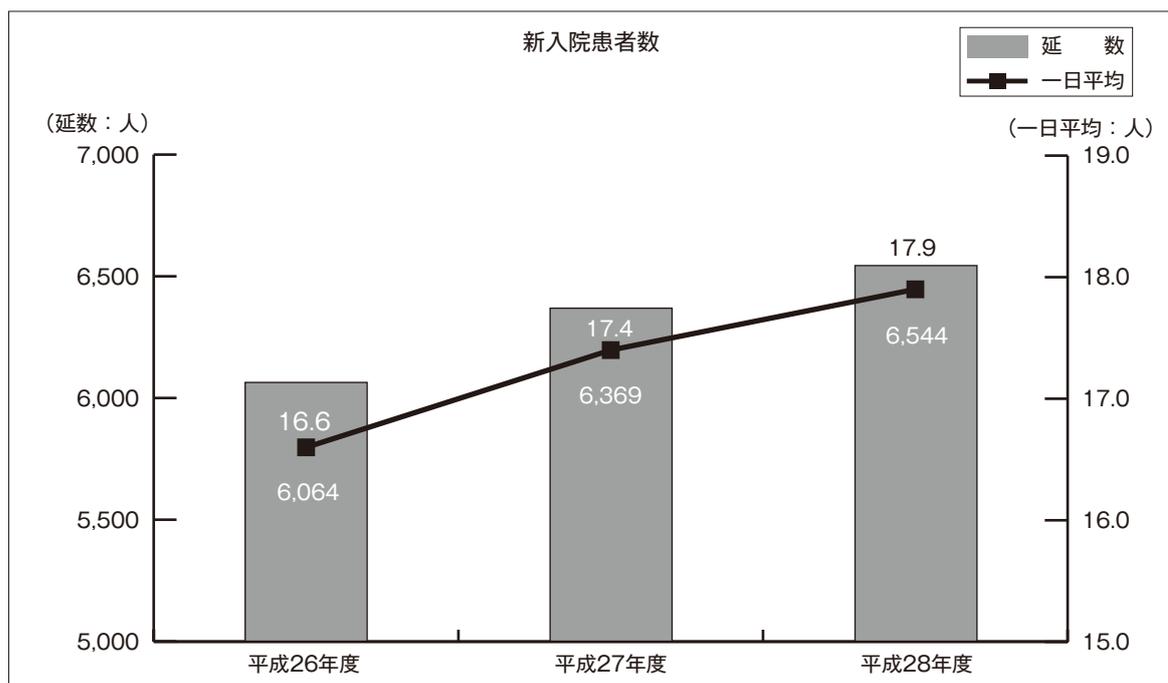


診療科別入院患者数

(単位：人)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	18,618	51.0	15,812	43.2	19,073	52.3
消化器内科	6,827	18.7	7,219	19.7	5,808	15.9
小児科	1,421	3.9	788	2.2	526	1.4
外科	11,992	32.9	12,545	34.3	8,162	22.4
呼吸器外科	—	—	—	—	4,832	13.2
整形外科	15,332	42.0	14,756	40.3	13,313	36.5
脳神経外科	9,693	26.6	10,610	29.0	9,166	25.1
皮膚科	323	0.9	384	1.0	226	0.6
泌尿器科	2	0.0	0	0.0	0	0.0
産婦人科	7,345	20.1	7,996	21.8	8,722	23.9
眼科	0	0.0	7	0.0	7	0.0
耳鼻咽喉科	920	2.5	878	2.4	1,567	4.3
麻酔科	285	0.8	233	0.6	48	0.1
精神科	9,837	27.0	7,763	21.2	7,270	19.9
血管外科・心臓外科	3,268	9.0	2,901	7.9	2,883	7.9
循環器内科	10,337	28.3	12,728	34.8	12,066	33.1
形成外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
神経内科	4,638	12.7	5,101	13.9	4,784	13.1
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	100,838	276.3	99,721	273.2	98,453	269.7

## 6. 新入院患者数

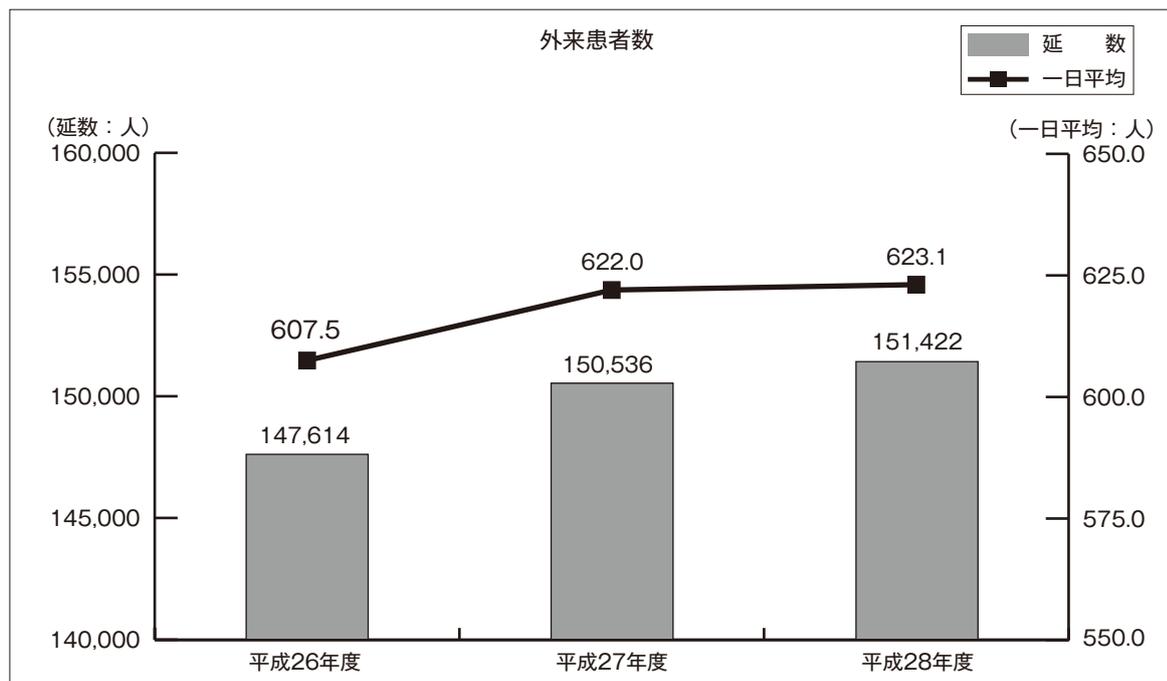


診療科別新入院患者数

(単位: 人)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	994	2.7	990	2.7	1,137	3.1
消化器内科	492	1.3	556	1.5	479	1.3
小児科	216	0.6	163	0.4	108	0.3
外科	757	2.1	843	2.3	436	1.2
呼吸器外科	—	—	—	—	360	1.0
整形外科	711	1.9	695	1.9	691	1.9
脳神経外科	676	1.8	682	1.9	668	1.8
皮膚科	18	0.0	29	0.1	17	0.0
泌尿器科	1	0.0	0	0.0	0	0.0
産婦人科	778	2.1	913	2.5	1,049	2.9
眼科	0	0.0	1	0.0	1	0.0
耳鼻咽喉科	145	0.4	136	0.4	246	0.7
麻酔科	26	0.1	21	0.1	11	0.0
精神科	160	0.4	117	0.3	123	0.3
血管外科・心臓外科	174	0.5	143	0.4	176	0.5
循環器内科	629	1.7	764	2.1	762	2.1
形成外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
神経内科	287	0.8	316	0.9	280	0.8
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	6,064	16.6	6,369	17.4	6,544	17.9

## 7. 外来患者数

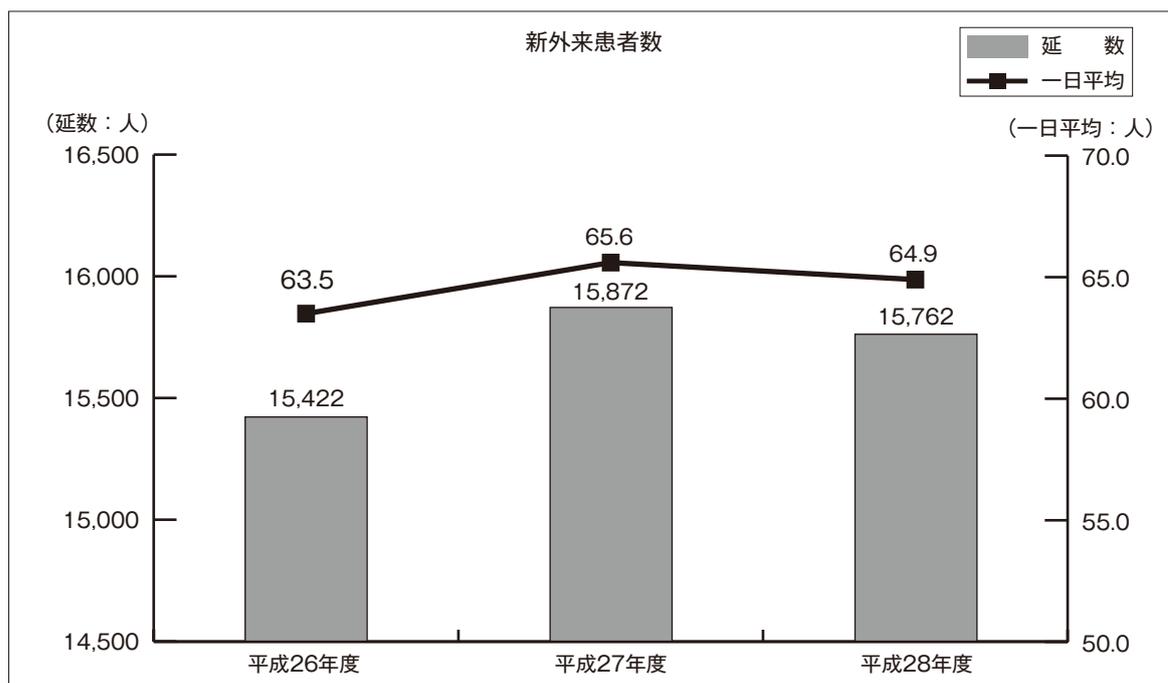


診療科別外来患者数

(単位: 人)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	29,285	120.5	29,500	121.9	30,085	123.8
消化器内科	5,399	22.2	6,142	25.4	5,824	24.0
小児科	4,916	20.2	4,294	17.7	4,359	17.9
外科	11,646	47.9	13,212	54.6	8,350	34.4
呼吸器外科	—	—	—	—	4,690	19.3
整形外科	16,640	68.5	17,022	70.3	17,355	71.4
脳神経外科	9,617	39.6	9,434	39.0	9,161	37.7
皮膚科	6,958	28.6	6,463	26.7	6,171	25.4
泌尿器科	732	3.0	706	2.9	814	3.3
産婦人科	10,997	45.3	11,677	48.3	10,922	44.9
眼科	5,766	23.7	5,768	23.8	5,734	23.6
耳鼻咽喉科	6,221	25.6	6,013	24.8	7,113	29.3
麻酔科	842	3.5	810	3.3	692	2.8
精神科	14,665	60.3	13,759	56.9	13,758	56.6
血管外科・心臓外科	4,723	19.4	4,630	19.1	4,506	18.5
循環器内科	14,559	59.9	15,431	63.8	16,070	66.1
形成外科	659	2.7	616	2.5	685	2.8
神経内科	3,977	16.4	5,044	20.8	5,110	21.0
放射線科	12	0.0	15	0.1	23	0.1
合計	147,614	607.5	150,536	622.0	151,422	623.1

## 8. 新外来患者数



診療科別新外来患者数

(単位：人)

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	2,377	9.8	2,256	9.3	2,064	8.5
消化器内科	880	3.6	1,008	4.2	857	3.5
小児科	331	1.4	452	1.9	420	1.7
外科	1,059	4.4	1,318	5.4	880	3.6
呼吸器外科	—	—	—	—	502	2.1
整形外科	1,816	7.5	1,808	7.5	2,062	8.5
脳神経外科	1,254	5.2	1,382	5.7	1,364	5.6
皮膚科	1,544	6.4	1,306	5.4	1,178	4.8
泌尿器科	204	0.8	144	0.6	157	0.6
産婦人科	987	4.1	992	4.1	980	4.0
眼科	454	1.9	443	1.8	418	1.7
耳鼻咽喉科	1,405	5.8	1,377	5.7	1,676	6.9
麻酔科	47	0.2	42	0.2	20	0.1
精神科	515	2.1	576	2.4	541	2.2
血管外科・心臓外科	323	1.3	352	1.5	295	1.2
循環器内科	1,193	4.9	1,250	0.0	1,265	5.2
形成外科	154	0.6	155	0.6	188	0.8
神経内科	863	3.6	996	4.1	877	3.6
放射線科	16	0.1	15	0.1	18	0.1
合計	15,422	63.5	15,872	65.6	15,762	64.9

## 9. 診療科別稼働額

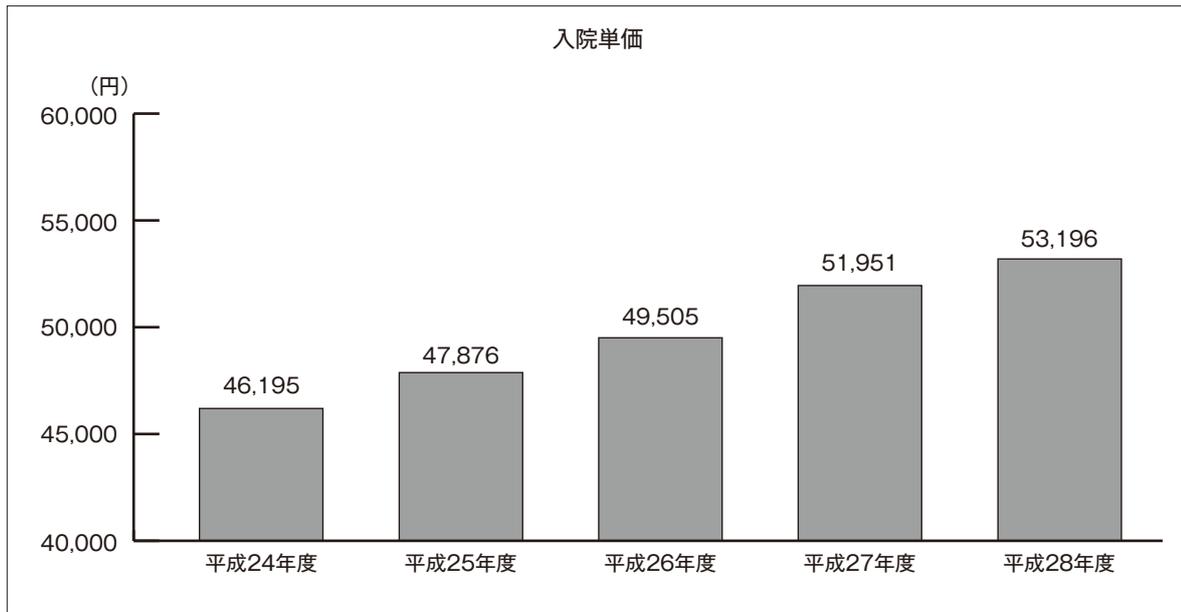
(単位：円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
内科	入院	779,010,383	675,256,573	718,779,059	660,069,023	784,378,199
	外来	501,862,269	490,504,072	452,698,826	448,994,550	454,610,932
	合計	1,280,872,652	1,165,760,645	1,171,477,885	1,109,063,573	1,238,989,131
消化器内科	入院	230,025,129	203,840,952	286,397,884	312,481,510	270,459,796
	外来	82,380,802	75,859,253	84,723,740	94,752,778	96,723,841
	合計	312,405,931	279,700,205	371,121,624	407,234,288	367,183,637
小児科	入院	105,485,656	75,495,874	53,291,818	38,325,648	28,321,856
	外来	42,476,126	38,275,566	33,053,167	35,076,817	40,107,373
	合計	147,961,782	113,771,440	86,344,985	73,402,465	68,429,229
外科	入院	792,591,310	780,837,739	739,251,799	779,586,096	450,039,921
	外来	196,559,957	230,983,794	246,353,585	277,511,770	130,290,765
	合計	989,151,267	1,011,821,533	985,605,384	1,057,097,866	580,330,686
呼吸器外科	入院	—	—	—	—	374,208,138
	外来	—	—	—	—	127,174,262
	合計	—	—	—	—	501,382,400
整形外科	入院	733,484,717	770,702,010	814,854,015	776,578,873	705,532,407
	外来	93,659,190	96,839,184	90,001,805	96,115,417	97,316,276
	合計	827,143,907	867,541,194	904,855,820	872,694,290	802,848,683
脳神経外科	入院	707,086,032	664,255,589	609,983,856	693,967,866	667,345,252
	外来	107,829,366	99,299,596	99,959,910	103,134,703	109,129,246
	合計	814,915,398	763,555,185	709,943,766	797,102,569	776,474,498
皮膚科	入院	11,753,920	23,649,499	10,572,394	12,842,849	7,761,482
	外来	20,463,484	19,927,570	20,892,259	19,299,581	19,506,776
	合計	32,217,404	43,577,069	31,464,653	32,142,430	27,268,258
泌尿器科	入院	127,943,315	76,929,124	120,450	0	0
	外来	138,543,136	140,374,588	5,358,156	5,186,905	4,817,417
	合計	266,486,451	217,303,712	5,478,606	5,186,905	4,817,417
産婦人科	入院	487,466,673	485,229,516	437,893,858	476,396,255	532,015,646
	外来	113,923,114	104,688,749	108,342,983	115,294,222	120,084,004
	合計	601,389,787	589,918,265	546,236,841	591,690,477	652,099,650
眼科	入院	0	0	0	308,970	380,670
	外来	31,806,615	32,578,755	32,318,508	33,311,543	31,843,849
	合計	31,806,615	32,578,755	32,318,508	33,620,513	32,224,519

(単位：円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
耳鼻咽喉科	入院	52,855,069	60,059,316	48,653,696	48,855,028	82,611,985
	外来	27,992,129	26,118,142	25,765,479	26,377,016	37,271,912
	合計	80,847,198	86,177,458	74,419,175	75,232,044	119,883,897
麻酔科	入院	7,153,460	6,338,024	11,477,970	8,982,270	2,666,328
	外来	2,568,263	1,599,873	1,679,854	1,362,080	1,331,997
	合計	9,721,723	7,937,897	13,157,824	10,344,350	3,998,325
精神科	入院	195,559,620	176,672,741	173,908,394	146,494,775	151,178,807
	外来	81,720,515	79,128,256	78,533,898	76,849,589	80,819,033
	合計	277,280,135	255,800,997	252,442,292	223,344,364	231,997,840
血管外科・心臓外科	入院	160,648,819	118,837,252	229,633,417	205,583,394	203,683,603
	外来	30,586,675	28,146,526	28,905,959	27,523,806	27,988,892
	合計	191,235,494	146,983,778	258,539,376	233,107,200	231,672,495
循環器内科	入院	585,458,630	705,982,525	671,654,434	822,250,079	765,449,443
	外来	98,842,270	109,724,429	120,814,607	132,314,213	137,040,290
	合計	684,300,900	815,706,954	792,469,041	954,564,292	902,489,733
形成外科	入院	0	0	0	0	0
	外来	5,475,132	5,795,035	5,894,099	5,601,242	6,790,159
	合計	5,475,132	5,795,035	5,894,099	5,601,242	6,790,159
神経内科	入院	0	124,026,517	185,559,892	197,884,913	211,273,077
	外来	5,590,419	23,712,779	31,704,357	42,377,641	41,999,634
	合計	5,590,419	147,739,296	217,264,249	240,262,554	253,272,711
放射線科	入院	0	0	0	0	0
	外来	22,382,884	24,096,760	6,528,780	5,811,280	5,845,920
	合計	22,382,884	24,096,760	6,528,780	5,811,280	5,845,920
健診	入院	—	—	—	—	—
	外来	—	—	22,884,053	63,279,816	65,146,427
	合計	—	—	22,884,053	63,279,816	65,146,427
合計	入院	4,976,522,733	4,948,113,251	4,992,032,936	5,180,607,549	5,237,306,610
	外来	1,604,662,346	1,627,652,927	1,473,529,972	1,610,174,969	1,635,839,005
	合計	6,581,185,079	6,575,766,178	6,465,562,908	6,790,782,518	6,873,145,615

## 10. 一人一日入院単価(自費収益を含む)

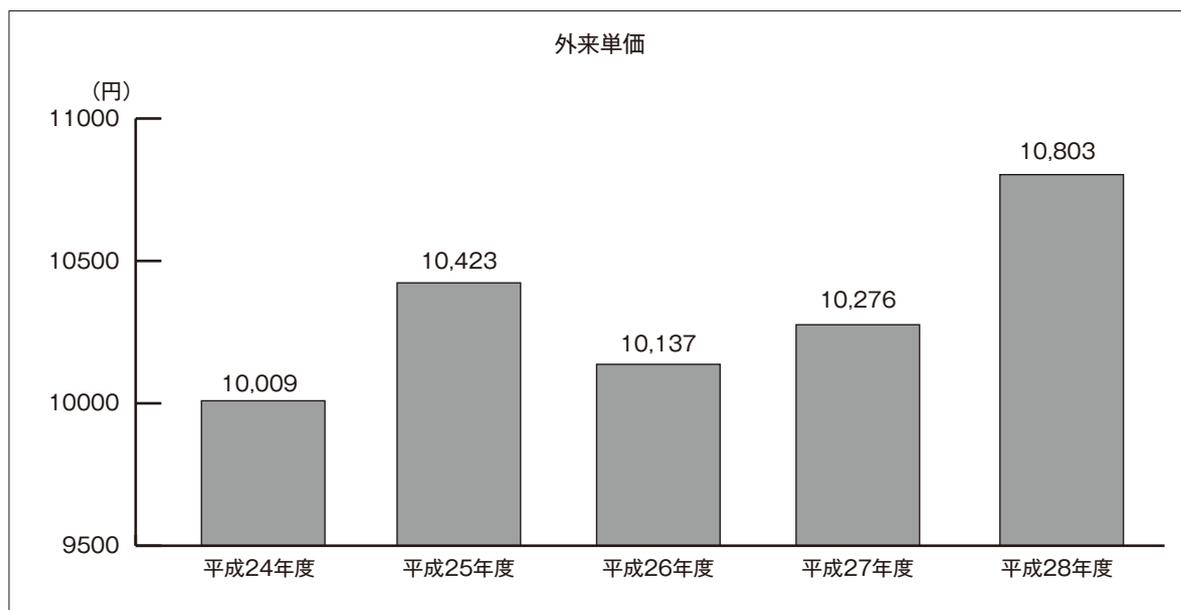


診療科別入院単価

(単位：円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
内 科	38,937	41,074	38,607	41,745	41,125
消化器内科	39,455	39,117	41,951	43,292	46,567
小 児 科	35,422	36,773	37,503	48,637	53,844
外 科	59,379	61,702	61,645	62,143	55,138
呼吸器外科	—	—	—	—	77,444
整形外科	46,288	48,037	53,147	52,628	52,996
脳神経外科	55,707	58,135	62,930	65,407	72,807
皮膚科	34,570	32,892	32,732	33,445	34,343
泌尿器科	50,095	49,219	60,225	0	0
産婦人科	57,054	59,384	59,618	59,579	60,997
眼 科	0	0	0	44,139	54,381
耳鼻咽喉科	48,669	46,958	52,884	55,644	52,720
麻酔科	34,895	33,535	40,274	38,551	55,549
精神科	15,986	16,502	17,679	18,871	20,795
血管外科・心臓外科	58,038	51,826	70,267	70,866	70,650
循環器内科	62,973	61,787	64,976	64,602	63,439
形成外科	0	0	0	0	0
神経内科	0	39,027	40,009	38,793	44,162
放射線科	0	0	0	0	0
合 計	46,195	47,876	49,505	51,951	53,196

## 11. 外来単価(自費収益を含む)

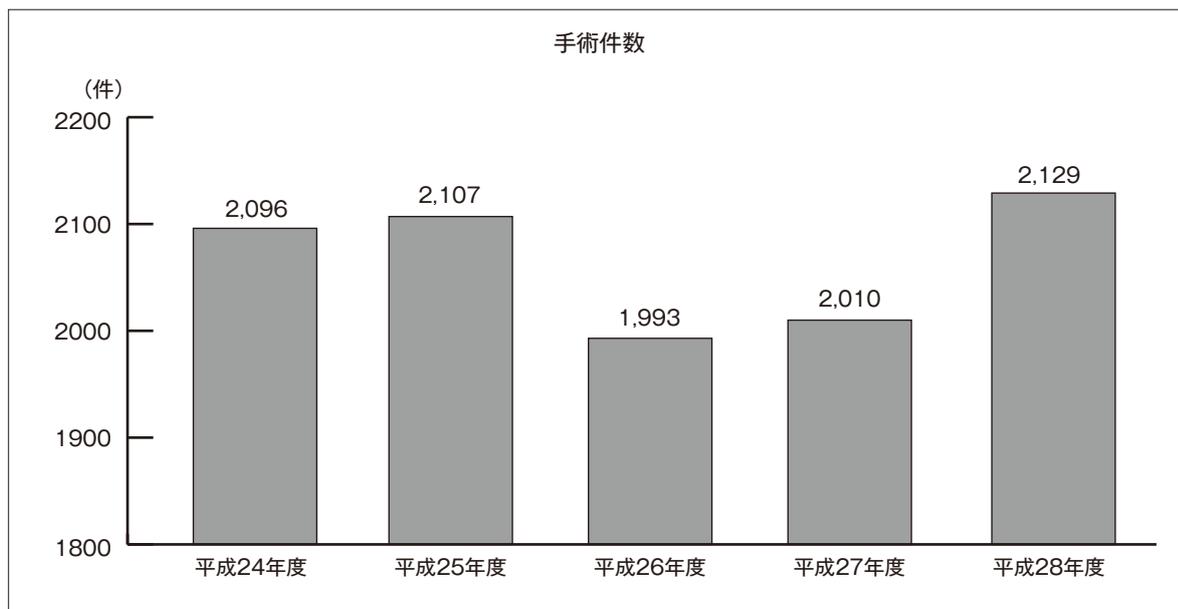


診療科別外来単価

(単位：円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
内 科	15,909	16,303	15,458	15,220	15,111
消化器内科	16,493	15,251	15,692	15,427	16,608
小 児 科	5,587	6,547	6,724	8,169	9,201
外 科	16,914	20,000	21,153	21,005	15,604
呼吸器外科	—	—	—	—	27,116
整形外科	4,802	5,316	5,409	5,647	5,607
脳神経外科	10,030	10,124	10,394	10,932	11,912
皮 膚 科	3,062	2,912	3,003	2,986	3,161
泌尿器科	14,402	16,045	7,320	7,347	5,918
産婦人科	11,180	10,625	9,852	9,874	10,995
眼 科	6,034	5,855	5,605	5,775	5,554
耳鼻咽喉科	4,512	4,220	4,142	4,387	5,240
麻 酔 科	2,706	2,367	1,995	1,682	1,925
精 神 科	5,557	5,290	5,355	5,585	5,874
血管外科・心臓外科	5,289	5,556	6,120	5,945	6,211
循環器内科	7,498	7,773	8,298	8,575	8,528
形成外科	8,148	8,071	8,944	9,093	9,913
神経内科	5,365	7,968	7,972	8,402	8,219
放射線科	0	0	544,065	387,419	254,170
合 計	10,009	10,423	10,137	10,276	10,803

## 12. 手術件数(手術室)

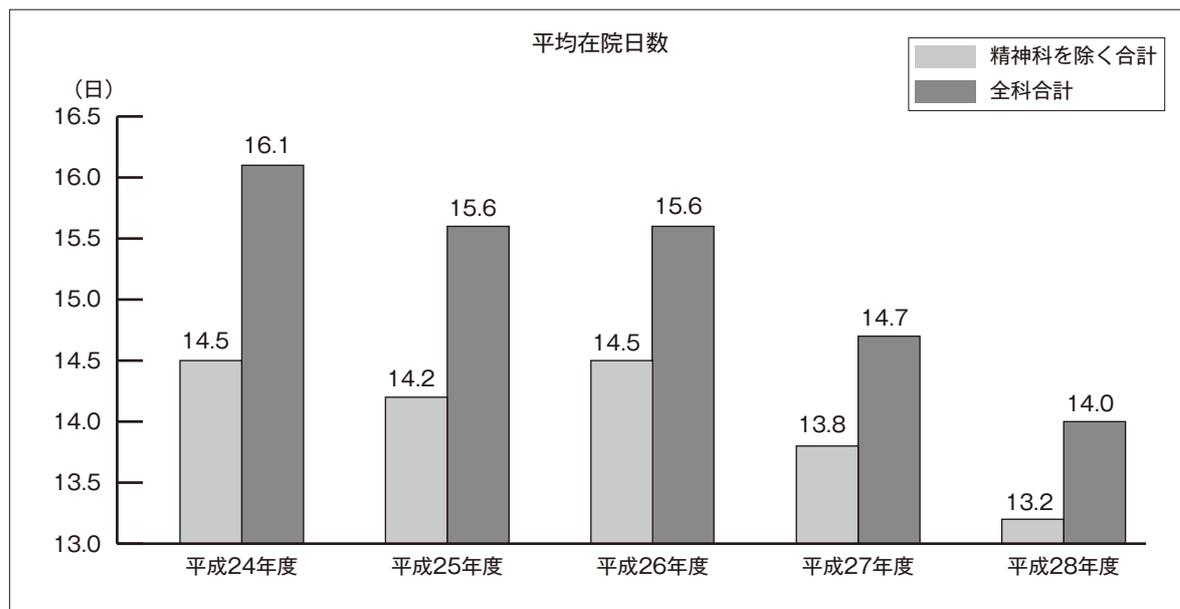


診療科別手術件数(手術室)

(単位：件)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
消化器内科	1	13	3	3	9
外科	524	536	503	541	418
呼吸器外科	—	—	—	—	140
整形外科	556	634	571	575	524
脳神経外科	129	147	166	164	160
泌尿器科	156	102	7	4	7
産婦人科	340	335	341	361	389
眼科	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	87	88	73	70	105
麻酔科	3	4	22	4	9
精神科	135	107	140	144	191
血管外科・ 心臓外科	75	58	73	42	62
循環器内科	0	0	0	0	0
形成外科	90	83	94	102	115
合計	2,096	2,107	1,993	2,010	2,129

### 13. 平均在院日数

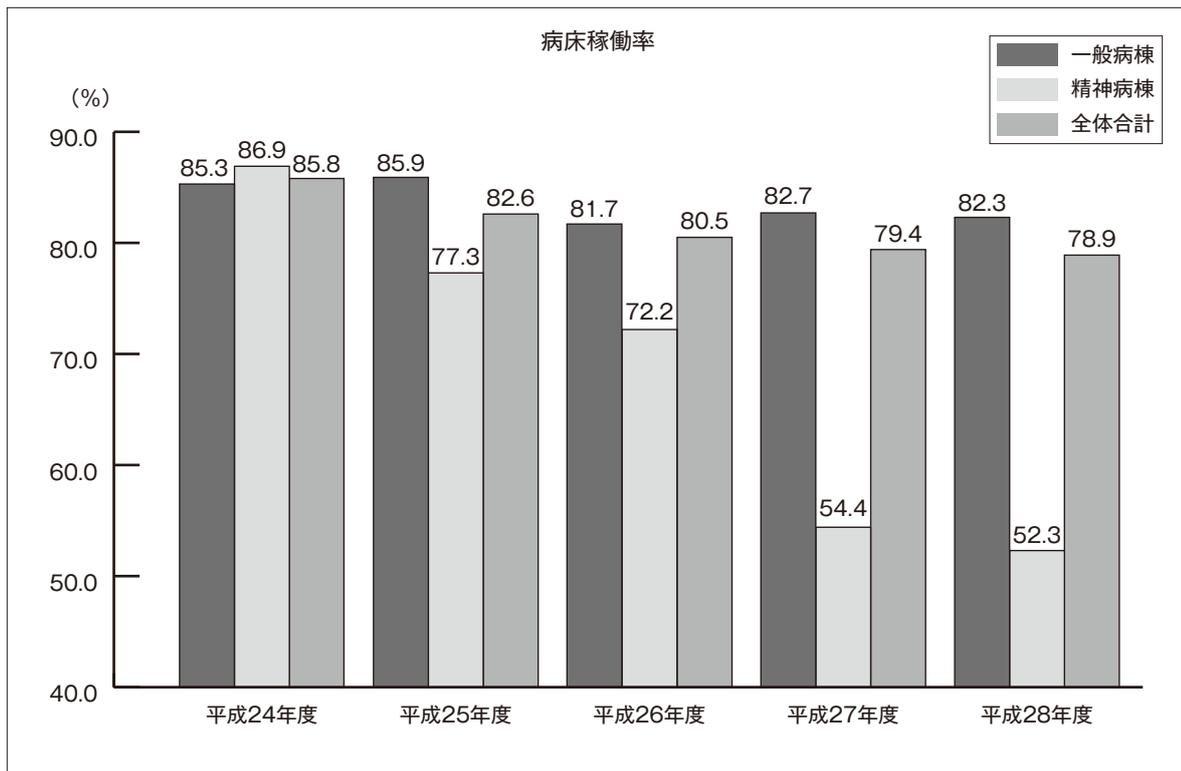


診療科別平均在院日数

(単位：日)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
内 科	17.8	16.1	18.0	15.5	16.1
消化器内科	14.1	13.0	13.3	12.0	11.3
小 児 科	7.8	7.6	5.5	3.8	4.0
外 科	16.3	15.5	14.3	13.8	16.5
呼吸器外科	—	—	—	—	12.3
整形外科	22.0	20.8	20.6	20.0	18.2
脳神経外科	16.3	16.6	13.5	14.8	12.9
皮 膚 科	13.8	15.7	17.5	12.2	14.2
泌尿器科	7.6	5.8	1.0	0.0	0.0
産婦人科	7.9	7.8	8.5	7.8	7.3
眼 科	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0
耳鼻咽喉科	5.7	6.1	5.3	5.5	5.5
麻 酔 科	14.9	13.5	11.5	11.7	3.6
血管外科・心臓外科	14.9	14.3	18.1	19.7	15.4
循環器内科	16.0	17.7	15.6	15.3	15.0
神 経 内 科	0.0	14.2	13.4	15.3	16.0
精神科を除く合計	14.5	14.2	14.5	13.8	13.2
精 神 科	78.4	63.0	53.2	60.0	48.8
全 科 合 計	16.1	15.6	15.6	14.7	14.0

## 14. 病床稼働率(退院を含む)

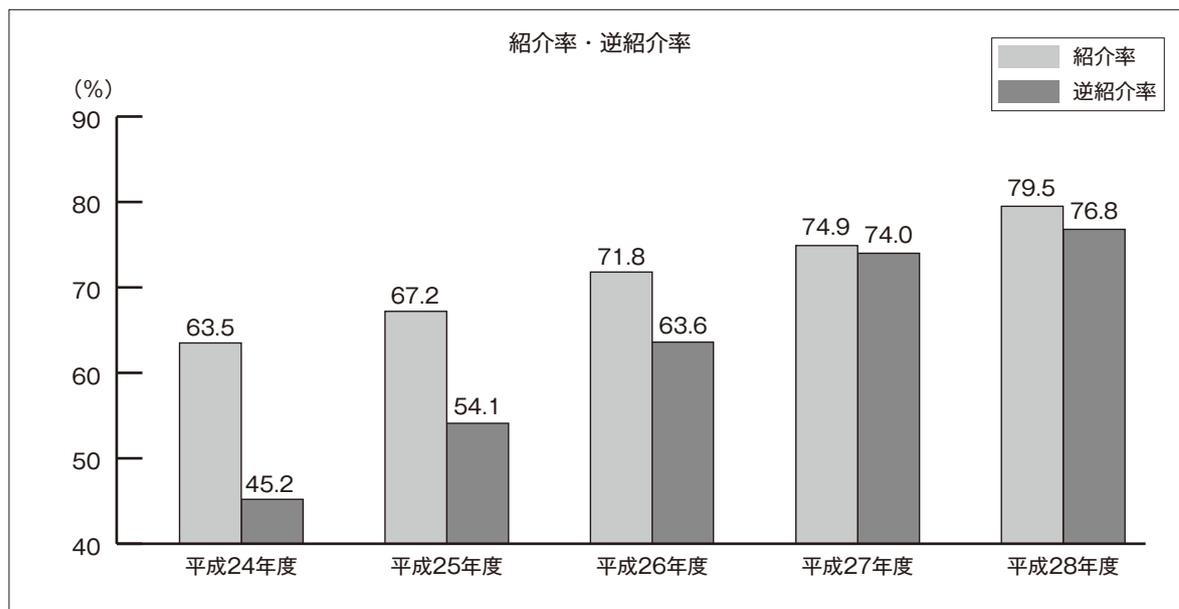


病棟別病床稼働率

(単位：%)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1号館 2病棟	85.6	83.4	78.3	80.5	81.7
1号館 3病棟	87.4	88.2	84.5	83.1	78.5
1号館 4病棟	86.9	81.5	86.9	85.2	86.2
2号館 3病棟	85.0	79.4	72.3	77.8	85.0
3号館 4病棟	87.6	85.2	80.2	84.8	78.9
本館 3病棟	86.4	84.2	82.7	85.0	83.8
本館 4病棟	82.5	79.8	82.7	81.4	83.5
一般病棟	85.3	85.9	81.7	82.7	82.3
2号館 2病棟	86.9	77.3	72.2	54.4	52.3
全体合計	85.8	82.6	80.5	79.4	78.9

## 15. 紹介率・逆紹介率

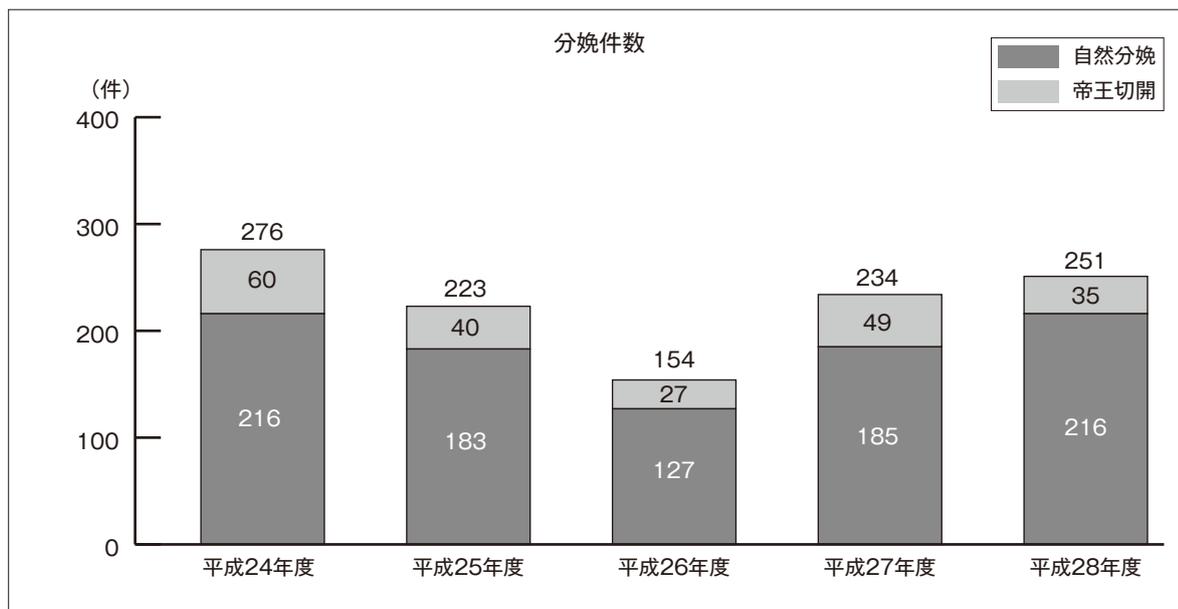


診療科別紹介率・逆紹介率

(単位: %)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	紹介率	逆紹介率								
内 科	66.9	44.0	70.7	44.9	74.2	60.6	76.8	61.8	85.6	74.6
消化器内科	78.1	48.8	86.9	55.9	85.4	54.8	88.4	65.5	92.8	64.0
小 児 科	64.2	10.1	59.4	9.7	50.1	13.3	62.6	20.1	56.4	28.1
外 科	62.5	49.3	70.8	48.8	80.4	57.8	80.6	73.7	70.5	70.8
呼吸器外科	—	—	—	—	—	—	—	—	108.1	91.2
整形外科	59.2	37.6	65.1	45.4	66.1	61.0	69.9	99.4	77.4	70.5
脳神経外科	66.4	75.9	72.9	72.8	126.2	240.2	120.5	216.9	126.3	228.2
皮 膚 科	49.4	22.1	55.4	23.9	52.8	19.9	55.0	27.9	54.0	30.8
泌尿器科	69.2	52.4	73.9	299.8	68.6	120.0	125.0	212.5	81.0	133.3
産婦人科	54.9	23.3	54.4	31.0	57.7	39.0	58.7	36.5	65.2	38.3
眼 科	27.5	35.3	38.5	38.0	46.6	65.7	44.0	85.5	46.3	83.6
耳鼻咽喉科	52.9	24.2	56.3	25.8	55.1	28.1	56.3	33.1	65.2	28.0
麻 酔 科	63.0	25.9	64.0	44.0	109.1	63.6	42.9	57.1	77.8	44.4
精 神 科	51.5	52.9	50.3	41.0	45.1	84.2	47.4	88.5	54.4	115.0
血管外科・ 心臓外科	82.3	60.9	82.5	46.5	112.2	73.2	95.9	75.9	98.1	95.7
循環器内科	87.0	96.9	91.1	87.5	102.7	126.3	113.8	160.5	115.2	165.9
形成外科	56.3	34.4	65.3	44.0	104.3	50.0	71.1	17.1	83.6	19.8
神経内科	75.8	66.7	58.0	31.9	68.1	60.0	68.4	58.6	70.8	68.2
放射線科	100.0	100.0	100.0	100.0	110.0	130.0	100.0	116.7	100.0	128.6
合 計	63.5	45.2	67.2	54.1	71.8	63.6	74.9	74.0	79.5	76.8

## 16. 分娩件数

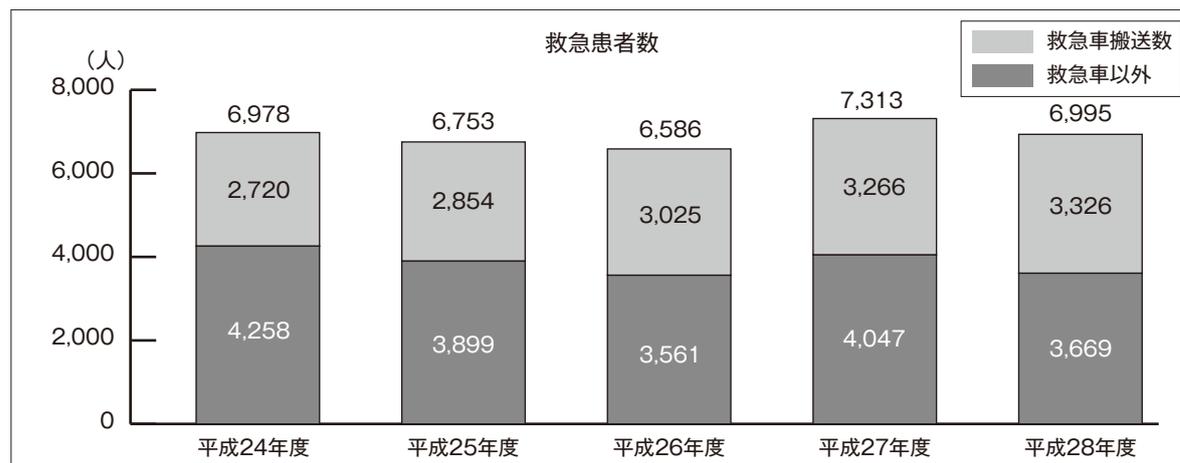


分娩件数

(単位：件)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自然分娩	216	183	127	185	216
帝王切開	60	40	27	49	35
合計	276	223	154	234	251

## 17. 救急患者数



診療科別救急患者数

(単位：人)

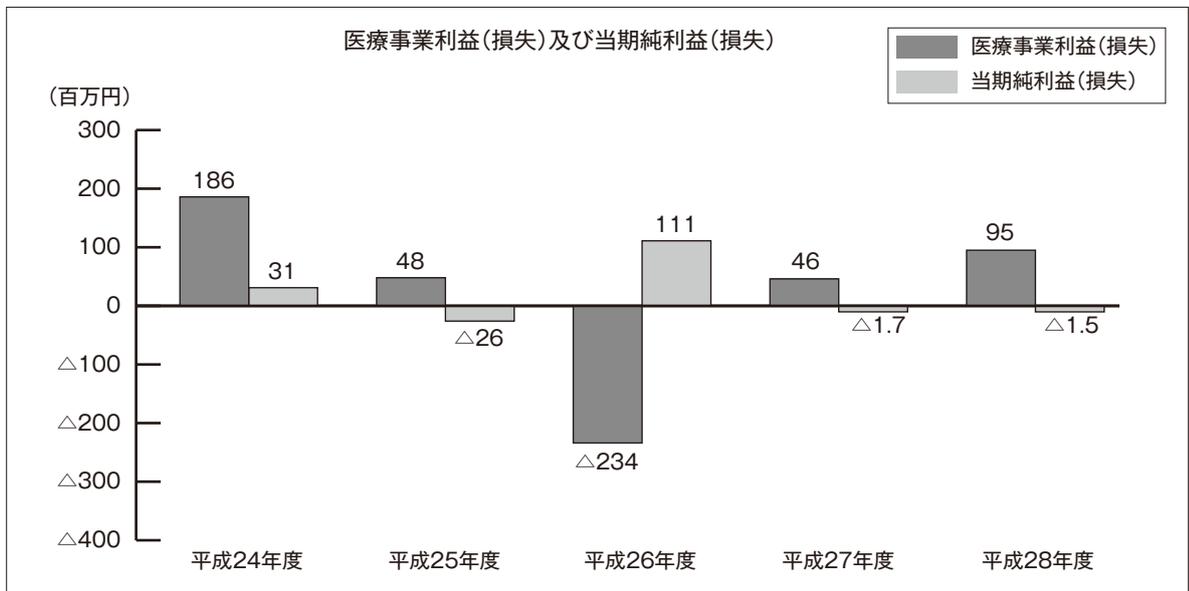
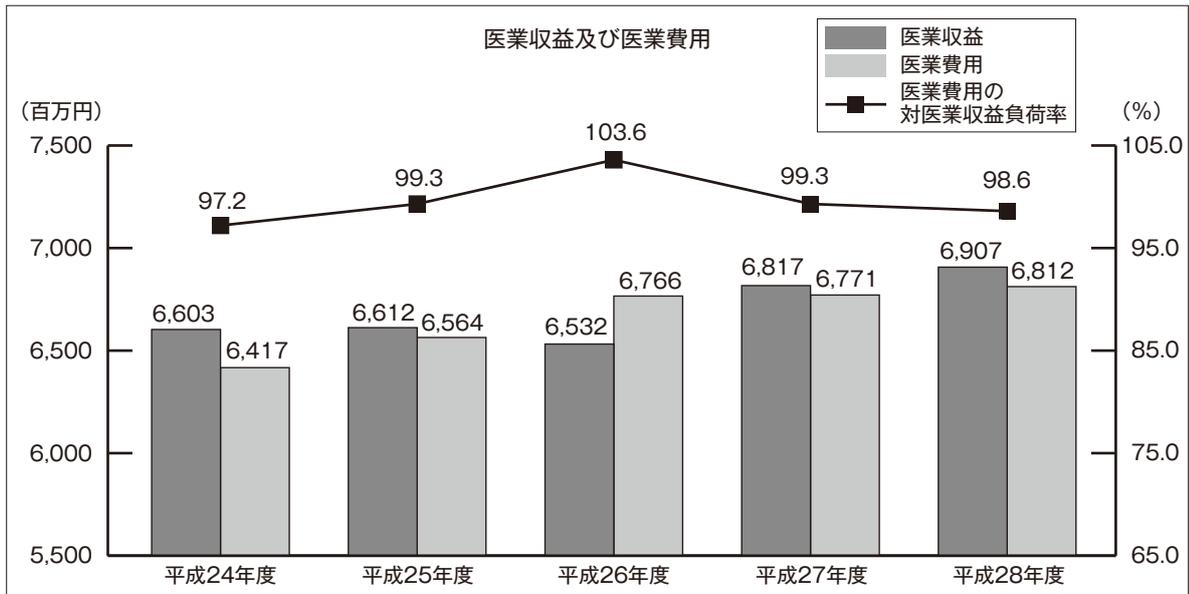
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
内 科	1,504	1,207	1,164	1,187	1,088
消化器内科	183	168	242	248	195
小 児 科	285	193	125	146	144
外 科 科	660	744	752	958	562
呼吸器外科	—	—	—	—	282
整形外科	864	1,006	926	1,066	1,082
脳神経外科	1,439	1,309	1,327	1,396	1,373
皮膚科	251	108	63	83	48
泌尿器科	211	195	33	34	39
産婦人科	487	463	436	461	527
眼 科	8	4	4	4	12
耳鼻咽喉科	203	169	173	225	281
麻 醉 科	18	21	30	19	12
精 神 科	168	146	156	149	104
血管外科・心臓外科	127	100	119	140	124
循環器内科	556	628	645	693	710
形成外科	2	3	1	2	1
神経内科	12	289	390	502	411
合 計	6,978	6,753	6,586	7,313	6,995

診療科別救急車搬送患者数(再掲)

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
内 科	579	552	559	580	559
消化器科	83	83	114	112	94
小 児 科	74	68	51	45	43
外 科 科	99	105	121	172	103
呼吸器外科	—	—	—	—	67
整形外科	456	477	494	471	597
脳 外 科	884	765	850	925	924
皮膚科	17	22	7	19	12
泌尿器科	52	49	12	13	15
産婦人科	28	19	23	22	25
眼 科	2	0	1	1	3
耳 鼻 科	48	40	38	44	76
麻 醉 科	17	18	19	14	11
精 神 科	69	70	70	57	51
心 外 科	43	47	55	76	70
循環器科	268	330	348	361	391
形成外科	0	0	0	0	0
神経内科	1	209	263	354	285
合 計	2,720	2,854	3,025	3,266	3,326

## 18. 損益推移



(単位：円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
医業収益	6,603,202,357	6,611,775,746	6,532,307,534	6,817,136,271	6,907,344,815
医業費用	6,417,397,765	6,563,800,615	6,766,324,012	6,770,923,163	6,812,231,140
医業事業利益(損失)	185,804,592	47,975,131	△ 234,016,478	46,213,108	95,113,675
医業費用の対医業収益負荷率	97.2%	99.3%	103.6%	99.3%	98.6%
医業外利益(損失)	△ 87,214,528	7,309,262	1,207,199	25,791,902	2,159,643
医療社会利益(損失)	△ 67,988,411	△ 80,131,473	△ 86,827,223	△ 81,545,595	△ 97,070,066
付帯事業利益(損失)	3,236,021	2,487,014	993,439	△ 116,615	△ 1,045,454
特別利益(損失)	△ 471,384	△ 1,094,916	430,431,982	8,420,388	△ 23,885
法人税等	2,358,544	2,535,807	750,553	511,644	686,120
当期純利益(損失)	31,007,746	△ 25,990,789	111,038,366	△ 1,748,456	△ 1,552,207

## 19. 比較損益計算書

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	(27年度～28年度)	
			差引	前年度比
医療事業損益計算				
医業収益	6,817,136,281	6,907,344,815	90,208,534	1.3%
入院診療収益	5,087,416,883	5,150,467,984	63,051,101	1.2%
室料差額収益	93,209,932	89,350,868	△ 3,859,064	△4.1%
外来診療収益	1,454,509,763	1,475,182,279	20,672,516	1.4%
保険予防活動収益	122,627,178	128,105,851	5,478,673	4.5%
受託検査・施設利用収益	5,607,056	5,425,318	△ 181,738	△3.2%
その他の医業収益	69,739,857	70,801,381	1,061,524	1.5%
保険等差通減	△ 15,974,388	△ 11,988,866	3,985,522	△24.9%
医業費用	6,770,923,163	6,812,231,140	41,307,977	0.6%
材 料 費	1,724,459,621	1,651,979,816	△ 72,479,805	△4.2%
給 与 費	3,683,622,933	3,796,252,266	112,629,333	3.1%
委 託 費	463,437,250	482,822,500	19,385,250	4.2%
設備関係費	577,838,456	569,881,175	△ 7,957,281	△1.4%
研究研修費	53,585,724	52,986,526	△ 599,198	△1.1%
経 費	267,979,179	258,308,857	△ 9,670,322	△3.6%
医療事業利益(損失)	46,213,118	95,113,675	48,900,557	105.8%
事業損益計算				
医業外収益	178,469,871	147,941,033	△ 30,528,838	△17.1%
医業外費用	152,677,969	145,781,390	△ 6,896,579	△4.5%
医療外利益(損失)	25,791,902	2,159,643	△ 23,632,259	△91.6%
医療社会事業収益	5,491,424	4,743,587	△ 747,837	△13.6%
医療奉仕費用	87,037,019	101,813,653	14,776,634	17.0%
医療社会事業利益(損失)	△ 81,545,595	△ 97,070,066	△ 15,524,471	19.0%
事業利益(損失)	△ 9,540,575	203,252	9,743,827	△102.1%
経常損益計算				
付帯事業収益	54,329,114	55,101,790	772,676	1.4%
付帯事業費用	54,445,729	56,147,244	1,701,515	3.1%
付帯事業利益(損失)	△ 116,615	△ 1,045,454	△ 928,839	796.5%
経常利益(損失)	△ 9,657,190	△ 842,202	8,814,988	△91.3%
当期純損益計算				
特別利益	13,351,507	4,742,866	△ 8,608,641	△64.5%
特別損失	4,931,119	4,766,751	△ 164,368	△3.3%
特別利益(損失)	8,420,388	△ 23,885	△ 8,444,273	△100.3%
税引前当期純利益(損失)	△ 1,236,802	△ 866,087	370,715	△30.0%
法人税等	511,644	686,120	174,476	34.1%
当期純利益(損失)	△ 1,748,446	△ 1,552,207	196,239	△11.2%
前期繰越利益(損失)	554,436,781	552,688,335	△ 1,748,446	△0.3%
当期未処分利益(未処理損失)	552,688,335	551,136,128	△ 1,552,207	△0.3%

## 20. 比較貸借対照表

(単位：円)

科目	平成27年度	平成28年度	増減	科目	平成27年度	平成28年度	増減				
<b>1. 流動資産</b>				<b>1. 流動負債</b>							
現金・預金	343,113,221	1,423,364,939	1,080,251,718	買掛金	310,112,282	317,012,364	6,900,082				
医業未収金	1,141,344,655	1,118,947,673	△ 22,396,982	未払金	379,446,399	1,022,387,940	642,941,541				
未収金	63,524,292	64,886,602	1,362,310	短期借入金	742,000,000	926,760,000	184,760,000				
有価証券	0	0	0	未払費用	50,745,948	37,606,033	△ 13,139,915				
医薬品	15,660,856	24,695,381	9,034,525	未払法人税等	1,060,240	873,180	△ 187,060				
診療材料	0	0	0	前受金	0	0	0				
給食用材料	0	0	0	預り金	2,025,698	1,592,163	△ 433,535				
貯蔵品	3,117,993	3,201,951	83,958	職員預り金	22,108,198	21,989,801	△ 118,397				
前渡金	0	0	0	前受収益	0	0	0				
前払費用	3,698,910	3,399,130	△ 299,780	賞与引当金	175,076,741	187,538,763	12,462,022				
未収収益	11,240,671	10,922,963	△ 317,708	その他の流動負債	0	0	0				
短期貸付金	0	0	0	流動負債計	1,682,575,506	2,515,760,244	833,184,738				
繰延税金資産	0	0	0	<b>2. 固定負債</b>							
その他流動資産	83,127,320	108,612,524	25,485,204	長期借入金	838,000,000	1,731,240,000	893,240,000				
流動資産計	1,664,827,918	2,758,031,163	1,093,203,245	長期未払金	235,785,311	161,266,703	△ 74,518,608				
<b>2. 固定資産</b>				預り出資金	0	0	0				
<b>(1)有形固定資産</b>				退職交付受入金	0	0	0				
建物	1,772,876,691	1,685,290,196	△ 87,586,495	退職給付引当金	2,409,187,460	2,611,580,804	202,393,344				
建物付属設備	333,115,549	305,936,764	△ 27,178,785	医療訴訟引当金	0	0	0				
構築物	5,117,578	5,117,578	0	長期前受補助金等	204,673,392	182,413,949	△ 22,259,443				
医療用器械備品	284,886,074	252,566,109	△ 32,319,965	その他の固定負債	0	0	0				
その他器械備品	99,688,445	72,957,349	△ 26,731,096	固定負債計	3,687,646,163	4,686,501,456	998,855,293				
車両	10,121,377	6,525,655	△ 3,595,722	負債合計	5,370,221,669	7,202,261,700	1,832,040,031				
放射性同位元素	0	0	0	<b>3. 基本金</b>							
その他の有形固定資産	0	0	0	基本金	16,499,809	16,499,809	0				
土地	1,044,675,163	991,919,018	△ 52,756,145	<b>4. 基金積立金</b>							
建物仮勘定	170,129,548	929,315,346	759,185,798	本社交付金	0	0	0				
有形固定資産計	3,720,610,425	4,249,628,015	529,017,590	支部繰入金	17,043,000	17,043,000	0				
<b>(2)無形固定資産</b>				その他の繰入金	0	0	0				
借地権	0	0	0	補助金	0	0	0				
ソフトウェア	217,771,670	173,336,771	△ 44,434,899	寄付金	0	0	0				
その他無形固定資産	618,145	618,145	0	固定資産再評価益(損)金	5,643,237	5,643,237	0				
無形固定資産計	218,389,815	173,954,916	△ 44,434,899	固定資産処分益(損)金	0	0	0				
<b>(3)その他の資産</b>				基金積立金合計	22,686,237	22,686,237	0				
有価証券	0	0	0	<b>5. 利益剰余金</b>							
長期貸付金	15,600,000	19,800,000	4,200,000	利益積立金	654,130,178	654,130,178	0				
預金	0	0	0	特別積立金	0	0	0				
長期未収金	0	0	0	当期末処分利益(損失)	552,688,335	551,136,128	△ 1,552,207				
長期前払費用	0	152,797,436	152,797,436	利益剰余金合計	1,206,818,513	1,205,266,306	△ 1,552,207				
施設設備準備積立金	0	0	0	<b>6. 有価証券評価差額金</b>							
病院建物建設資金出資金	350,592,539	364,226,607	13,634,068	有価証券評価差額金	0	0	0				
病院財性調整事業資金出資金	169,456,900	176,274,036	6,817,136	基金合計	1,246,004,559	1,244,452,352	△ 1,552,207				
出資金	0	0	0								
退職拠出金	476,414,491	551,667,739	75,253,248								
預託金	334,140	334,140	0								
繰延税金資産	0	0	0								
その他の固定資産	0	0	0								
その他の固定資産計	1,012,398,070	1,265,099,958	252,701,888								
固定資産計	4,951,398,310	5,688,682,889	737,284,579								
資産合計	6,616,226,228	8,446,714,052	1,830,487,824								
								負債及び基金合計	6,616,226,228	8,446,714,052	1,830,487,824

# IV

## 活動実績

1. 内科・消化器内科	49	15. 産婦人科	60
2. 糖尿病・代謝内科	50	16. 眼科	62
3. 循環器内科	51	17. 耳鼻咽喉科	62
4. 神経内科	52	18. 放射線科	63
5. 精神科	52	19. 麻酔科	64
6. 小児科	53	20. リハビリテーション科	65
7. 外科	53	21. 薬剤部	66
8. 血管外科・心臓外科	55	22. 医療技術部	68
9. 呼吸器外科	56	23. 看護部	71
10. 整形外科	57	24. 検査部	82
11. 脳神経外科	57	25. 医療社会事業部	85
12. 皮膚科	59	26. 事務部	91
13. 形成外科	60	27. 医療安全推進室	98
14. 泌尿器科	60	28. 付帯施設	101





# 1. 内科・消化器内科

## 【副院長】 宮田 昌之(副院長 兼 医療社会事業部長)

日本内科学会認定専門医、アメリカ内科学会専門医、  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本リウマチ学会認定指導医、  
日本アレルギー学会認定指導医、日本消化器病学会認定専門医、  
日本肝臓学会認定専門医、日本医師会認定産業医、福島県立医科大学医学部臨床教授  
専 門 リウマチ、膠原病、アレルギー疾患の診断と治療

## 【部 長】 黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定専門医、日本内科学会認定総合内科専門医、  
日本肝臓学会認定指導医、日本消化器病学会認定指導医、  
日本消化器内視鏡学会認定専門医、福島県立医科大学医学部臨床教授、客員講師  
専 門 肝炎、肝臓がんの診断と治療

## 寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定医  
専 門 アレルギー疾患、特に喘息の診断と治療

## 菅野有紀子(第3内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定医・専門医、日本消化器病学会専門医、  
日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、  
日本リウマチ学会専門医  
専 門 内科、消化器科、肝臓疾患

## 【医 師】 加藤 恒孝

日本内科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会  
専 門 消化管、大腸疾患

## 【部外医】 泉田 太郎、引地 拓人、中村 純、岡井 研、美佐 健一、力丸 真美

### <平成28年度実績>

当科は内科、消化器疾患を幅広く診療しており、平成28年度も厳しい診療体制であった。

日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本リウマチ学会、日本アレルギー学会の認定施設である。食道がん、胃がん、大腸がんに対するESD(内視鏡的粘膜切除)、総胆管結石、悪性胆道閉塞に対する内視鏡治療に積極的に取り組んでいる。また、肝疾患専門医療機関であり、肝炎、肝がんの診療にも力を入れている。

症例数、治療、成績：内科消化器内科として年間入院患者数1,532例(糖尿病除く)で消化管、肝胆膵、呼吸器、膠原病と症例は多岐にわたる。疾患別入院数は1. 大腸疾患242例 2. 呼吸器疾患199例 3. 肝疾患185例で腹部超音波検査の年間症例数約3,000例、上部消化管内視鏡検査年間症例数約3,500件、下部消化管内視鏡件数約1,200件(内訳は下記参照)と増加している。胃癌に対するESD、大腸EMRも年々増加し、福島県立医科大学内視鏡科の引地、中村医師と共に治療にあたっており、症例数は過去最高であった。C型慢性肝炎には直接作用型抗ウイルス療法、B型慢性肝炎には核酸アナログ製剤投与を行っている。肝細胞癌にはビーズを用いた肝動脈塞栓療法(TACE)や経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)を50例以上に施行している。また、関節リウマチに対する生物学的製剤やJAK阻害剤を用いた最新治療の症例数は県内トップクラスで、延べ400例以上を治療し、関節エコーによる診断、治療評価を積極的に導入している。関節エコー

の症例数は年間300例以上に達している。また、難治性の膠原病や不明熱の紹介も多い。呼吸器、腎臓疾患については福島県立医科大学の派遣医師とともに診療にあたり、禁煙外来での禁煙指導や睡眠時無呼吸の治療にも力を入れている。今後は病診連携に力を入れて症例数をさらに増加させ、地域の医療の活性化にも貢献したい。

また、研修医は例年どおり、日本内科学会、日本消化器病学会東北支部例会、内科学会地方会にて発表をしている。

<u>上部内視鏡検査総件数</u>	<u>3,459件</u>
上部内視鏡検査	3,180件
ESD	55件
止血術	42件 等
<u>下部内視鏡検査総数</u>	<u>1,234件</u>
下部内視鏡件数	942件
EMR	172件
ポリペクトミー	36件
止血術	21件
ESD	7件 等
<u>ERCP</u>	<u>103件</u>

#### <平成29年度目標>

糖尿病科医師の分離でさらに厳しい診療状態が危惧されたが、児玉医師の赴任により、診療体制が維持され、消化器症例(特に大腸疾患)の増加が見込まれる。昨年と同様、厳しい診療環境の中、他科の協力も得ながら、安全に効率良く診療をすることを目標としたい。まだまだ内科消化器内科、リウマチ、膠原病内科の医師は充足しておらず、厳しい状態が継続すると思われるが、新しい治療を積極的に取り入れ、コメディカルの力も借りて、クオリティの高い診療を維持して行きたい。また、研修医の指導や学会活動にも力を入れて病院、医局を盛り立てて行きたい。大学の医局を盛りたてるには初期研修医を多く獲得することが最も効果的である。初期研修にはプライマリケアを重視した指導が強く求められている。

今後はプライマリケア、総合内科を指導できるように研修を充実させ、研修医が幅広く臨床を見ていけるような研修の場を提供したい。

## 2. 糖尿病・代謝内科

### 【部長】 佐藤 義憲(糖尿病・代謝内科部長)

日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定総合内科専門医  
日本糖尿病学会認定専門医、日本糖尿病学会認定研修指導医  
ICD制度協議会認定インфекションコントロールドクター  
日本医師会認定産業医  
専門 糖尿病

#### <平成28年度実績>

##### 1. 活動実績

入院数が当科開設以来最多であった。  
外来予約診療 772  
入院 241  
学会発表 4

## 2. 学会発表

- ・ 5月19-21日、京都市、国立京都国際会館、第59回日本糖尿病学会年次学術集会  
「糖尿病ケトアシドーシス時の動脈血酸素分圧の検討」  
佐藤義憲
- ・ 11月12日、仙台市、仙台国際センター、第54回日本糖尿病学会東北地方会  
「ソフトドリンクケトアシドーシスが原因と考えられた急性膵炎の1例」  
野地もも子、佐藤義憲、加藤恒孝  
「繰り返す低血糖にグルコース静注を繰り返したところ痙攣発作をきたした摂食障害の1例」  
佐藤義憲、國島麻実子、守谷新  
「多発性骨髄腫に併発したインスリン自己免疫症候群と考えられる1例」  
國島麻実子、佐藤義憲

### <平成29年度目標>

29年度から内科消化器内科と完全に分離する。これまで通りの入院数を維持できるとよいのだが。

## 3. 循環器内科

### 【部長】 大和田尊之(第1循環器内科部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医  
日本心血管インターベンション治療学会認定専門医、  
日本高血圧学会認定指導医、福島県立医科大学臨床教授  
専門 循環器一般、虚血性心疾患、冠動脈疾患

### 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医、日本DMAT隊員  
専門 循環器科一般、不整脈

### 阪本 貴之(第3循環器内科部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医  
専門 循環器科一般、心血管インターベンション

### 【医師】 横川沙代子(医師)

専門 循環器一般

### 中里 和彦(非常勤医師)

### <平成28年度実績>

カテーテル件数(1月1日～12月31日)

CAG 427

PCI 217

EVT 15



## 4. 神経内科

**【部長】 中村耕一郎(神経内科部長)**

日本神経学会認定専門医、日本神経学会認定指導医  
日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医  
日本脳卒中学会、日本臨床神経生理学会  
専 門 神経内科一般

**【副部長】 守谷 新(神経内科部副部長)**

日本神経学会認定専門医  
日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医  
専 門 神経内科一般

**<平成28年度実績>**

平成28年度の入院件数は280件(前年度より36件減)であった。救急搬送患者数は285件で、うち入院は151件であった。

**<平成29年度目標>**

当科入院症例は救急および紹介症例が多数を占めるため、引き続き病診連携に努め神経救急患者の受けいれに努めていく。



## 5. 精神科

**【部長】 後藤 大介(精神科部長)**

日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、日本生物学的精神医学会、  
日本老年精神医学会、日本認知症学会、日本精神科診断学会 日本社会精神医学会  
専 門 精神科一般

**【副部長】 藤森 春生(精神科部副部長)**

日本精神神経学会、精神保健指定医、日本総合病院精神医学会、日本医師会認定産業医  
専 門 精神科一般

**【医師】 浅野 聡子**

日本精神神経学会専門医、日本臨床神経生理学会、東北精神神経学会、  
福島県精神医学会精神保健指定医

**<平成28年度実績>**

当院精神科は、精神病床を40床有し、精神神経学会精神科専門医制度における認定研修施設である。総合病院精神科である当科の役割は、精神科一般外来、院内身体科とのコンサルテーション・リエゾン精神医療、救急搬送患者の精神症状への対応、精神疾患患者の身体合併症治療の拠点として重要なものがある。さらに当科においては、麻酔科の協力の下に修正電気けいれん療法(mECT)を実施しているが、これも総合病院精神科の役割として重要である。

平成28年度の実績としては、外来患者延数13,758人(1日平均56.4人)、新患者延数541人(1日平均2.2人)、入院患者延数7,270人(1日平均19.9人)、平均在院日数48.8日、紹介率54.4%、逆紹介率115%、mECT件数191件となっている。

### <平成29年度目標>

当科は、県北地域の総合病院精神科として、身体科治療との連携や、修正電気けいれん療法(mECT)の施行など、重要な役割を担っている。また、認知症疾患医療センターの主担当科の1つとして、同センターの運営にも参画し、県北および相双地域の認知症診療における当院の拠点化を進めている。

進展する超高齢社会にあつて、精神科日常診療に占める認知症や高齢発症のうつ病の割合は今後とも増加することが予想され、地域の医療や介護領域との円滑な連携も望まれている。従つて、今後とも、認知症疾患医療センターを1つの軸に据え、院内他科連携および地域内における医療介護連携の構築に向けた取り組みが重要となる。

また、総合病院精神科には多くの役割が求められることから、円滑な診療業務の遂行に向けた効率化・最適化に今後とも注力していく必要がある。具体的には外来診療における予約制の導入、逆紹介の推進、院内せん妄対策の推進などがあげられ、今後に向け調整を図っていきたい。

## 6. 小児科

### 【部長】 三友 正紀(小児科部長)

日本小児科学会認定専門医

専門 小児科一般、感染症、循環器疾患

### 【医師】 弓削田英知(非常勤嘱託医師)

日本小児科学会認定専門医、日本腎臓学会認定専門医

専門 小児科一般、感染症、腎泌尿器疾患

### <平成28年度実績>

外来患者数 4,359人(1日平均18.0人)

入院患者数 526人

外来、入院ともに感染症が多くを占めるが、小児の各領域の疾患に関して診療を行っている。また、外来では、一般外来の他、腎臓、神経、心臓疾患の特殊外来や、乳幼児健診、予防接種などを行っている。

### <平成29年度目標>

他の医療機関との連携を図りながら、救急医療、二次医療の充実を図るとともに、予防接種や学校健診要精検者の二次健診の拡充にも努める。

## 7. 外科

### 【名誉院長】 芳賀 甚市

日本外科学会認定指導医、日本消化器外科学会認定指導医

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医

専門 消化器外科、乳腺外科

### 【副院長】 今野 修(副院長 兼 医療安全推進室長)

日本外科学会認定専門医・認定医・指導医

日本消化器外科学会認定専門医・指導医・認定医  
 日本消化器外科学会認定消化器がん外科治療認定医  
 日本体育協会公認スポーツドクター  
 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医  
専 門 消化器外科、胸部外科(食道)

**【部 長】 遠藤 豪一(第1外科部長)**

日本外科学会認定認定医・専門医・指導医  
 日本消化器外科学会認定認定医・専門医・指導医  
 日本消化器外科学会認定消化器がん治療認定医  
 日本がん治療認定医機構認定医  
 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医  
 日本DMAT隊員  
専 門 消化器外科

**郡司 崇志(第2外科部長)**

日本外科学会専門医  
 日本消化器外科学会  
 日本臨床外科学会  
 日本東洋医学会  
専 門 消化器外科

**<平成28年度実績>**

手術症例(一般外科手術症例)(平成27年1月1日~12月31日)

1) 甲状腺	
悪性腫瘍	3例
2) 乳腺	
悪性腫瘍手術	12例(乳房温存手術8例)
3) 胃	
胃悪性腫瘍手術	35例(胃全摘術14例)
潰瘍穿孔手術	3例
4) 小腸	
部分切除	2例
5) 大腸(結腸)	
結腸悪性腫瘍手術	44例(腹腔鏡下手術5例)
その他	2例
6) 直腸	
直腸悪性腫瘍手術	20例(直腸切断術3例)(腹腔鏡下手術2例)
その他	3例
7) 急性虫垂炎	
虫垂切除術	28例
8) 肛門	
その他	7例
9) 消化管(その他)	
腹膜炎手術	9例
腸閉塞症手術	15例
10) 肝臓	
部分切除術	2例

11)胆嚢	
胆石症	50例(腹腔鏡下手術33例)
胆嚢炎	16例(腹腔鏡下手術3例)
悪性腫瘍	1例
その他	13例
12)ヘルニア	
鼠径ヘルニア	76例
腹壁癒痕ヘルニア	7例(腹腔鏡下手術1例)
大腿ヘルニア	4例
閉鎖孔ヘルニア	2例
13)血管系	
CVポート埋め込み手術	30例

#### <平成29年度目標>

基本的治療方針として、個々の患者様の状態に応じた適切な手術を目標にしている。

患者様の体への負担が少ない腹腔鏡下大腸切除手術を平成26年12月より導入した。現在は比較的早期の大腸(結腸、直腸)がんを対象に手術施行しており平成28年12月までに15例の患者様において腹腔鏡下大腸切除術を施行した。今後胃がんに対しても腹腔鏡下胃切除手術導入する予定である。

患者様の体への負担の少ない手術術式の導入により入院期間の短縮化、早期退院、早期社会復帰可能となるように今後も努力していく所存である。

## 8. 血管外科・心臓外科

### 【部長】 安藤 精一(血管外科部長)

日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医、日本循環器学会専門医、  
日本脈管学会専門医

専 門 血管病(動脈系・静脈系)、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、高血圧、心不全、不整脈

### 【副部長】 籠島 彰人(心臓外科部副部長)

日本心臓血管外科学会専門医、日本脈管学会専門医、  
日本外科学会専門医、腹部ステントグラフト実施医、日本血管外科学会、  
日本胸部外科学会、日本循環器学会、日本心臓血管外科学会、  
日本冠動脈外科学会

専 門 成人心臓、血管

#### <平成28年度実績>

開心術12例

大動脈手術(人工血管置換+ステントグラフト)8例

末梢動脈手術(バイパス+血管内治療)53肢

下肢静脈瘤手術14肢

下大静脈フィルター3例

ペースメーカー手術11例

### <平成29年度目標>

当院の血管外科は日本脈管学会認定研修関連施設である。近年の血管内治療の進歩による循環器内科医、放射線科医、美容外科医の末梢血管治療への参戦により、最近は大動脈、抹梢動脈、静脈関連手術数が減少傾向にありましたが、昨年度抹梢動脈疾患に関しては以前のレベルまで回復しました。今後も血管内治療+血管外科医ゆえのバイパス手技を駆使した高難度の重症虚血疾患に対し、満足のいく効果をあげられるよう対処していきたいと考えています。また、心臓外科における手術は安全確保が第一であり、安全確実に有効な手術を提供できるよう努力していく所存です。

## 9. 呼吸器外科

### 【部長】 管野 隆三(呼吸器外科部長)

日本外科学会認定専門医・指導医  
日本胸部外科学会認定指導医  
日本呼吸器外科学会認定指導医  
呼吸器外科専門医合同委員会認定呼吸器外科専門医  
日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医・指導医  
日本消化器外科学会認定医  
日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医  
福島県立医科大学臨床教授・客員講師  
インфекションコントロールドクター  
専 門 呼吸器外科

### 【医師】 渡邊 譲

日本外科学会認定専門医、日本呼吸器外科学会認定専門医、日本胸部外科学会、  
日本肺癌学会、日本緩和医療学会、日本癌治療学会  
専 門 呼吸外科

### <平成28年度実績>

呼吸器外科手術総数133件(胸腔鏡下手術96件、局所麻酔手術、気管切開は除く)

内訳：肺良性腫瘍手術10件、原発性肺悪性腫瘍手術44件、転移性肺腫瘍手術3件、縦隔腫瘍手術2件、膿胸に対する手術5件、嚢胞性肺疾患手術1件、特発性自然気胸手術39件、続発性気胸手術16件、胸膜生検、縦隔リンパ節生検4件、胸壁腫瘍2件、その他7件

気管支鏡、胸腔鏡検査：46件

### <平成29年度目標>

呼吸器外科手術総数150件を目標とする。特に原発性肺悪性腫瘍手術件数を増やすこと。

引き続き、その他の良性呼吸器外科疾患、手術不能の肺癌に対する緩和療法を含めた治療症例の増加に努めること。

## 10. 整形外科

**【部長】 村上 和也(整形外科部長 兼 リハビリテーション科部長)**

日本整形外科学会認定専門医、日本整形外科学会スポーツ認定医、  
日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医、  
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会評議員、東北膝関節研究会幹事  
専門 足の外科、膝関節外科

**【副部長】 佐藤 法義(整形外科副部長)**

日本整形外科学会、日本股関節外科学会など  
専門 股関節外科

**小山 光久(整形外科副部長)**

日本整形外科学会、東北整形外科災害外科学会など  
専門 整形外科一般

**<平成28年度実績>**

平成28年度の整形外科の一日平均外来患者数は、71.4人、年間新患者数は2,062人であった。整形関連の年間救急患者数は597人であった。年間手術件数は658例でほぼ例年通りであった。手術の内訳は骨折を中心とした外傷関連が439例と手術全体の67%を占めており、救急患者を積極的に受け入れている当院の特徴と思われた。慢性疾患では人工膝関節置換術と人工股関節置換術が81例と外傷症例とのバランスが比較的とれていると考えている。常勤3名、福島医大からの週1回の診療応援、隔週火曜日の手術応援を得て、この規模の人員のなかでは、結構な実績と考えている。

**<平成29年度目標>**

今年度も、佐藤法義医師と小山光久医師がそのまま常勤となり、昨年度と同様に救急患者の受け入れ、対応が可能なスタッフとなっている。慢性疾患は人工関節の手術を中心に手術件数を維持し、骨折を中心とした外傷手術にもスタッフ全員で対処していこうと考えている。

## 11. 脳神経外科

**【院長】 渡部 洋一(院長)**

日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医・代議員・評議員、  
日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本救急医学会認定専門医、  
社会医学系専門医、福島県立医科大学脳神経外科臨床教授、  
統括日本DMAT隊員、福島県災害医療コーディネーター、  
日赤災害医療コーディネーター、日赤緊急被ばく医療アドバイザー  
専門 脳血管障害、救急医療

**【部長】 鈴木 恭一(第1脳神経外科部長)**

日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医・評議員、  
日本脳卒中の外科学会代議員、日本脳卒中の外科学会技術指導医、  
日本リハビリテーション学会認定臨床医、日本脳神経外科光線力学学会幹事  
専門 脳血管障害

## 市川 剛(第2脳神経外科部長)

日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医、  
日本脳神経血管内治療学会認定専門医、  
日本神経内視鏡学会技術認定医、日本DMAT隊員  
専門 脳血管内治療、脳神経外科一般

## 【医師】 山田 昌幸

日本脳神経外科学会認定専門医、日本頭蓋底外科学会、日本脳腫瘍の外科学会、  
日本脳腫瘍学会

## <平成28年度実績>

### I. 診療

昨年度1年間での入院患者総数は695名であり、その内訳は、脳血管障害が366例(脳梗塞：204例、脳出血：95例、クモ膜下出血：39例、未破裂脳動脈瘤：19例、脳動静脈奇形・脳動静脈瘻：6例、もやもや病3例)、脳腫瘍が20例、頭部外傷が141名、てんかんが28名、水頭症・奇形が6例、機能的疾患が5名、感染症が9名、その他が120名であった。

手術件数は217件であった。そのうち開頭手術は76例で、脳動脈瘤クリッピング術：19例、脳内血腫除去術：10例、脳腫瘍摘出術：12例、脳動脈吻合術：8例、AVM摘出術：6例、急性硬膜下血腫除去術：5例、急性硬膜外血腫除去術：2例、神経血管減圧術：6例、その他：8例であった。血管内手術は72例であり、動脈瘤内コイル塞栓術：28例、頸部頸動脈ステント留置術：13例、血栓回収術：20例、血管形成術：4例、塞栓術：6例、その他：1例であった。それ以外の手術は69件で、慢性硬膜下血腫：34例、水頭症手術：35例であった。

### II. 教育

リハビリテーションカンファランス：脳卒中急性期リハビリテーションによる更なる機能改善を目指して、医師・リハビリテーションスタッフ・病棟看護師による入院患者さんの検討会を2回/月の頻度で開催した。

神経内科・脳神経外科合同カンファランス：脳卒中治療の進歩に迅速に対応するための勉強会を第2,4月曜の夕方に開催した。研修医も参加し、当院における脳卒中治療水準の底上げを目指している。

このほかに、回復期リハビリテーション施設との症例検討会を非定期的ではあるが開催して、県北地域の脳卒中治療成績の向上を目指している。

### III. 社会貢献

当院は、日本脳卒中協会福島支部の事務局であり、渡部洋一院長が副支部長を務めていることから、福島県民への啓発活動を積極的に行っている。恒例の福島県脳卒中市民公開講座を、平成27年度も開催した。

脳卒中の治療は近年めざましい進歩を遂げている。内科的には直接経口抗凝固薬が心原性脳塞栓症予防に臨床使用されてから6年が経過しその有用性が確立されつつある。これらの知見を福島県内外の医師に啓蒙するために、渡部院長が主体となり各地で講演を行った。外科的には血管内治療が進歩しており、市川医師が福島医大など県北地域の医療機関に赴いて治療ならびに指導を行っている。

### IV. 研究

従来から行ってきた、蛍光脳血管撮影、術中運動誘発電位モニタリング、脳動脈瘤手術、脳梗塞の薬物治療の研究を進め、論文として発表した。

1. 鈴木恭一, 市川剛, 渡部洋一：術中蛍光脳血管撮影. プライム脳神経外科 脳動脈瘤(編)木内博之. 三輪書店. 2016, 29-34
2. 伊藤裕平, 市川剛, 鈴木恭一, 渡部洋一：Drip, Ship, and Retrieveシステムにより良好な転帰を得た重症脳梗塞の1例, 福島医学雑誌66：198-203. 2016

## <平成29年度目標>

### I. 診療

血管内治療：市川部長を中心に、進歩する血管内手術手技を積極的に取り入れ、更なる治療成績の向上を目指す。福島県内の血管内治療学会認定専門医が少ないなかで、県北地域の中心的医療機関としての役割を果たしてゆきたい。患者さんにとって低侵襲の手術を進める観点から、内視鏡手術の更なるレベル向上につとめたい。

当院で初期臨床研修を終了した伊藤裕平医師が脳神経外科専攻医として当院に残ってくれた。伊藤医師は10月に福島医大脳神経外科学講座に移動したが、交代で山田昌幸先生が当院に赴任した。前年に脳神経外科専門医となり手術技能に秀でた山田医師の加入で診療が大いに充実した。今後も中堅医師の派遣が続く予定であり、脳外科医師4人体制で更に診療のレベル向上を目指したい。

29年8月1日から「脳神経・脳卒中センター」を2階外来棟に開設し、脳卒中はもちろんのこと脳神経疾患全般を脳神経外科医4名、神経内科医2名が協力し、神経疾患に対する質の高い診療を行っていく予定である。特に当院は、脳卒中に対する県北地域の基幹施設である。2名の神経内科専門医のほか多職種のスタッフと協力しながら、脳卒中センターの実績を積み重ねてゆきたい。

### II. 教育

臨床研修指定病院としての役割も担う当院は、初期臨床研修医の教育にも重点を置いてゆく。神経内科との合同カンファランスなどこれまで行ってきたものを継続するのに加えて、脳神経外科治療を院内の多職種で共有出来るような教育の場を増やしてゆきたい。職員の学会発表・論文作成を支援することにより、病院全体の医療レベルの向上に努めてゆきたい。

### III. 社会貢献

今年度以降も、日本脳卒中協会福島支部の事務局として、脳卒中の予防、早期治療の重要性などに関する啓発活動を中心として社会貢献に務めてゆきたい。

## 12. 皮膚科

**【部長】 元木 良和(皮膚科部長)**  
日本皮膚科学会認定専門医  
専門 皮膚科一般

### <平成28年度実績>

統計のページをご参照ください。

### <平成29年度目標>

無事故

取り組みたい疾患でも、患者さんが来ないとはいじまりません。たとえば、日本にない風土病「リーシュマニア症」の専門外来を当院で開いても患者さんが来ません。先行投資が困難な現状では、直面する患者さんを現有の資源で診ることになります。

当院皮膚科の患者さんは基礎疾患のある高齢者が多く、帯状疱疹、類天疱瘡、薬疹、褥瘡が比較的多いです。これらはさほど致命的ではないのですが、予期せぬ不幸な結果を招かないよう、

- ・自分の心身の安定を保つ
- ・基本手技・必要な投薬を確実に行う
- ・疾患や治療薬の新しい情報を得る
- ・自分の限界を心得て、躊躇なくスペシャリストに助けを求める、  
ように努め、無事故を、と考えています。

## 13. 形成外科

### 【医 師】 浅井 笑子(非常勤医師)

日本形成外科学会専門医、皮膚腫瘍外科分野指導医、日本創傷外科学会専門医、  
日本顔面神経学会、日本口蓋裂学会、日本マイクロサージャリー学会、  
小児形成外科分野指導医、博士号  
専 門 形成外科全般(唇顎口蓋裂等先天異常、再建外科を含む)

#### <平成28年度実績>

平成28年4月～平成29年3月までの手術件数：112件(全て通院、局所麻酔)

#### <平成29年度目標>

週1回の外来時は紹介患者の予約や手術予約がかなり先になることが多く、急を要する案件は他院で手術を行っていたが、10月から常勤となり、紹介患者の外来予約もスムーズに入るようになり、手術も火曜日から金曜日に拡大していただいたことで最大週12件まで手術を施行できるようになって、お待たせすることが少なくなった。さらに入院や全身麻酔も対応できるようになったため、今後はさらに手術のVariationを増やし、院内他科再建例なども対応していきたい。

## 14. 泌尿器科

### 【医 師】 丹治 進(非常勤医師)

日本泌尿器科学会認定専門医、日本泌尿器科学会認定指導医  
日本性機能学会認定専門医  
日本がん治療学会認定医機構がん治療認定医  
医療法人恵仁会 泌尿器科・皮膚科・内科・北町丹治医院 院長  
岩手医科大学医学部泌尿器科学講座客員教授  
専 門 泌尿器科一般

#### <平成28年度実績>

週1回1日の外来診察を実施した。

#### <平成29年度目標>

週1回1日(水曜日、第3水曜日を除く)、午前の外来診療を継続する。  
限られた時間ではあるが、今まで通り、お役に立てればと思う。

## 15. 産婦人科

### 【部 長】 矢澤 浩之(第1産婦人科部長)

日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医  
日本生殖医学会生殖医療専門医  
専 門 内視鏡手術(腹腔鏡下手術)、婦人科腫瘍学、不妊症

伊藤 史浩(第2産婦人科部長)

日本産科婦人科学会専門医

専門 周産期

【医師】 佐々木真智子

日本産科婦人科学会

#### <平成28年度活動実績>

子宮筋腫や卵巣腫瘍など婦人科良性疾患に対しては患者様の負担軽減のため可能な限り低侵襲性手術(内視鏡下手術)を選択してきた。学会や研修会に積極的に参加し内視鏡下手術のスキルアップに努めその適応拡大を行ってきた。

悪性疾患では、診断、治療(手術、化学療法)、術後のフォローアップから終末期管理や在宅医療への移行まで一貫した管理を行ってきた。

不妊症治療では、妊娠に関する気軽な相談、タイミング法、腹腔鏡下による検査、治療から顕微授精を含むART(Assisted Reproductive Technology)治療までを一貫して行ってきた。

産科診療では、外来妊婦健診において助産師外来の割合を増やすことにより、妊婦さんの診療待ち時間の短縮、充実した妊婦生活指導などに努めてきた。また、最近妊婦さんの高齢化が進んでおり、内科疾患、精神科疾患を有する妊婦が増加する傾向にあるが、これらの患者さんに対しては積極的に内科医、精神科医へ相談を行い共同管理を行ってきた。

その他、骨盤性器脱の管理や性感染症の診断治療など全ての産婦人科疾患に対応できる体制で診療を行ってきた。

#### <平成28年活動実績>

総手術件数：371件

悪性腫瘍・境界悪性腫瘍に対する根治手術：29件

腹腔鏡下手術：204件(卵巣腫瘍：116件、子宮全摘：56件、筋腫核出：16件、  
異所性妊娠：7件、など)

子宮鏡下手術：17件

開腹子宮全摘術：28件

開腹子宮筋腫核出術：19件

開腹卵巣腫瘍手術：1件

円錐切除術：40件

子宮脱手術：1件

帝王切開：35件 など

分娩件数：250件[うち帝王切開：35件(14%)]

#### <平成29年度の目標>

1. 学会や研修会に積極的に参加し、最新の診断、治療法の習得や手技の向上に努める。
2. 婦人科良性腫瘍の手術件数の増加、特に内視鏡下手術の適応拡大に努める。
3. 婦人科悪性腫瘍患者管理をさらに充実させる。
4. 妊婦管理(健診)の充実、分娩件数の増加に努める。
5. 初期研修医、後期研修医がさらに充実した研修を行えるように努める。

## 16. 眼科

【医 師】 加宅田匡子(非常勤嘱託医師)

日本眼科学会専門医

日本緑内障学会

日本白内障屈折矯正手術学会

専 門 眼科一般

[視能訓練士] 秋山 妙子、湯野川樹理、渡邊 恵、大藤 美弥

<平成28年度実績>

統計ページを参照。

<平成29年度目標>

眼科検診、診療に努める。

## 17. 耳鼻咽喉科

【部 長】 大河内幸男

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本気管食道科学会専門医、

日本聴覚医学会、日本耳科学会、日本鼻科学会、耳鼻咽喉科臨床学会

専 門 鼻・副鼻腔疾患、扁桃疾患

【医 師】 垣野内 景

日本耳鼻咽喉科学会

<平成28年度実績>

平成28年度の入院患者数は247名で、その内訳は手術目的の予定入院88名、救急入院は159名であった。前年度より100名以上増加しており、とりわけ救急入院患者数が倍増している。

外来患者延数は7,113名で、1,100名の増加がみられた。

<平成29年度目標>

1. 国内および国際学会で積極的に発表を行う。
2. 手術研修や講習会に積極的に参加する。
3. 各専門外来を充実させ、より専門的な治療を提供する。
4. 耳鼻咽喉科に関わるコ・メディカルと連携し、チーム医療を充実させる。

## 18. 放射線科

【部長】 菊田 学(放射線科部長)

日本医学放射線学会専門医

専門 画像診断(特にCT・MRI)

【技師長】 今野英麻呂(放射線科部技師長 兼 第1放射線技術課長)

【課長】 佐藤 勝行(第2放射線技術課長)

【係長】 菅野 徹(特殊撮影係長)

相澤 浩樹(画像情報係長)

阿部 直人(一般撮影係長)

[診療放射線技師] 海藤 隆紀、国島やよい、羽貝 寿子、五十公野純子、

伊藤 美穂、三次 鏡太、明田 充弘、佐藤 竜馬、高橋 嗣郎

[臨時放射線助手] 八巻 弘美

### <平成28年度活動実績>

#### 1. 検査件数

	H27年度	H28年度
一般撮影	28,681	28,725
透視撮影	1,168	1,098
骨密度検査	563	553
CT検査	11,585	12,435
MRI検査	6,059	5,891
乳房撮影	1,839	1,806
ホールボディ検査	653	540
ポータブル撮影	4,477	4,356
PACS取り込み・複写	4,330	4,532

2. PACS、RIS導入後の安定した稼働

3. 脳外単科二次輪番日の宿直制の継続

4. 紹介患者、画像データのPACSへの取り込みの即時対応

5. 遅番体制による貢献

6. 各モダリティーにおける勉強会の開催

### <平成29年度目標>

1. 患者さんに優しい安全な放射線検査の実施

2. 健診部門の充実を図る。

3. 共同利用の積極的な対応

4. 新病院に相応しい放射線機器の選定

5. 新病院でのPACS、RISの構想

6. 放射線機器の管理を充実する。

7. 勉強会の開催

### <学会・研修会参加>

1. 第63回日本赤十字社放射線技師会学術総会  
平成28年6月3日(金)～4日(土) 東京国際フォーラム 今野英麻呂、高橋 嗣郎
2. 第14回 東北MR技術研究会  
平成28年7月9日(土) いわて県民情報交流センター 阿部 直人、海藤 隆紀
3. 第8回 東北頸動脈研究会  
平成28年7月23日(土) 仙台市青葉区 江陽グランドホテル 国島やよい
4. 第3回Advance Breast Conference  
平成28年8月20日(土) 仙台トラストタワー5F 羽貝 寿子、伊藤 美穂
5. 平成28年度日本赤十字社東北ブロック研修会  
平成28年9月24日(土) 石巻赤十字病院  
佐藤 勝行、阿部 直人、海藤 隆紀、国島やよい、伊藤 美穂、佐藤 竜馬、高橋 嗣郎
6. 仙台MRIセミナー「条件付きMRI対応 心臓植え込み型デバイス管理」  
平成28年10月22日(土) TKP仙台カンファレンスセンター 三次 鏡太
7. 第16回東北ブロック赤十字病院リスクマネージャー養成ワークショップ  
平成28年11月24(木)・25(金) ザ・セレクトン福島 阿部 直人
8. 平成28年度 日本赤十字社 原子力災害対応基礎研修会  
平成28年11月26日(土) 大阪赤十字会館 会議室 海藤 隆紀
9. 平成28年度 日本赤十字社 原子力災害第2ブロック基礎研修会  
平成29年2月22日(水) 日本赤十字社東京都支部 海藤 隆紀
10. 第5回福島救急カンファレンス  
平成29年3月4日(土) ビッグパレット福島 明田 充弘、高橋 嗣郎

### <学会・研修会発表>

- ・第32回 日本脳神経血管内治療学会  
「当院における脳虚血用MRI検査統一プロトコールの作成」  
平成28年11月24日(木)～26日(土) 神戸国際展示場 国島やよい
- ・平成28年度福島県放射線技師会学術大会  
「手指MRI検査の補助具およびポジショニング」  
平成28年11月6日(日) 星総合病院ポラリス看護学院 メグレズホール 佐藤 竜馬



## 19. 麻酔科

### 【部長】 安達 守(第1麻酔科部長)

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本麻酔科学会認定専門医  
専 門 星状神経節ブロック

### 出羽 明子(第2麻酔科部長)

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本緩和医療学会、日本ペインクリニック学会、  
日本麻酔科学会認定専門医  
専 門 緩和ケア、帯状疱疹後神経痛

### <平成28年度実績>

麻酔件数	1,676件
ペインクリニック	51件
緩和ケア	35件

薬物中毒 5件  
 初期研修医 10名  
 救急救命士挿管実習 1名

<平成29年度目標>

安全な手術麻酔と緩和ケアの充実

## 20. リハビリテーション科

【医師】 村上 和也(整形外科部長 兼 リハビリテーション科部長)

【係長】 大室 祐司(第1リハビリテーション科係長、理学療法士)

藤橋 伸弘(第2リハビリテーション科係長、理学療法士)

[理学療法士] 近澤久美子、相田 悦子、鈴木かおり、  
 三浦 友輔、渡邊みなみ、瀧澤 慎也、  
 大室 康騎、菅野 裕司

[作業療法士] 高橋 美和、川瀬ゆかり、小林 楓、大谷 彩

[言語聴覚士] 後藤真紀子、齋藤 隆徳、佐藤 藍里

[事務員] 鈴木真紀子

<平成28年度実績>

部 門	入 院	外 来
理学療法総単位数	32,128	1,025
作業療法総単位数	10,553	671
言語聴覚療法総単位数	10,242	14

<平成29年度目標>

1. 方針

- (1)患者満足度と職務満足度の向上
- (2)質の高いリハビリテーションの提供
- (3)病院収益への貢献
- (4)人材育成

2. 具体的目標

- (1)リハ処方された全ての患者様へ、適切なリハビリテーションを提供する
- (2)ハード面、ソフト面の充実
- (3)地域連携パスの適切で効果的な運用
- (4)診療報酬改訂に対応し、規定範囲内で最大限の算定を行う
- (5)業務改善の提案
- (6)他部門との連携強化
- (7)各種リハ文書の統一化
- (8)臨床実習の受け入れを行う



## 21. 薬剤部

### 【部長】 我妻 禎(薬剤部長 兼 調剤課長)

日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師  
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、上級放射線ファーマシスト  
日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト

### 【課長】 緑上 淳一(薬品管理課長 兼 薬品管理係長)

#### 渡部 寿康(製剤課長)

がん薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師  
日本薬剤師研修センター認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師  
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、日本DMAT隊員、麻薬教育認定薬剤師  
ケアマネージャー、日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト  
初級放射線ファーマシスト

### 【係長】 山脇 聡(製剤係長)

#### 川村 早苗(調剤係長)

薬原性錐体外路症状評価尺度(DIEPSS)評価者講習修了  
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、吸入指導薬剤師

### 〔薬剤師〕 薄 大介

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師  
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本DMAT隊員

#### 佐藤 南

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師  
吸入指導薬剤師、初級放射線ファーマシスト

#### 二瓶 瑤子

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

#### 齋藤可奈子

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

#### 酒井 亮

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

#### 武藤 壮平

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

#### 大竹麻衣子

初級放射線ファーマシスト

#### 小野優紀恵

初級放射線ファーマシスト

#### 菊地 洋平

初級放射線ファーマシスト

#### 古賀 彩織

初級放射線ファーマシスト

#### 濱田 英里

初級放射線ファーマシスト

<平成28年度実績>

1. 薬剤管理指導件数 月平均：612.1件
2. 退院時薬剤情報管理指導数 月平均：276.1件
3. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数
  - I期(平成28年5月9日～7月22日) 1名
  - II期(平成28年9月5日～11月18日) 1名
  - III期(平成29年1月10日～3月27日) 1名
4. 化学療法ミキシング件数
  - 外来実施件数：847件
  - 入院実施件数：443件
5. 学会・研修会発表
  - 平成28年6月4日  
浜松市  
第10回日本緩和医療薬学会 渡部 寿康  
癌性疼痛患者のオピオイド誘発性便秘に対するルビプロストンの効果の検証  
平成28年9月17日～19日  
京都府 国立京都国際会館  
第26回日本医療薬学会 武藤 壮平  
薬薬連携で残薬削減への取り組んだ現状報告 ～第2報～  
平成28年9月25日  
郡山市 奥羽大学  
第21回福島県薬剤師学術大会 渡部 寿康  
「熊本地震」災害救護活動報告①  
平成28年9月25日  
郡山市 奥羽大学  
第21回福島県薬剤師学術大会 薄 大介  
「熊本地震」災害救護活動報告②  
平成28年10月29日～30日  
盛岡市 盛岡赤十字病院  
第19回東北ブロック赤十字病院薬剤師研修会 酒井 亮、小野優紀恵、古賀 彩織  
「持参薬対応を含めた調剤業務について」  
「抗癌剤の暴露防止対策について」  
平成28年11月5日  
大阪府 大阪赤十字病院  
第44回日赤臨床薬学研修会 武藤 壮平  
福島県北地区における薬薬連携 ～残薬削減への取り組み～
6. 学会・研修会参加
  - 日赤薬剤師会臨床薬学研修会
  - 日赤薬剤師会災害救護研修会
  - 日赤東北ブロック薬剤師研修会
  - 日赤薬剤師会総会及び講演会
  - 日赤医学会
  - 東北ブロック赤十字病院リスクマネージャー養成ワークショップ
  - 日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師講習会
  - 日本病院薬剤師会医薬品安全責任者講習会
  - 日本病院薬剤師会新人研修プログラム
  - 日本病院薬剤師会関東ブロック大会

日本病院薬剤師東北ブロック大会  
 日本医療薬学会年会  
 がん専門薬剤師集中教育講座  
 臨床腫瘍学会学術集会  
 臨床腫瘍薬学会学術集会  
 日本癌治療学会学術集会  
 中小病院薬剤師実践セミナー  
 薬学実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ  
 福島県病院薬剤師会新人・新任者研修会  
 福島県病院薬剤師会福島支部・福島薬剤師会合同研修会  
 福島県薬剤師学術大会  
 福島医療の質・安全フォーラム  
 福島NSTフォーラム  
 日本緩和医療薬学会

#### <平成29年度目標>

1. 薬剤管理指導件数  
月平均 700件
2. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数  
Ⅰ期：2名 Ⅱ期：2名 Ⅲ期：3名
3. 化学療法ミキシング件数  
外来実施件数：900件  
入院実施件数：500件
4. 学会・研修会発表：5件

## 22. 医療技術部

【部長】 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)

### 栄養課

【課長】 佐藤る美子(栄養課長、管理栄養士)

産業栄養指導者  
NST専任管理栄養士

【係長】 菊地 利恵(第一栄養係長、管理栄養士)

静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士  
NST専任管理栄養士

小河原貴之(第二栄養係長、管理栄養士)

福島県糖尿病療養指導士  
NST専任管理栄養士

服部みゆき(調理係長、調理師)

[管理栄養士] 野崎 華織

葛城 美貴

福島県体育協会認定スポーツ栄養士

- [栄養士] 野地満里絵、齋藤那緒美、蓬田 ゆみ、安田 萌美  
 [調理師] 釜田 雄一、中尾ひろみ、島倉 蘭  
 [業務員] 三浦美智子、佐藤 由枝、片平 純子、本多由美子、鈴木 晴子  
 高橋 征子、大泉 陸、八巻真理子、佐川 収、佐藤 栄寿、佐藤 弥  
 [事務員] 阿部 暁子、渡辺 淳子

<平成28年度実績>

・栄養管理業務

項目	区分	実績	備考	
栄養指導件数	外来指導	249件/年	算定件数	226件/年
	入院指導	1,024件/年	算定件数	943件/年
栄養管理計画書		2,667件/年	45%/年	
集団栄養相談教室	プレママ	23回/年		
個人対応		666件/年		

- (1)褥瘡ラウンドに同席し、低栄養患者の抽出を行いNST介入件数を増やした  
 (2)福島県NSTフォーラム演題発表：2件

・給食管理業務

項目	区分	実績	備考	
給食延数	一般食	138,255食/年	特別食割合	58.40%
	特別食加算	80,783食/年		
行事食回数		39回/年		

- (1)祝膳メニュー改定行い、8月から新メニューで提供  
 (2)8月に嗜好調査を実施し、献立内容改善に繋げた  
 (3)食事摂取基準2015に基づき、小児食の食事箋改定を行い3月から実施  
 (4)パン食設定の改定(29年4月から実施)  
 (5)管理栄養士、栄養士の実習生を、10月/2名、9月/5名、8月/4名受け入れた

<平成29年度目標>

1. 栄養指導算定数1,200件/年以上  
(外来指導件数UP)
2. 糖尿病透析予防指導実施
3. 嚥下食形態の見直し
4. 摂食機能療法チームを立ち上げ、経口摂取による栄養確保の促進を図る
5. 衛生管理を充実させ、安全で美味しい食事摂取基準に則した食事の提供に取り組む

臨床工学技術課

- 【課長】 橋本 健一(臨床工学技術課長・臨床工学技士・医療機器安全管理責任者・医療安全推進室員)  
 [臨床工学技士] 早坂美智子・中山 彩・佐藤 恵美

<平成28年度実績>

1. 臨床業務

- (1)アンギオカテーテル業務
- ・心臓414件(PCI 206件)
  - ・末梢血管EVT 29件
  - ・IVCフィルター 4件
  - ・肝臓 41件(TACE他)
  - ・血栓除去 15件
  - ・脳血管 116件(造影・コイル他)

- (2)心臓ペースメーカー業務
    - ・新規埋込み術・電池交換術 50件
    - ・植込み型ペースメーカー外来 1,136回
    - ・体外式ペースメーカー管理日数 52日
  - (3)心臓手術業務
    - ・12件
  - (4)血液浄化アフェレーシス療法業務
    - ・77回 (HD・CHDF・DHP・腹水濾過再静注)
  - (5)ラジオ波腫瘍焼却術(RFA)
    - ・11件
  - (6)術中自己血回収術(セルセーバー)
    - ・21件
  - (7)補助循環装置管理日数(IABP・PCPS)
    - ・5日
  - (8)内視鏡室業務
2. 医療機器管理業務
- (1)中央管理・点検業務
    - 輸注ポンプ・人工呼吸器・除細動器・全身麻酔器・閉鎖式保育器・血液透析装置
    - ・補助循環装置(IABP・PCPS)・ペースメーカー・パルスオキシメーター
    - ・生態情報モニター・低圧持続吸引器・電気メス など
  - (2)医療機器研修会開催
    - ・12回 (病棟単位での研修会含む)
3. 参加委員会 等
- ・医療安全推進室
  - ・医療安全推進委員会
  - ・医療ガス委員会
  - ・医療機器整備委員会
  - ・HCU運営委員会
  - ・手術室運営委員会
  - ・NESスタッフ
  - ・新型インフルエンザ委員会
  - ・省エネ委員会

#### <平成28年度目標に対する活動実績>

- ・学会・研究会での発表 5回

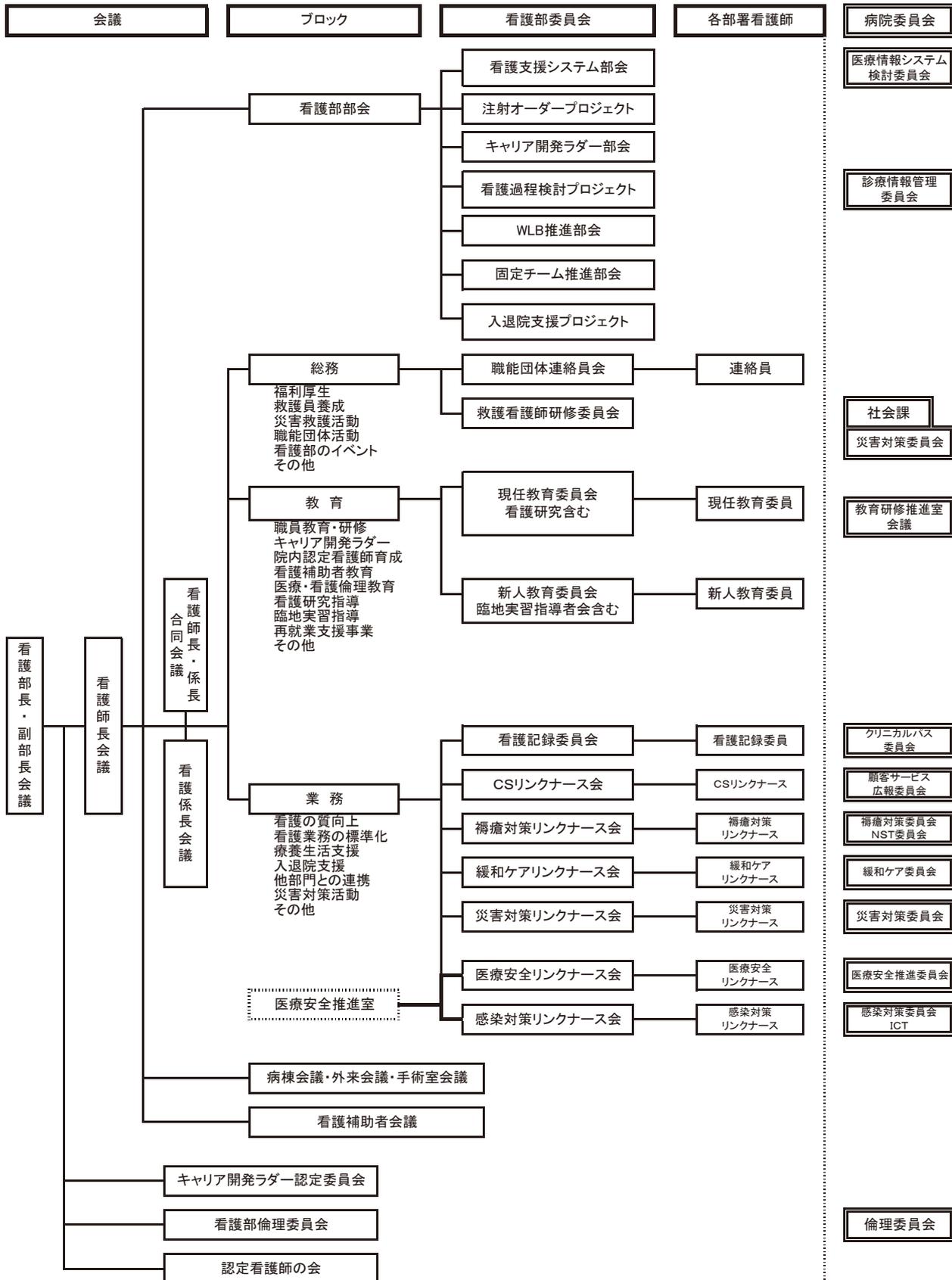
#### <平成29年度目標>

1. 管理機器における点検表の整備
2. 各臨床業務分野における知識・技術の向上

# 23. 看護部

(平成29年3月31日現在)

看護部長	會澤 英子		
看護副部長	渡邊 知子(業務担当) 高木 朝子(教育担当・外来師長兼務)		
所属別配置			
所属	看護師長	看護係長	
医療等安全推進室	阿部 美幸 (専任リスクマネージャー)	三浦 愛 (感染制御実践看護師)	
褥瘡管理者		佐藤 美絵 (皮膚・排泄ケア 認定看護師)	
新人教育担当	富田 仁子		
外来	高木 朝子 (看護副部長兼務)	白岩 芳子 森谷 浩子(がん化学療法看護認定看護師) 渡邊あゆみ(救急看護認定看護師) 武井 明美	
1号館2病棟 (外科・心外科・泌尿器科) 45床	菅野ひとみ	小林 洋子	
1号館3病棟 (整形外科・眼科・皮膚科) 49床	笹木恵美子	武田 里美	
1号館4病棟 (内科・消化器科) 49床	菅野いづみ	車田 真美	
2号館2病棟 (精神科) 40床	伊藤美津子	柳田 美穂	
2号館3病棟 (産婦人科) 28床	石田 久江	齋藤 幸恵	
3号館4病棟 (脳外科・神経内科・耳鼻科) 49床	安達 明美	小野ひとみ	成澤 裕美
本館3病棟 (外科・心外科・循環器科・麻酔科) 25床 (HCU) 6床	鈴木 佳子	吉田 和恵	泉 弘子
		奈良輪弘美	
本館4病棟 (内科・消化器科・ 小児科・循環器科) 52床	斎藤 明子	鈴木 牧子	
手術室	岩崎 陸子	國分 花子	
中央材料室		佐久間由美子	
医療社会事業部医療社会事業課	田畑 友子(課長)	高根 晴美	伊藤 和子
医療社会事業部社会課	野地 啓子(課長)		
医療社会事業部訪問看護ステーション		佐藤 利恵(所長)	
医療社会事業部居宅介護支援事業所		高野シク子(所長)	
看護部(事務)			
主事	菅野八重子		



平成28年度看護部委員会・リンクナース会 部署メンバー表

平成28年4月1日現在

領域	委員会・リンクナース会等	委員長	副委員長	アドバイザー	開催日	本3	本4	1-2F	1-3F	1-4F	2-2F	2-3F	3-4F	手術室	外来	メンバー
総務	職能団体連絡委員会	白岩係長 (支部長)	渡邊副部長		必要時 (青年部)	渡辺厚子	渡辺由美子	吉内絵美	遊佐洋子	相良久美子	北原久美子	石田優衣	吉田恭子	齋藤健一	渡辺久子	部署1名
			岩崎師長			船山亜弓	長瀬 海	赤坂怜奈	武田良平	江畑聖也			三瓶沙耶	渡辺義文	篠谷和紗	
教育	救護看護師研修委員会	野地課長	岩崎師長													
	現任教育委員会 (看護研究含む)	石田師長	國分係長・ 鈴木(牧)係長		第4金	渡辺梨沙	原田瑞穂	野田康代	渡辺ひろ	牧野江美子	佐藤良子	清野 薫	齋藤貴子	今野歩美	阿藤由美子	部署1名
	新人教育委員会 (臨地実習指導者会含む)	菅野(ひ)師長	武田係長・ 柳田係長	富田師長	第1木	薄 有紗	菅野八重子	菅野勇勝	金内杏美	伊藤久美子	佐藤裕子	大槻美歩 中村留美	神子美江	梅宮 誠	安藤敦子 佐藤要子	部署 1~2名
	看護記録委員会	笹木師長	小野係長・ 齋藤(幸)係長		第3火	秋葉裕子	佐藤香菜	菅野陽子	田畑栄子	渡辺和恵	菅野 忍	橋智寿子	星 翔子	志賀慶子	山田雅美	部署1名
	CSリンクナース会	伊藤師長	森谷係長・ 泉係長		奇数 第2金	渡辺君枝	鈴木宏美	齋藤保奈美	渡部あけみ	堀切智子	黒沢真由美	石井伽奈	穴戸結香	庄子大志	穴戸典子	部署1名
	褥瘡対策リンクナース会	菅野(い)師長	小林係長	佐藤係長	第4火	島菜津美	佐藤智子	北原奈緒美	伊藤美咲 12月~ 水口晶子	保住朋美	根本智子	馬場あかね	瀬戸雅子	齋藤未来	寺島真由子	部署1名
	緩和ケアリンクナース会	齋藤師長	車田係長・ 武井係長	高野CN	奇数 第2火	國分朋子	浅野慧子	眞山美里	橋本夏純	館内美波	渡辺陽子	菅野絵里	小野ひとみ		佐藤典子	部署1名
	災害対策リンクナース会	鈴木師長	渡邊(あ)係長		偶数 第2金	田島一樹	齋藤 駿	三次あやみ	菊地悠示郎	藤田恵実	菅野麻衣	佐藤あゆみ	渡辺義文	鈴木直人	萩原暁美	部署1名
	医療安全リンクナース会	安達師長	奈良輪係長・ 白岩係長	阿部師長	第1金	大槻里美	東条智恵	佐藤祐子	布施美奈子	清和彩子	佐藤裕子	野地静香	吉田恭子	根本聡美	森田直子	部署1名
	感染対策リンクナース会	岩崎師長	佐久間係長・ 吉田係長	三浦係長	第3金	鈴木安英	橋川由理絵	齋藤祐香	新藤宏美	齋藤文子 10月~ 八巻美沙	神尾泰子	高島恵子	佐野谷子	本田賀絵	木幡紀子	部署1名
看護部会	看護補助者会議	富田師長	菅野(い)師長		第2木	菅 久美	貝沼まゆみ	菅野絹子	今野由紀子	佐藤留美子	高橋恵子	橋 麻紀	小手森智子		渡辺千代子	部署1名
	WLB推進部会		渡邊副部長・車田係長・ 小林係長・今野CN		随時											
	看護支援システム部会	鈴木師長	成澤係長・國分係長		第1水											
	看護過程検討プロジェクト	笹木師長・鈴木師長・ 武田係長	鈴木師長・成澤係長・ 武田係長(牧)係長		第3木											
	注射オーダープロジェクト	鈴木師長	成澤係長・車田係長・ 奈良輪係長・森谷係長													
固定チーム推進部会		各師長														
キャリア開発ラダー部会		看護部長・看護副部長・教育師長														
入退院支援プロジェクト		看護部・地域連携室・訪看・居宅														

## ＜平成28年度 看護部目標＞

1. 患者・家族が安心して納得した入・退院支援を推進する
2. 交代制勤務ガイドラインに沿った労務管理を実施する
3. 看護要員の確保・定着を図る
4. 看護実践力向上のため、能力開発を推進する

## ＜平成28年度の看護部目標総括＞

1. 患者・家族が安心して納得した入・退院支援を推進する

地域医療連携課への退院支援依頼件数は、2071件と昨年より338件増加した。入院時に患者アセスメントシートを活用し、早期に介入した結果であると思われる。またカンファレンス回数も463回と49件増加している。自宅退院・転院・施設転院件数は昨年同様だった。今後も早期から多職種協働で患者・家族への支援体制の強化に努めていく。

2. 夜勤・交代制勤務ガイドラインに沿った労務管理を実践する

労務管理において、週休・有給休暇取、超過勤務時間数はその指標になると考える。今年度の看護職員の1人当たりの平均週休繰越日数は、2.7日だった。また1人当たりの平均有給取得日数は4.1日で、前年度に比較し+1.3日と増加した。しかし有給未取得者が71人(2.9%)だった。有給未取得者が減少するよう労務管理を行っていかなければならない。

二交代制導入は、8病棟中3病棟に留まった。その中の1病棟では、三交代制と二交代制のミックスで実施していて、職員が選択できるようにしている。二交代制導入に当たっては、看護職の人員確保、業務改善等の取り組みを進めていく必要があるため今後も検討していく。夜勤・交替制勤務の勤務編成では、基準で提案されている11項目を進めていきたい。

4. 看護要員の確保・定着を図る

新人看護師22名(目標値30名：確保率78.3%)、退職者14名(新人離職率0、全体5.1%)である。看護補助者は48名(3人増)になった。人材確保のためインターンシップ・看護体験・再就職支援研修などを実施してきた。インターンシップ(11名)後、3名が就職に結びついた。

今年度は、看護部病棟クラーク導入を検討し、プロジェクトチームが発足し検討した結果、3部署に3名を配置できた。今後全部署に病棟クラークを導入していき、看護職員と看護補助者の負担軽減を図り、安全な患者対応、看護サービスの向上が出来るようにしていきたい。

5. 看護実践力向上のため、能力開発を推進する

今年度の看護師実践者ラダー取得者(ラダーⅠ：22名、ラダーⅡ：4名、ラダーⅢ：1名、管理者ラダーⅠ：1名)を育成した。院内認定看護師では、褥瘡院内認定者は24名／合計93名となり、IVインストラクターは17名／合計97名になった。

院外研修では、学会発表者は4名、学会参加者15名。看護協会ジェネラリスト研修受講者159名だった。看護管理者研修では、看護管理者教育課程ファースト研修を5名・セカンドレベル研修を1名修了した。看護管理の視点でマネジメントできる人材として活用していきたい。

認定看護師育成では、皮膚・排泄ケアの領域で資格取得し、認定看護師は8名になった。

来年度は、認知症看護・脳卒中看護認定看護師研修を修了している。また手術看護・がん化学療法看護の認定看護師研修に合格し研修予定である。認定看護師が7領域に増えたが、看護実践力向上のために役割発揮を期待したい。

平成28年度部署目標結果と課題

部署	目標	結果	課題
1号館 2病棟	・安心・安全な医療看護を提供し、早期退院に向けて支援を行います。	ケースカンファレンス4回/月の実施率89%であったが、受持ち看護師として患者・家族への介入が不十分であり在院日数の短縮に繋がらなかった。 ヒヤリハット・アクシデント報告62件(転倒転落(28件)あり、報告直後カンファレンスにて情報共有し事故防止に努めた。	・入院時より家族を含めた退院支援を行い、他職種とのカンファレンスを実施、連携を密に安心して早期退院できるようサポートする。 ・必須院内研修参加率100%とする。
1号館 3病棟	・丁寧な対応と報告・連絡・相談・指差し・声だし確認を行い、安全で安心な医療を提供します。	毎朝のケースカンファレンス時、受持ち看護師からの提案を促進したが30%にとどまった。しかし看護計画評価率は80%と良かった。 転倒転落カンファレンスはリハビリと合同で行い実施率90%だった。ソーシャルワーカーとの退院支援カンファレンス2回/週、定期的に出来た。褥瘡ケアではATストックキングによる皮膚損傷の発生はなかった。	・内服自己管理移行時のヒヤリハットが多いので薬剤部とのカンファレンス等を実施しながら改善していく。受持ち看護師の成長のため朝のカンファレンスを活用していく。 ・感染対策を含む安全な医療の提供に努める。
1号館 4病棟	・入院時から、退院後の生活を視野に入れた患者・家族参画のチーム医療を推進します。	受持患者への挨拶やベッドネームへの記名など受持看護師としての意識を高め、ケースカンファレンスを発信し看護計画の評価・修正・実践を目指した。 安全・安心して過ごせる療養環境づくりでは、口腔ケア・化学療法・褥瘡ケア・看護補助者のチーム毎に勉強会の実施、ケアの統一や業務改善を行うことができた。	・チーム医療や退院支援の推進のためケースカンファレンスを多く実践できるように、スタッフへの声かけやサポートを行っていく。ケアの向上・充実のための取り組みを継続する。
2号館 2病棟	・患者様の倫理的配慮のもと、快適な入院生活が送れるよう治療・看護を提供します。	患者教育と退院支援の充実を図るための取り組みを行った。患者教育のSST(社会生活技能訓練)に関して、個別性を生かし昨年73回から103回と多く実施できた。また、患者層の高齢化に伴い、認知症予防体操の定着に努めることができた。 退院支援では、退院前訪問看護が昨年12件から52件、退院後訪問看護に関しては9月から開始し34件と活動の幅を広げた。その結果、再入院の予防に繋げることができた。	・社会復帰に向けた患者教育プログラムと退院支援(退院前訪問看護・退院後訪問看護・外来訪問看護)を継続する。 ・精神科看護、多様化する身体合併症看護の質の向上を目指す。
2号館 3病棟	・安全・安心なケアの提供を目指します。	安全な分娩・入院生活の質の向上のために部署内での研修会を実施した。また、多職種との連携も図り、患者さんが安心して入院生活が送れるようにした。 患者参画の看護の実践ができた。(ケモレビューや妊婦ストレスケアシートの活用、バースプラン、バースレビューの実施) 現在行っているクラスや使用しているパンフレットの内容の見直しをおこなった。 子育て支援と児童虐待の未然防止を目的に福島市より委託事業の産後ケアを開始した。	・見直したクラスの実施やパンフレットを使用しての再検討する。 ・安全・安心な分娩、看護の提供のための継続した研修会や事例検討会を実施する。 ・患者参画の看護実践を継続する。 ・産後ケア事業を継続する。

部署	目標	結果	課題
3号館 4病棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>「報告・連絡・相談」をしっかり行い、安全で安心な医療を提供します。</li> </ul>	<p>リハビリカンファレンス(症例検討会)を毎月1~2回実施し、言語の共通理解と情報共有ができた。</p> <p>摂食嚥下障害認定看護師と連携を図り部署内研修を実施し、口腔ケア手技の統一を図りケアの向上に努めた。</p> <p>その日の担当看護師の名前表示を行い、自覚と責任を持ってケアを行うことが出来た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内研修参加率を上げる。部署内研修を積極的に行い、知識とアセスメント能力を高め、質の高い看護を提供する。</li> <li>他職種とのカンファレンスを継続する。</li> <li>リスク感性の向上(ヒヤリカンファの実施)に努める。</li> </ul>
本館 3病棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期医療・重症集中期医療を要する患者に対し、安全な医療・看護を提供します。</li> </ul>	<p>急変時の対応能力の向上・重症集中ケアに対するアセスメント能力の向上・受持ち看護師としての能力向上に繋がるように、症例検討会やカンファレンスを定期的実施し充実させるように取り組んだ。</p> <p>また、VAP対策や疼痛管理について知識を深めることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>症例を通し、チーム医療を推進しながら、重症集中ケアや受持ち看護師としての能力向上に努める。</li> <li>VAP対策、疼痛・不穏・せん妄管理について継続し取り組んでいく。</li> </ul>
本館 4病棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種と連携した患者・家族参画の退院支援を行います。</li> </ul>	<p>朝のウォーキングカンファレンス方法を変えることで両チームともに安全確認が確実に出来るようになり、ケア開始を早めることができた。</p> <p>退院支援の勉強会を開催し、スタッフの意識を高め、退院支援カンファレンス用紙を見直しながら退院支援に取り組むことが出来た。試験的に二交代勤務に取り組んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者のケアの質向上を目指す。</li> <li>業務改善に取り組み時間外勤務を削減する。</li> <li>働き続けられる職場環境づくりを目指す。</li> <li>各スタッフの自己研鑽に努める。</li> </ul>
外来	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者、家族のニーズに即した医療・看護を提供します。</li> <li>看護の専門性を生かし、在宅療養を支援します。</li> <li>WLBの視点で働き続けられる職場環境を整えます。</li> </ul>	<p>救急搬送受け入れ業務を医事課と協働し改善することで、迅速に救急患者を受け入れる体制に改善された。</p> <p>各看護外来担当者が専門性の高い検査、薬品等の勉強会を実施することで外来看護の質向上を図った。</p> <p>外来診療、検査、治療に合わせた時差勤務体制の導入、看護師それぞれが複数科を担当できるよう各科のローテーションを実施、応援体制を推進した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来業務を他職種と協働し見直す。(新病院での外来業務移行に向けて準備)</li> <li>WLBの視点で働き続けられる職場環境をつくる。</li> <li>専門性を高め、外来看護の質向上のため勉強会、研修会を継続して実施していく(伝達研修の機会を増やし情報共有)</li> </ul>
手術室 ・ 中央 材料室	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性を高め、安全で質の高い手術を患者さまに提供する。</li> <li>安全な滅菌材料を提供します。</li> </ul>	<p>感染予防のため他職種と連携を図り術野清潔に努めた。また、倫理観を養うため事例検討を行った。専門性を高めるため学会・院外研修に参加している。</p> <p>中材はマニュアルの修正や呼吸器洗浄機を導入し運用を進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術期看護の充実を図る。</li> <li>専門性を高めるため研修や勉強会を行い、他職種と連携し安全な手術を提供する。</li> <li>呼吸器洗浄機の導入による病棟の呼吸器関連器機の洗浄を拡大する。</li> </ul>

平成28年度委員会活動結果と課題

委員会	結果	課題
現任教育委員会	アクションプランに沿って計画的に研修会の実施ができた。キャリア開発ラダーレベルⅠ取得は目標通りであったが、レベルⅡ・Ⅲの取得者数が少なかった。委員会内での小集団活動として看護研究マニュアルの改訂に取り組むことができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラダーレベル別の研修会を実施する。</li> <li>・キャリア開発ラダーレベルⅡ・Ⅲ取得への働きかけをする。</li> <li>・看護研究マニュアル改定版の完成させる。</li> <li>・看護研究の継続的取り組みをする。</li> </ul>
新人教育委員会	基礎看護技術研修実施方法を、集合研修から時間割(2～4クール/日)研修に変更した。新人1人あたり約11時間・講師、協力員においては合計32時間病棟から離れる時間が削減できた。新人からは、1対1で技術演習が学べて充実した研修であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割研修の見直しをする。</li> <li>・部署での職場内教育(OJT)の充実に向け、各委員会・院内認定看護師と連携を図り統一した指導ができるシステムを構築する。</li> </ul>
看護記録委員会	毎月の記録監査を継続、質的監査は今年度2回実施しその都度病棟にフィードバックした。重症度、医療・看護必要度のSOAP記録内容の監査も実施した。入院時看護計画の標準化について検討し、現在文書登録から活用できるようになった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も記録監査の継続、質的監査の実施と記録内容の検討、クリニカルパスの推進、入院時看護計画使用状況の確認とアセスメントを行う。</li> </ul>
CS委員会	「身だしなみチェック」「接遇マニュアルを周知・徹底する」「患者満足度調査」は計画通り実施出来た。委員会内の勉強会も師長、係長を中心に実施出来た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入院患者看護サービスアンケート」に関して病棟での回収率10～74%とバラツキがあるため、今後の課題として取り組んでいきたい。</li> </ul>
褥瘡対策リンクナース会	院内認定養成研修の運営、各部署内研修の実施とリンクナースとしての役割モデルを発揮できた。更に褥瘡対策委員会メンバーとの症例ラウンド&エアマット安全ラウンドを行い、院内での褥瘡予防・治療ケアに参画実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡ケア物品のエアマットを安全に使用できる管理体制づくりをする。(安全点検チェック表運用・安全ラウンド)</li> <li>・医療機器による圧迫創予防のための院内対応マニュアルを作成する。</li> </ul>
緩和ケアリンクナース会	リンクナースによる事例検討を3事例行い、緩和ケアの知識を深め臨床におけるジレンマや問題を共有した。新人対象の終末期看護研修を企画運営し予定通り実施出来た。緩和ケアチームラウンドへのリンクナース参加は2名のみとなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人以外のスタッフに対する終末～死亡時の看護やエンゼルケアの指導を検討する。</li> <li>・リンクナースが緩和ケアの知識を深め各部署で活動できるようにする。</li> </ul>
災害対策委員会	今年度の新しい試みとして災害パトロールを実施した。災害発生時に必要な「災害時チェックリスト」のスタッフへの周知につながった。救護バッグの整備や救護研修への協力を継続し、院内の災害に備える活動ができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの活動を継続して災害対策を実施する。</li> <li>・スタッフの災害対策に対する意識を維持させる。</li> </ul>
医療安全リンクナース会	アクションプランに沿って計画通り実施できた。薬剤に関するダブルチェックのDVDを作成し各部署で周知できた。転倒・転落事例の共有、安全保護対策観察記録用紙の監査を実施し、他部署の情報を共有できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤に関するダブルチェックを定着させる。</li> <li>・安全パトロール、内服・点滴チェックの効果的なフィードバック方法を検討する。</li> <li>・リスク感性を高めるためのKYTを発信させる。</li> <li>・薬剤に関するヒヤリハット報告を情報共有し対策を検討する。</li> </ul>
感染対策リンクナース会	手指衛生チェックリスト実施率の目標が達成できた。各部署の感染対策実施率92%と良い結果だった。おむつ交換の研修を実施した。真空管採血の教育後のチェックは手技実施率93%であったが、実施者が少なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真空管採血を10回以上使用したことがある看護師が45.7%と少なく、真空採血管の使用目的を理解し利用率を80%以上にする。</li> </ul>

平成28年度福島赤十字病院新人看護職員研修実績

月/日	研修名	ねらい	備考	協力員
入職時	職場に配属される前に病院の概要、赤十字の職員として必要な事項を学ぶためのオリエンテーション、研修を実施			
4/1 ～5	新規採用職員オリエンテーション	・赤十字と病院の概要について学ぶ		
4/6	院内感染対策の基本	・病院職員として感染対策の基本的知識と方法を学ぶ	新規採用職員研修	
4/6 ～11	看護部オリエンテーション 看護部概要・看護方式・接遇・看護倫理・新人教育体制・目標管理	・職場に配属される前に看護部の概要と赤十字の看護職として必要な事項を学ぶ		
5～6月	安全管理、感染管理、	基本的な看護技術の知識・技術を習得するための研修を実施		
5/9	排泄ケア～おむつの正しい当て方～	・排泄ケアの基本的知識を習得し、正しいおむつ交換を実施できる		CN 1名 褥瘡リンクナース2名
5/12	WLBとキャリアパス勤務体制	・新人看護職員が仕事をし続けるために、WLB・キャリアパスという視点を持つことができる ・当院の勤務体制について知り、夜間緊急時の対応について理解する		WLB推進部会4名 新人教育委員1名
5/19	静脈血採血と検体の取り扱い 血糖測定とインスリン注射	・静脈血採血の基本的知識と技術を習得し、正しい検査結果を出すための注意点と検体の取り扱いを学ぶ ・血糖測定とインスリン注射を安全に実施するための基本的知識と技術を習得する		IVインストラクターかつ 新人教育委員4名
5/27	点滴静脈注射と筋肉注射	・筋肉注射・静脈注射を安全に実施するための基本的知識と技術を習得する	左記の基礎看護技術研修において今年度は別途記載の方法に変更	同上4名
6/1	食事援助と口腔ケア	・食事形態と栄養補給の方法について学ぶ ・摂食嚥下障害者への食事介助の基本的知識と技術を習得する		CN 2名 新人教育委員2名
6/14	吸引・酸素療法と呼吸のフィジカルアセスメント	・呼吸管理の基本的知識と技術を習得する ・呼吸のフィジカルアセスメントを学び実践に活用できる知識と技術を習得する		CN 1名 新人教育委員2名
6/23	医療安全シリーズ KYT、転倒転落・チューブ抜去アセスメント 放射線検査、医療機器、薬剤(血液製剤)・与薬に関する医療安全	・安全な看護ケアを提供するため、医療安全に関する基本的知識を習得する ・医療安全に関する意識が向上する	研修後課題レポート テーマ 「事故防止のために今、私にできること」	他部門からの講師5名 医療安全リンクナース10名 新人教育委員1名

月/日	研修名	ねらい	備考	協力員
7～8月	カルガモ研修期間が終了し独り立ちに向けて不安を感じる時期であるため、自信を持ち看護実践ができるようフォロー研修を実施			
7/7	3か月フォローアップ研修 赤十字看護師として先輩の足跡を知ろう 新人交流GW	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤十字の基本理念である「人道」に基づいた活動の理解を深めることで、赤十字活動の実践者としての意識を高める</li> <li>独り立ちに向けて不安を感じる時期であるため、自信を持ち看護実践ができるようリフレッシュ、仲間との情報共有の機会になる</li> </ul>	私服で研修に参加 1日業務から離れてリフレッシュ	外部講師1名 現任教育委員1名 新人教育委員5名
7/21	スキンケアの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい褥瘡アセスメントを実践するため、スキンケアの基本的知識を習得する</li> <li>正しいマットの使用方法を学ぶ</li> </ul>		CN 1名 褥瘡リンクナース2名 新人教育委員2名
8/10	急変時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>急変時の初期対応を学ぶ</li> <li>SBARを用いた患者の状態報告を学ぶ</li> </ul>		係長会4名
9～2月	受け持ち看護師として自立していく時期、独りでできる看護技術も多くなるため、技術・知識の確認を中心に研修を実施			
9/6	医療看護必要度と看護記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療看護必要度に関する基本的知識を習得する</li> <li>看護記録の基本原則、法的側面について再確認する</li> </ul>		看護記録委員2名 新人教育委員1名
9/15	もう一度確認しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>採血、静脈注射を安全に実施するための知識・技術を再確認する</li> </ul>	事前課題あり	新人教育委員かつIVインストラクター5名
10/6	6か月フォローアップ研修セルフエスティーム 中心静脈カテーテル管理 看護技術再確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>不安を強く感じる時期であるため、自信を持って看護実践ができるための支えとする</li> <li>安全なCV管理と看護ケアを提供するために必要な基本的知識・技術を習得する</li> <li>実践してきた看護技術を再確認する</li> </ul>	第1期ローテーション研修の説明	他部門講師1名 新人教育委員4名
10/17	ACLS・BLS	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職として救命処置法を習得する</li> </ul>	病院職員研修	
10月	第1期ローテーション研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>配属部署だけでは経験できにくい看護技術を体験し、看護実践に必要な基本的知識・技術を習得する</li> <li>研修部署を自分で希望することで、他部署への興味関心を持ち、自部署を見直すことができる</li> </ul>	研修は平日2日間 事前アンケート実施 研修後レポート有り	各部署スタッフ
1/19	終末期・死亡時の看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>終末期・死亡時の患者・家族の特徴を理解し、緩和ケアを含めた基本的知識を習得するとともに、看護援助について学ぶ</li> <li>新人看護職員が、死や看取りについての不安や恐れを緩和し、受容できる</li> </ul>		CN 1名 緩和ケアリンクナース6名

月/日	研修名	ねらい	備考	協力員
3～6月	新人看護職員研修の修了に向けて課題を明確にし、2年目看護職として今後の目標が設定できるよう研修を実施			
3/9	受け持ち看護師として役割の確認と振り返り	・次年度に向けて自己の目標、役割の確認		CN 1名 記録委員 1名 新人教育委員 3名
11/21	内視鏡検査時の看護	・検査中の看護を学び、自部署での看護に活かす	希望者	内視鏡看護師 1名 新人教育委員 4名
12/1	周手術期の看護	・手術中の看護を学び、自部署での看護に活かす	希望者	新人教育委員 5名
2年目 5/24	人工呼吸器の基礎	・安全な呼吸管理と看護ケアを提供するために、看護に必要な人工呼吸器管理の基本的知識・技術を習得する	事前課題あり	本3病棟スタッフ 5名
2年目 6/17	ナラティブ発表会	・看護実践を振り返り、自己の看護観を深めるとともに今後の課題を明確にする	発表者へ新人看護職員研修修了書を授与	新人教育委員 4名

平成28年度看護部現任・看護補助者教育研修実績

研修会名	対象	ねらい	内容	講師・担当	日時	参加者	
看護実践研修	レベルⅠ～Ⅲ	各部署の特徴的な疾患について学び、看護実践能力の向上及びケアの質の向上を図る多職種と協働し研修を実施することで、チーム医療の推進を図る	3-4 オープン研修 院内発生の脳梗塞?急変時の対応と治療	各部署 現任教育委員	7月22日	看護職42名	
			1-4 オープン研修 蜂か織炎の発症に伴い類天疱瘡が増悪した患者の看護		8月18日	看護職38名 研修医1名	
			2-2 オープン研修 m-ECT(電気けいれん療法)の治療と看護		8月29日	看護職28名	
			1-2 オープン研修 肺疾患について学ぼう		9月21日	看護職29名	
			本4 オープン研修 嚥下障害のある患者の看護		9月29日	看護職18名 PT 1名 ST 1名	
			手術室オープン研修 気管内挿管の介助と看護のポイント		10月11日	看護職37名 医師2名	
			外来オープン研修 吐血・下血の内視鏡的治療と看護		10月24日	看護職30名	
			1-3 オープン研修 深部静脈血栓症の治療		11月24日	看護職18名	
			本3 オープン研修 急性期の鎮静について		12月13日	看護職25名 医師2名 薬剤師4名	
			2-3 オープン研修 化学療法の看護		12月19日	看護職26名	
IVインストラクター看護職養成研修	レベルⅡ以上	職場内での安全で正確な看護技術の提供の推進者となる看護職を育成する	安全対策と事故防止・感染管理 静脈注射の実践・薬剤の基礎と管理 静脈注射に使用する医療機器・体液管理 輸血用血液製剤・アナフィラキシー	現任教育委員会 安全リンクナース会	7月～ 12月	看護職22名	
ブラッシュアップ研修	褥瘡ケア院内認定看護師	職場内で褥瘡ケアの推進者となるために必要な知識、技術を再確認するとともに情報共有する	排泄ケア ～失禁のアセスメントと対応～	皮膚・排泄ケアCN 褥瘡リンクナース会	6月30日 7月5日	褥瘡ケア 院内認定 看護職 51名	
	看護必要度インストラクター	看護必要度評価の精度を上げる	[2016重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修]伝達研修	現任教育委員会 看護記録委員会	11月15日	必要度 インストラクター34名	
教育・研究	ケースレポートのまとめ方	3年目・チームリーダー・係長	ケースレポートを研究的視点でまとめて発表し、フィードバックを受ける	ケースレポートの進め方①  ケースレポートの進め方②	外部講師 現任教育委員会  現任教育委員会	11月17日  9月15 ・21 ・23日	看護職35名  看護職17名
	3年目事例発表	全看護職員	実践能力を高めるために事例をまとめて発表する	3年目の事例研究の発表	現任教育委員会	5月26日 6月6 ・23日	看護職 126名
	看護研究	レベルⅡ～Ⅲ相当	研究の進め方を学ぶ	看護研究の進め方	外部講師	4月～	各部署個別 相談・指導
		全看護職員	看護の専門性を高め、看護ケアの向上を図る	看護研究計画書の発表	現任教育委員会	7月21日	看護職17名
	新人教育	プリセプター	新人の現状と今後の課題を共有する	当院の新人教育体制やプログラム、プリセプターの役割について学ぶ  6ヶ月の振り返り(新人・教育担当)の現状を共有し、プリセプターとしての今後の課題を明確にする  プリセプターとしての1年間を振り返り、次年度への課題を明確にする	新人教育担当 師長・係長	4月20 ・21日  10月6日  3月9日	プリセプター 25名  プリセプター 12名 新人教育委員 8名  看護職24名
倫理	看護倫理研修Ⅰ(基礎)	レベルⅠ相当	基礎的倫理知識を習得し看護現場における倫理的感性を磨く	倫理研修①(新人研修を含む) 看護場面をふりかえる	緩和ケアCN・ 緩和ケアリンク ナース会	1月9日	看護職16名
	看護倫理研修Ⅱ	レベルⅡ相当	事例を通して倫理観を高める	倫理研修②事例検討	現任教育委員会	3月30日	看護職14名
報告会	認定看護師活動報告会	全職員	活動実践報告を通して各認定分野の活動を周知しリソーストシテの役割を果たす	平成28年度の活動のまとめ 緩和ケア認定看護師が認定を 目指した動機、資格取得までの経緯	認定看護師の会	3月24日	看護職30名 医師2名 検査技師2名
	固定チームナーシング	看護職 看護補助者	1年間の小集団活動・成果発表	看護部	2月13 ・24日	看護職83名	
トピックス	看護職 看護補助者	認定看護師から日々の看護ケアに必要な知識・技術を学ぶことで看護ケアの質向上を図る	誤嚥性肺炎を予防する為の口腔ケア	摂食・嚥下障害 看護CN	5月～ 3月	各病棟部署 内研修	
看護補助者研修	看護補助者研修Ⅰ	看護補助者	基本的知識・技術を習得する	排泄ケアを行う上での基本的知識・ 技術を習得する	woc 院内褥瘡ケア 認定看護師	6月9 ・10日	看護補助者 10名
	看護補助者研修Ⅱ		医療安全の気さ知識 (安全研修を含む)	看護補助者の業務範囲と 当院の医療安全体制	専任リスク マネージャー	6月7 ・8日	看護補助者 26名
	看護補助者研修Ⅲ		環境清掃と感染管理 (感染研修を含む)	感染経路遮断のための基本と 環境清掃の基本的な視点方法を学ぶ	感染制御実践 看護師	9月12 ・13日	看護補助者 26名
	看護補助者研修Ⅳ		組織の中の看護補助者の役割	新病院構想、診療報酬改定をうけて ※3回同じ内容の研修	看護部長	9月14 ～16日	看護補助者 22名



## 24. 検査部

- 【部長】 渡部 研一(第2循環器科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
- 【課長】 小林 利美(臨床検査課長・臨床検査技師)  
 峯 徹次(生理検査課長・臨床検査技師・超音波検査士)  
 酒井 克也(病理検査課長・臨床検査技師)
- 【係長】 佐藤 由峰(病理検査係長・臨床検査技師・認定一般検査技師)  
 大竹 利典(第2臨床検査係長・臨床検査技師・超音波検査士)  
 根本 浩(細胞診係長・臨床検査技師・細胞検査士・認定病理検査技師)  
 森川 由美(輸血検査係長・臨床検査技師)  
 佐藤美千子(生理検査係長・臨床検査技師)
- [臨床検査技師] 八島亜由美、吉田 憲治、相楽 孝行、石川 梓(細胞検査士)、  
 氏家 洋幸(消化器内視鏡技師・認定救急検査技師)、丹野麻木子、  
 中田 悠希、酒井 絢香、菊池麻衣子、鹿野 智美、幕田 高平、  
 仙浪惟奈、菅野美佐子(細胞検査士)、佐々木一美、渡辺みどり
- [看護師] 高久 武子
- [検査助手] 猪狩 利恵、渡部 千夏、石井美和子

### <平成28年度実績>

#### 1. 検査件数

(1)一般検査	入院	6,399件	外来	26,661件
(2)血液検査	入院	44,154件	外来	77,078件
(3)生化学検査	入院	22,104件	外来	542,310件
(4)免疫検査	入院	27,715件	外来	62,453件
(5)微生物検査	入院	3,618件	外来	3,589件
(6)病理検査	入院	20,004件	外来	3,909件
(7)生理検査	入院	3,743件	外来	21,106件

#### 2. 参加学会・研修会名一覧

- (1)第25回福島心エコー研究会
- (2)検体採取等に関する厚生労働省指定講習会(仙台)
- (3)検体採取等に関する厚生労働省指定講習会(東京)
- (4)平成28年度第2回細胞検査士資格認定対策勉強会
- (5)教育研修会並びに組織強化セミナー
- (6)平成28年度第1回新臨技臨床一般部門研修会
- (7)平成28年度生涯教育研修会
- (8)第48回福島医学検査学会
- (9)第57回日本臨床細胞学会総会春季大会
- (10)第12回循環生理検査法技術講習会
- (11)平成28年度第1回県北細胞診勉強会
- (12)第41回日本超音波検査学会学術集会
- (13)第11回福島県消化器フォーラム
- (14)第40回福島県消化器治療内視鏡研究会
- (15)アークレイ臨床検査セミナー2016仙台
- (16)平成28年度日本赤十字社臨床検査技師業務研修会
- (17)第103回光が丘心エコー症例検討会
- (18)シーメンズレクチャー

- (19) 甲状腺超音波検査実技研修
- (20) 第53回東北臨床細胞学会学術集会
- (21) 第16回東北内視鏡従事者フォーラム
- (22) 第3回関節リウマチの寛解を考える会in福島
- (23) 第104回光が丘心エコー症例検討会
- (24) 第4回ロシュダイアグノスティックス東北遺伝子・病理学術セミナー
- (25) シスメックスヘマトロジーセミナー in仙台2016
- (26) 平成28年度北日本支部臨床一般部門研修会
- (27) 第32回福島県消化器内視鏡技師研究会
- (28) 第71回日本臨床細胞学会細胞検査士教育セミナープログラム(第2報)
- (29) 第65回日本医学検査学会
- (30) 平成28年度第2回県北細胞診勉強会
- (31) 関節エコーワークショップーアドバンスコースー
- (32) 第1回ABBOTT勉強会
- (33) 光が丘心エコー症例検討会
- (34) 第29回福島県輸血懇話会
- (35) 第22回福島県消化器病研究会
- (36) 日本臨床自動化学会第48回大会
- (37) 第5回平成28年度日臨技北日本支部医学検査学会
- (38) 平成28年度県北支部血液検査研究班研修会
- (39) 第5回睡眠呼吸障害セミナー
- (40) 日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会研修会第9回福島セミナー
- (41) 第4回睡眠呼吸障害地域医療連携セミナー
- (42) 日立自動分析装置研修会
- (43) 第2回脳波に親しむ会
- (44) 平成28年度北日本支部血液検査部門研修会
- (45) 平成28年度福島県臨床検査技師会総合管理部門研修会
- (46) 第77回日本消化器内視鏡技師学会
- (47) 日本リウマチ学会北海道・東北支部主催 関節超音波検査 初心者向け講習会
- (48) 光が丘心エコー勉強会
- (49) 第23回福島県臨床検査精度管理調査事業報告会並びに学術講習会プログラム
- (50) 平成28年度福島県臨床検査技師会県北支部公衆衛生微生物検査研修会
- (51) 浜通り消化器フォーラム2016
- (52) 第16回東北ブロック赤十字病院リスクマネージャー養成ワークショップ
- (53) 平成28年度県北県南支部合同病理検査細胞診検査研修会
- (54) 第6回東北病理技術研修会
- (55) 平成28年度感染制御部門微生物・ウイルス検査分野疫学検査分野合同研修会
- (56) 平成28年度一般検査部門一般検査分野研修会
- (57) 第6回南東北臨床神経生理セミナー
- (58) 平成28年度第3回県北細胞診勉強会
- (59) 福島県臨床検査技師会県北支部生理機能研修会
- (60) 平成28年度福島県臨床検査技師会生理機能検査部門循環機能検査研修会
- (61) 平成28年度病理検査・細胞検査精度管理フォローアップ研修会
- (62) 看護職再就業支援研修プログラム
- (63) 光が丘心エコー症例検討会
- (64) 平成28年度岩臨技病理細胞診部門一般検査部門合同研修会
- (65) 平成28年度赤十字血液シンポジウム東北
- (66) 第3回東北LBC研究会同時開催スライドカンファランス
- (67) 平成28年度山形県臨床検査技師会臨床一般部門研修会・大腸がん検診従事者講習会

- (68) 第7回福島循環器陽圧治療研究会
- (69) 平成28年度福島県臨床検査技師会生理機能検査部門神経機能分野研修会
- (70) 平成28年度福島県血液検査染色体検査分野合同研修会
- (71) 平成28年度県北支部
- (72) 第110回光が丘心エコー症例検討会
- (73) 平成28年度福島県臨床検査技師会生理機能検査部門呼吸機能検査分野研修会
- (74) 平成28年度一般検査部門一般検査分野研修会
- (75) リウマチWEBセミナー
- (76) 平成28年度第4回県北細胞診症例検討会
- (77) 福島心不全地域連携を考える会
- (78) 第24回NSTフォーラム福島
- (79) 第356回福島消化器病研究会
- (80) 関節リウマチの寛解を考える会in福島

### 3. 学会・研究会発表

氏名 根本 浩  
 期間 平成28年5月1日  
 場所 福島県郡山市  
 学会・研究会名 第2回細胞検査士資格認定対策勉強会  
 演題名 症例提示(呼吸器分野講師として)

氏名 吉田 憲治  
 期間 平成28年6月25日  
 場所 福島県福島市  
 学会・研究会名 第44回東北赤十字臨床検査技師会研修会  
 演題名 経頭蓋電気刺激運動誘発電位モニタリングにおける偽陰性を避けるための至適刺激強度の検討

氏名 氏家 洋幸  
 期間 平成28年6月25日  
 場所 福島県福島市  
 学会・研究会名 第44回東北赤十字臨床検査技師会研修会  
 演題名 内視鏡室業務における臨床検査技師の関わり

氏名 峯 徹次  
 期間 平成28年7月9日  
 場所 福島県福島市  
 学会・研究会名 第3回関節リウマチの寛解を考える会in福島  
 演題名 関節エコーで評価した生物学的製剤の効果－ステージごとの検討－

氏名 氏家 洋幸  
 期間 平成28年8月20日  
 場所 福島県福島市  
 学会・研究会名 第32回福島県消化器内視鏡技師研究会  
 演題名 胆膵疾患における体外式超音波検査と比較した超音波内視鏡検査の有用性と問題点－内視鏡技師である検査技師の立場から－

氏名 根本 浩  
期間 平成28年12月6日  
場所 福島県福島市  
学会・研究会名 第3回県北細胞診勉強会  
演題名 症例提示

#### <平成29年度目標>

- (1)各学会・研修会への積極的参加・発表
- (2)臨床への迅速かつ正確な検査データの提供
- (3)臨床・コメディカルとの連携強化・チーム医療
- (4)認定技師取得を目指す技師へのサポート
- (5)検査の効率化とコスト削減

## 25. 医療社会事業部

【部長】 宮田 昌之(副院長 兼 医療社会事業部長)

### 医療社会事業課

【課長】 田畑 友子(医療社会事業課長)

### 医療社会事業係

【係長】 高根 晴美(医療社会事業係長 認知症疾患医療センター専従看護師)

[看護師] 佐藤 明美(退院支援担当)

[精神保健福祉士] 菅野 直樹(認知症疾患医療センター担当)

[社会福祉士] 丸山 絢子(退院支援担当)

宍戸 絵美(退院支援担当)

渡邊 真衣(医療相談・患者サポート窓口担当)

#### <平成28年度実績>

患者のかかえている問題に対して相談員が対応した件数は下記の通りであった。介護の問題等、退院を困難にする生活上の要因を持つ入院患者が多く、また診療報酬の改訂もあり、退院支援業務専従の相談員を配置(1人2病棟受け持ち)して、退院支援を強化する体制で活動した。患者家族のもつ問題解決のために、院内多職種との協働、また地域の医療機関・福祉・介護スタッフとの連携を深め、合同カンファレンスの開催や地域ケア会議等への参加も積極的に行った。在院日数の短縮が求められる中、問題解決に時間を要する患者については地域包括ケア病棟を持つ医療機関への転院支援を強化した結果、自宅退院への支援が減少し転院支援が増加した。自宅退院への支援件数が減少したにもかかわらず合同カンファレンス件数が増加していることは、問題を抱える患者の増加を裏づけるものと思われる。

\*対応ケース実人数…1,768名(延べ相談件数5,244件)

*対応した問題…家族関係及び家族が抱える問題	7件	介護・療養生活上の問題	865件
経済に関する問題	29件	就労・職場の問題	1件
教育の問題	1件	医療の確保に関する問題	520件
心理・情緒的問題	1件	制度活用に関する問題	344件

- \* 退院に関するもの…他の病院転院 513件(+50)  
 (連携パス利用：脳卒中175件 大腿骨頸部骨折66件)  
 施設入所 200件(-50)  
 自宅退院 438件(-135)
- \* 合同カンファレンス…退院時共同指導 100件(+26)  
 介護支援連携指導 363件(+15)

「認知症疾患医療センター」については、神経内科による「もの忘れ外来」と精神科による診療の他、初期集中支援チームや地域包括支援センターの三職種代表、行政等との情報交換会を2回行い、センター機能の紹介や事例検討を行うことで理解を深めた。また、砂川市立病院認知症疾患医療センターの内海久美子先生を迎えて開催した地域づくりに関する勉強から、地域の開業医へのアンケート調査や19地域包括支援センターへのヒアリング等の地域活動につなげることができた。今後、それらをまとめて地域づくりに関わっていく予定である。地域の医療・介護スタッフに向けた研修会も2回行った。

### <平成29年度目標>

ていねいな面接と院内他職種との協働、地域の関係医療・福祉・介護スタッフとの連携に心がけ、患者が安心して当院の診療を受けながら住み慣れた当地域で過ごすことができるよう、常に患者の「生活」を柱に支援する。特に、退院支援に関しては、必要な患者に早期から関わり、方針を決定して支援することで、適正な入院期間で退院できることを目指す。

### 地域医療連携係・地域支援係

- 【係長】 伊藤 和子(地域医療連携係長)  
 富田 夕紀(地域支援係長)
- [事務員] 高田 淳子

### <平成28年度実績>

平成28年度は641の医療機関等より総数8,937件(前年度比+396件)の紹介があり、そのうち地域医療支援病院としての紹介率算定対象である初診の紹介件数は6,373件(前年度比+236件)と増加し、紹介率も79.5%(+4.6%)とアップした。また、逆紹介については、528の医療機関等へ総数6,071件(+336件)を逆紹介しており、逆紹介率は75.7%(+1.7%)であった。月毎にみても紹介率・逆紹介率ともに地域医療支援病院の基準値を上回っており、安定した数値で経過している。紹介・逆紹介上位の医療機関は下記の通りである。

紹介			逆紹介		
1	福島県立医科大学附属病院	396件	1	福島県立医科大学附属病院	593件
2	福島県保健衛生協会(二次検診)	254件	2	わたり病院	287件
3	わたり病院	249件	3	北福島医療センター	237件
3	北福島医療センター	228件	4	あづま脳神経外科病院	154件
5	むつみ脳神経・耳鼻科クリニック	191件	5	大原綜合病院	149件
6	おがたクリニック	184件	6	うめつLS内科クリニック	94件
7	大原綜合病院	156件	7	南東北医療クリニック	92件
7	さくま内科クリニック	148件	8	済生会福島総合病院	86件
9	うめつLS内科クリニック	146件	9	南東北福島病院	86件
10	児玉胃腸科内科	120件	9	むつみ脳神経・耳鼻科クリニック	85件
11	西口クリニック婦人科	109件	11	公立藤田総合病院	81件
12	まつもと脳神経・内科クリニック	107件	11	大原医療センター	81件

共同利用については、CTは14医療機関より計228件(前年度比+11件)、MRIは13医療機関より計157件(-27件)、脳波は5医療機関より40件(-11件)、関節エコーは2医療機関より20件(+8件)、

骨塩定量は4医療機関より12件(+3件)、神経伝導速度測定は3医療機関より16件(+14件)であった。さらにクリニックからの要望により新たにレントゲン単純撮影と乳房撮影(デジタル撮影)も共同利用の対象とし、レントゲン単純撮影が1医療機関より2件、乳房撮影が1医療機関から4件の利用があった。また、開放病床の利用率は42.0%(+18.3%)で、共同診療の実績はなかった。CT・MRI共同利用の上位の医療機関は下記の通りである。

CT			MRI		
1	さくま内科クリニック	95件	1	いわた整形外科	78件
2	さとう日出夫整形外科	58件	2	ライフ・ナビクリニック	32件
3	村上耳鼻科	46件	3	わたり病院	21件
4	ライフ・ナビクリニック	10件	4	西口クリニック婦人科	7件
5	レオ歯科	4件	5	ふれあいクリニック桜水	5件

地域医療従事者研修会は、院内各部署や委員会等で主催して行う職員研修と共同して実施するものが多かった。実績は下記の通りであった。

	研修日	研修名	講師	院外参加者数
1	7/8 17:30~18:30	認知症の人とのコミュニケーションについて ~接し方のポイントを学ぶ~	第一三株式会社 村松 健吾 先生	6名
2	7/28 19:00~20:45	①認知症治療と地域連携 ②当院の認知症治療	精神科:①後藤 大介 ②浅野 聡子	29名
3	8/19 18:45~20:30	つたえる つなぐ つくる 社会全体で支える認知症	砂川市立病院 認知症疾患医療センター長 内海 久美子 先生	19名
4	8/31 17:30~18:30	吉本新喜劇から学ぶ 最強の医療コミュニケーション「なんでやねん力」	Wマコト 中山 真 様 中原 誠 様	11名
5	9/13 13:00~13:30	環境整備と感染管理	感染制御実践看護師: 三浦 愛	5名
6	10/21 18:00~19:00	摂食嚥下障害について	大原総合病院副院長 耳鼻咽喉科 鹿野 真人 先生	40名
7	11/2 18:30~19:15	超高齢社会と認知症 ~地域で支える医療ネットワークの構築に向けて~	精神科: 後藤 大介	108名
8	11/8 17:30~18:30	①脳主幹動脈閉塞に対する血管回収療法 ②症例検討	①脳神経外科:市川 剛 ②循環器科: 阪本 貴之	61名 (救急隊)
9	11/14 17:30~18:30	輸血用血液製剤の取り扱いと副作用について	福島県赤十字血液センター 渡邊 範彦 氏	2名
10	11/16・3/8 17:30~18:30	超高齢化社会と認知症	精神科: 後藤 大介	11/16:9名 3/8:23名
11	11/21 17:30~19:00	ターミナル患者の口腔ケア	摂食・嚥下障害看護認定 看護師: 八木沼 裕子	15名
12	12/2 17:30~18:30	季節性の感染症を中心に ①インフルエンザワクチンについて ②鳥インフルエンザについて	薬剤部: 佐藤 南 感染制御実践看護師: 三浦 愛	12名
13	12/5 17:30~18:30	アナフィラキシーショックと対応について	救急看護認定看護師: 渡邊 あゆみ	10名
14	3/10 19:00~20:50	福島心不全地域連携を考える会	①大原医療センター 待井 宏文 先生 ②日本大学医学部 阿部 雅紀 先生	40名

地域の開業医等とより良い連携がとれる関係づくりを目的として「地域連携懇話会」を11/2にホテル辰巳屋にて開催した。院外からは登録医をはじめ、日ごろ連携している医療機関の医師、老人保健施設の施設長、各病院の地域連携担当者等104名、当院の医師・看護師長等72名の参加があり情報交換を行った。

## <平成29年度目標>

1. 地域医療支援病院としての役割を果たす。
  - (1)紹介・逆紹介を推進する。  
紹介率・逆紹介率の維持
  - (2)研修会を開催し、地域の医療のレベルアップに寄与する。
  - (3)地域医療支援委員会を開催し、地域の中での当院の課題を明らかにして対応に生かす。
2. 紹介患者のスムーズな受け入れに心がける。
  - (1)マニュアルの再確認を行い、業務を整理する。
  - (2)可能な限り予約での来院をうながす。
3. 連携システム導入により、返書管理を徹底する。

## 社会課

【課長】野地 啓子(社会課長 兼 社会係長)

### 社会係

## <平成28年度実績>

1. 救護活動
  - (1)熊本地震災害対応  
平成28年4月14日(木)・16日(土)と震度7の大地震が熊本県熊本地方を襲い家屋の倒壊や道路の損壊、ライフラインの途絶等、熊本県益城町を中心に非常に大きな被害が発生した。当院の活動は以下である。災対本部を中心に支部また本社との連絡調整に努め敏速に各部署が対応して、職員、物資の準備等にあたり活動することが出来た。また東日本大震災での経験から、病院支援ではいち早く手挙げ出来、派遣された職員も避難所などで被災者への対応や声掛けもスムーズに行えたとの報告があった。
    - ①救護班派遣  
第1救護班 7名 4月25日～30日 南阿蘇村、益城町  
第2救護班 7名 5月4日～9日 益城町
    - ②こころのケア班  
5名 5月19日～25日 益城町
    - ③熊本赤十字病院支援  
医師1名 看護師1名 4月20日～26日  
看護師1名 主事1名 4月25日～5月1日  
主事1名 5月3日～9日
- ※活動報告について  
院内向け：7月29日(金)17時30分より2時間 大講堂において報告会  
出席者99名(職員92名・支部6名・実習生1名)  
院外向け：5月12日(木)9：30～12：30 1階エントランスホール  
赤十字月間・看護の日イベントにて掲示と説明、義援金受付
- (2)救護関係  
今年度も災害対策委員会を中心に以下の活動を実施した。
  - ①常備班8班整備・救護員の登録・災害救護連絡体制整備、任命式の実施  
任命式7月13日実施 参加者23名
  - ②災害救護訓練参加状況

日程	訓練名	場所	参加状況
7月16日	県支部合同災害救護訓練	福島県支部	要員34名 本部スタッフ5名 スタッフ16名
8月28日	県総合防災訓練	会津若松市	救護班1班

10月1・2日	東北ブロックDMAT参集訓練	山形県	DMAT1チーム
10月22日	市総合防災訓練	福島市	救護班1班
10月22日	県原子力防災訓練	小野町	救護班1班
11月1日	多数傷病者対応訓練	浪江町	DMAT1チーム
平成29年 2月9・10日	第1ブロック支部合同訓練	青森県	救護班1班

※平成28年度支部救護班要員主事研修は、参加希望者が少なく中止となる。

### (3) 院内災害訓練実施

平成29年2月25日(土) 1階エントランスホールと各部署で実施

参加者81名(職員77名・ニチイ2名・病院ボランティア2名)

第1部：初動訓練(災害対策本部運営・各部署アクションカード運用)

第2部：救急患者受け入れ訓練

非常食保管状況説明と手渡し訓練

### (4) 救護資材整備

熊本地震での出動を経験し、以下の資材の整備を実施(QCサークルで発表)

救護服保管箱・救護班出動時のキャリアバック・DMAT隊員個人装備

## 2. 原子力災害拠点病院指定について

平成28年9月27日付で福島県原子力災害拠点病院申請実施、平成29年4月1日付で福島県知事より日本赤十字社福島県支部長宛に指定を受ける。県内では、高度被ばく医療機関として福島医大、当院と同じ原子力災害拠点病院として南相馬市立病院が指定

## 3. 東日本大震災復興支援活動

県内各地の仮設住宅訪問「赤十字にここ健康教室」に健康生活支援講習指導員の中から3か所に1名ずつ派遣した。今年度から復興事業の対象が高齢者支援に広がり「認知症サポーター講習」も健康生活支援講習に加わって開催することとなり、人材育成のため(キャラバンメイト育成)10名が受講した。

## 4. 地域住民への赤十字広報活動

5月の「赤十字月間と看護の日」のイベントは5月12日午前中に1階エントランスホールで実施した。糖尿病相談・禁煙相談・お薬相談・アロマハンドトリートメントサービス・乳がん自己チェックの方法・栄養相談・AED講習会・健康食品試飲紹介などを看護部が中心となり実施し期間中外来患者や入院患者が訪れて盛況に行われた。社会課は健康チェック・熊本地震報告展示に参加した。

地域での赤十字健康講演会開催は以下のとおりである。

日程	テーマ	場所	派遣者
5月13日	脳卒中ってどんな病気？ 脳卒中になったらどうする	保原市民センター	渡部 洋一
5月17日	動脈硬化と血栓症について	福島市役所	安藤 精一
7月5日	心房細動による脳梗塞の予防	福島市保健福祉センター	渡部 洋一
8月2日	美味しく食べて健康でいよう	石川町猫啼温泉	佐藤る美子
10月28日	脳卒中の最近の話題、予防と治療	吾妻学習センター	中村耕一郎
12月7日	脳卒中予防と治療	二本松市東和文化センター	鈴木 恭一

赤十字講習会は、健康生活支援講習3日間コース4回で47人が受講した。短期講習は1回13名、救急法は1回15名の受講があった。

## 5. 地域学校の福祉教育協力

中学生の職場体験受け入れは、8校から15名であった。5日間コース7校、2日間コース1校で、5日間のコースは11部署の訪問体験を指導の下で実施し、充実した体験ができた満足した感想であった。高校生は東稜看護科1年の学生のボランティアを8月17～19日の3日間7名、北高校1年生職場インタビュー1名を受け入れた。

## 6. 病院ボランティア活動

外来玄関ホールでの案内や世話を月曜日～金曜日の午前中実施している。会員は21名で今年度会員の移動はなかった。会員の研修として総会前に「スキンケアの基本を学んでみよう！」を実施した。また3月の院内災害訓練の患者役には2名参加していただいた。院内絵画ボランティアは年間4回、患者様へ季節感を届けるような絵を選び掛け替えている。

## 7. 患者慰安行事

定例の全日空スズラン贈呈(6月2日)、癒しのクラシックギターコンサートと題してBunKen(長野文憲氏)(10月18日)、アルパコンサート(志賀昭裕氏)(12月14日)による音楽による患者様への慰問コンサートが1階エントランスホールにて行われた。また新潟敬和学園から児童書6冊のクリスマスプレゼントがあり、12月24日夕方職員有志8名によるキャンドルサービスの際に子供たちに贈呈した。

### <平成28年度目標>

1. 救護：主事の育成を継続(主事研修2回目の実施)
  - 参加者少なく中止となる。次年度は募集方法、他院への声掛け等工夫することとする。
  - 救護資材を運びやすくするためバッグの検討
  - 熊本地震の経験を生かし、実動はキャリアバックとする
2. 健康生活支援講習の充実(短期講習会の実施と派遣、使用資材の整備)
  - 認知症サポーター講習会の導入に伴い、研修を受講し、次年度に実施予定
  - ベッド、車いすの新規購入実施

### <平成29年度目標>

1. 原子力災害拠点病院としての研修実施と人材育成  
福島医科大学と連携し、研修に参加していく。また原子力災害時医療中核人材研修への参加をしていく。
2. 認知症サポーター養成講座の開催支援  
福島市との共催であり、(PRは市で実施)今年度11回(30名定員)が開催予定。  
開催にあたり、担当者・支部と連絡をとり支援していく。

## 健 診 係

[係長] 野地 啓子(社会課長 兼 社会係長)

[保健師] 渡辺 由佳、赤間 由美

[事務員] 日色沙緒里、渡辺真奈美、美野 陽子

### <平成28年度実績>

	平成27年度	平成28年度	対前年度増減
人間ドッグ	206名	208名	2名
増政一般・政付加	1,095名	923名	172名減
福島市民検診(項目数)	2,832件	2,878件	46件増
一般健診	812名	1,127名	315名増
健康診断	135名	350名	215名増
特定健診	280人	450人	170名増
健診収益	77,768,607円	80,547,063円	2,778,456円増

保健指導 人数	134名	202名	68名増
収益	992,415円	1,562,262円	569,847円増
放射線内部被ばく検査 人数	657人	540人	117名減
収益	1,644,500円	1,352,000円	292,500円
甲状腺検査 人数	184人	162人	22名減
収益	1,609,880円	1,419,840円	190,040円

健診収入は昨年度に比べ約270万増収することが出来た。健診枠内での予約を出来る限りとるように努め、個々にオプションを勧める等対応した結果であると思われる。年間で見ると4月5月の健診予約が少なく、今後の課題であると思われる。今年度から膵臓関連検査とリウマチ関連検査を新設し、また依頼が多かった医大入職者健診コースを新設しPRを行った。保健指導は着実に人数を増やすことが出来、協会けんぽ保健指導者対象希望者には6か月後の採血を実施する事業を開始し、12月から7名実施できた。健診結果については昨年度から開始した健診終了後に検査結果を確認し、要医療レベルの方には説明し受診に繋げていくように努めた。

#### <平成28年度目標>

1. 件数の増加はほぼ達成できたため、今後は内容の充実を図りリピータを増やしていきたい。検査終了後の異常値の方へ保健師による説明の実施、待ち時間の短縮のため順番を工夫するなど進めていく。件数としては1日に人間ドックを2件、胃カメラ10件を目標に実施していきたい。→人間ドックは208件(2件増)胃カメラ件数は年間1548件(150件増)人間ドックを増やすための方策を工夫していきたい。
2. 新規の受診者へ獲得のためPRを実施していく。健診用のカラーパンフレットを作成し、地域連携病院や院内の周りの企業、病院職員退職者会など広めていきたい。  
→PRが出来なかった。次年度は実施していきたい。

#### <平成29年度目標>

1. 専任医師の就任で、当日の結果説明での受診勧奨を実施していく。また保健指導に繋げていくようにする。
2. 健診独自のパンフレットを作成して、PRに利用する。
3. 来年度の4月5月時期の健診予約を増やすため、計画的に取り組む。
4. 今年度から開始したじん肺と石綿の健康管理手帳による健康診断の実施
5. 健診カルテの電子化について情報収集を行う。

## 26. 事務部

【部長】 緑川 茂樹(事務部長)

総務課

【課長】 野田 誠(総務課長)

【係長】 國分 秀俊(総務係長 兼 人事係長)

菅野 正幸(文書係長)

[主事] 安田美喜子、村上 尋美

[事務員] 廣野 登、吉田 絹子、吉田 亜樹、横山 碧

(医局・研修医担当)大原有香梨、川井茉奈美

(医師事務作業補助担当)高田日出子、齋藤 美和、樋口 由紀、大橋 千春、山岸 優子、菅野 香子、鈴木 幸子、木村 仁美、太田美穂子、齋藤 有沙、根本 美穂

## 【業務内容】

当課は総務係・人事係において以下の業務を担当している。

人事・労務、給与、職員福利厚生、医療安全、感染対策、教育研修、各種委員会および研修会、職員健診、医局、医師臨床研修、医師事務作業補助、防災・防火対策、災害救護(DMAT関連)、図書、出張、文書管理・処理、駐車場関係、食堂売店関係、不在者投票、医師会関連、病院輪番、当直、車両運行、医療紛争、新病院建設に係る総務関連事業対応のほか、他課に属さない様々な業務を処理するなど多岐にわたっている。

## <平成28年度実績>

### 1. 人材確保：

(1. 看護師)養成学校への訪問や説明会・インターンシップ・潜在看護師支援事業を開催し人員確保活動を実施

(2. 医療技術職)薬剤、リハビリテーション、放射線科、検査、栄養の各部門における実習及び見学等を積極的に受入し人材確保活動を実施

(3. 臨床研修医)臨床研修プログラム委員会を中心とした、指導医の丁寧な指導教育と他職種研修医教育体制との連携強化により研修医師に対する充実した研修を実施、また医学生への病院説明会・見学会の開催、院外ガイダンス等での募集活動を行った結果、5名採用(定員6名)となった。

### 2. 障害者雇用の継続確保：法定雇用率をクリアする対象職員雇用を継続している。

### 3. 医師・看護師負担軽減支援体制の推進：各診療科と支援業務内容の見直しおよび連携強化に努め、病棟および外来診療への支援体制の拡充を進めた。

### 4. 行事、イベント等：保健所「病院立入検査」、東北厚生局「施設基準等に係る適時調査」をはじめ各関係機関調査等にかかる事務全般を担当

施設内部組織ならびに構造等変更に伴う開設者届出関係を含む各関係機関への事務手続きを実施

日本赤十字社健康保険組合の設立ならびに移行に関する手続きを所管し、全被保険者および被扶養者に対し回収交付を完了

第52回日赤医学会(栃木・足利開催)、第19回東北ブロック赤十字病院球技大会(宮城・仙台開催)への職員参加にかかる事務連絡調整を行った。

平成28年4月の熊本地震災害関連では、救護班2班と病院支援職員(医師・看護師・事務)の派遣を支部および社会課とともに迅速に調整対応

院内災害訓練や赤十字ふれあいまつりをはじめイベント運営に関し参加及び協力した。年間を通し講堂他で開催される各種研修、勉強会、講演会の会場設営および運営等への対応を継続的に行っている。

## <平成29年度目標>

### 1. 人事および労務管理の強化、推進

### 2. 業務の改善、効率化

### 3. あいさつの励行、迅速な対応・処理

### 4. 報告・連絡・相談による情報共有

### 5. 人事給与システムの確実な運用管理

### 6. 新病院移転に向けた文書管理(保存・保管・廃棄)の推進

## 企画課

【課長】 松本 修(企画課長)

【新病院建設準備室長】 糸魚川真悟

【係長】 野地 幸次(企画係長 兼 経営管理係長)

【主事】 野崎 謙司、相澤真理子、二階堂雄平、奈良輪大輔

#### <平成28年度実績>

1. 電子カルテ化を見据えたシステム拡張の運用調整・検討  
(医師記録のシステム記載開始、注射・レジメンオーダ拡充、カウンターサイン機能拡充、エコー系レポートの電子化、文書管理システムの導入検討など)
2. 診療・院内業務における課題抽出・改善活動  
(マクロ開発による業務効率化、院内業務日誌の開発など)
3. 部門システムの更新(動画系PACSの更新など)
4. 地域連携システム「キビタン健康ネット」(福島県医療福祉情報ネットワーク協議会)、地域連携システム「福来たネット」(福島市医師会)の運用開始に向けた調整
5. システム掲示板の機能拡充、アンケート収集機能、グループウェア構築による院内情報の共有化推進
6. 医療情報システム全般のメンテナンス、障害・QA対応、ウィルス対策や運用改善活動の実施
7. 各種統計データ集計、データ分析(本社報告、自治体報告、病床機能報告、DPCデータ分析など)
8. 病院祭「第4回 ふれあいまつり」(平成28年11月5日開催)の企画・調整
9. 病院ホームページの管理・更新、病院広報誌「日赤通り(広報版・院内版)」の発行およびFacebookを利用した情報発信
10. 各部門へのヒアリングの調整・実施

#### <平成29年度目標>

1. 電子カルテ移行へ向けた院内調整・検討  
(外来電子カルテ化の推進、フルオーダ化に向けたオーダ種追加検討(処置、指導料等、院内コンサルテーション機能拡充、電子カルテに伴う院内規約の整備など)
2. 部門システム更新・統合の推進  
(地域連携システムの電子カルテシステム統合、文書管理システム導入・スキャン運用・電子スタンプ化の検討等)
3. 新病院におけるシステム・ネットワークインフラの設計・検討  
(ネットワーク設計、端末配置計画、医療機器との連携範囲設計等)
4. 院内のIT資産の適正な管理、ウィルス、マルウェア等の脅威に対するIT情報資産の管理強化
5. 病院ホームページ、病院広報誌「日赤通り(広報版・院内版)」、Facebook等を利用した情報発信
6. 医療情報システムデータの分析による課題抽出と経営改善活動の推進及び医療の質向上に向けたデータの分析
7. 病院機能評価受審に向けた院内調整

### 新病院建設準備室

【新病院建設準備室長】 糸魚川真悟

【係長】 野地 幸次(企画係長 兼 経営管理係長)

【主事】 相澤真理子

#### <平成28年度実績>

1. 新病院実施設計の検討、実施
  - ・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)について、株式会社日建設計と実施設計について検討。工事費高騰に伴う実施設計の変更を実施。
  - ・株式会社日建設計と監理業務委託契約締結(平成28年9月30日)
2. 開発行為許可申請等新病院建設に関する手続きの検討、実施
  - ・大規模特定行為の事前協議書(平成28年6月20日 福島市)

- ・暮らし・にぎわい再生事業全体設計承認申請書(平成28年6月23日 福島市)
  - ・事前公開標識設置報告書(大規模特定行為)(平成28年6月30日 福島市)
  - ・大規模行為の届出書(平成28年7月15日 福島市)
  - ・中高層建築物の建築に係る標識設置届(平成28年7月15日 福島市)
  - ・開発行為の変更許可申請(平成28年8月3日 福島市)、許可(平成28年8月5日)
  - ・中高層建築工事申出書(平成28年9月9日 福島市)
  - ・指定施設新築等工事計画(変更)届出書(建築物)(平成28年9月9日 福島市)
  - ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく届出書(平成28年9月9日 福島市)
  - ・開発行為変更届出書(平成28年9月21日 福島市)、受理(平成28年9月26日)
  - ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定の届出書(平成28年9月21日 福島市)
  - ・工事完了公告前の建築等承認申請書(平成28年9月26日 福島市)、承認(平成28年9月27日)
  - ・住居表示に関する届出書(平成28年12月15日 福島市)
  - ・住居番号付番通知書受領(平成28年12月26日 福島市八島町7番7号)
3. 新病院移転予定地造成・道路拡幅工事の施工業者の選定、工事着工、土地取得等の手続き
- ・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)に係る造成工事・周辺道路等工事について、一般競争入札(平成27年10月30日)により、佐藤工業株式会社と工事請負契約を締結(平成27年11月2日)。開発行為承認(平成28年1月8日 福島市)後、造成工事・周辺道路等工事を着工(平成28年1月12日)し完了(平成28年9月28日)する。
  - ・周辺道路等工事に隣接する土地について、不動産売買契約(平成28年11月30日)により土地(福島市八島町89番の一部、101番の一部)を取得
  - ・同じく不動産売買契約(平成28年12月2日)により土地(福島市八島町118番2)を処分
  - ・寄附不動産(福島市八島町116番5、117番、118番5、120番13、120番14)の受納通知書受理(平成29年2月17日 福島市)
  - ・帰属不動産(福島市八島町87番50、88番2、88番3)の受納通知書受理(平成29年3月6日 福島市)
4. 性能評価申請及び国土交通大臣認定申請
- ・一般財団法人日本建築センターに確認検査委託し、建築基準法第6条の2第1項の規定による確認済証受領(平成28年9月15日付BCJ16本建確116通知)
  - ・第一回中間検査(平成29年2月7日実施)合格
  - ・第二回中間検査(平成29年2月17日実施)合格
  - ・第三回中間検査(平成29年2月24日実施)合格
  - ・第四回中間検査(平成29年3月16日実施)合格
  - ・第五回中間検査(平成29年3月24日実施)合格
  - ・第六回中間検査(平成29年3月30日実施)合格
5. 新病院建築施工業者の選定・工事請負契約等締結
- ・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)の施工業者(空調設備工事は別途)の選定について、日本赤十字社本社により、一般競争入札の公告(平成28年3月1日、4月28日入札)を実施し、【鹿島・佐藤特定建設工事共同企業体】と覚書締結(平成28年5月31日)
  - ・工事請負契約約款、工事費内訳書、設計図、仕様書、質問回答書及び追加指示書にもとづいて、工事請負契約締結(平成28年9月28日)
  - ・平成28年10月1日着工
  - ・空調設備エネルギーサービス事業の事業者の選定について、病院側で一般競争入札の公告(平成28年5月11日、6月27日入札)を実施し、【東京都市サービス株式会社】を選定。空調設備エネルギーサービス事業委託契約締結(平成28年10月31日)
6. 移転新築工事の営繕申請
- ・日本赤十字社会計規則施行細則第65条の規定に基づき日本赤十字社社長あて営繕申請(平成28年6月2日、6月24日承認)

7. 新病院建設ワーキンググループでの検討、建設準備委員会・建設委員会の開催
  - ・新病院の実施設計の検討のため、新病院建設ワーキンググループを開催
  - ・各部門代表者を中心とした建設準備委員会を開催(開催12回)
  - ・外部委員を含めた建設委員会(委員9名)を開催(開催1回：平成28年9月14日(水))
8. 新病院建設に関する説明会の開催
  - ・新病院建設について、住民説明会(第3回)を開催(平成28年7月2日(土)、参加者40名)
  - ・新病院建設・経営改善について、職員説明会を開催(開催4回)
9. 医業経営コンサルタントとの打合せ、定例会の実施
  - ・新病院建設、経営改善についての検討のため、医業経営コンサルタント(シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社)との打合せ、定例会を実施
10. 福島県、福島市、本社、支部等関係機関との協議
11. 新病院建設に関する広報の推進
  - ・新病院建設の院内向け進捗状況報告のため、新病院建設準備室だより「ShinKenだより」の発行(32号、33号発行)、病院広報誌「日赤通り」への記事掲載
12. その他新病院建設に関する対応(報道、業者対応等)

#### <平成29年度目標>

1. 新病院移転新築工事の実施
2. 新病院移転予定地造成・道路拡幅工事(第二期工事)の実施
3. 新病院建築施工業者の選定
4. 新病院運用計画の策定
5. 新病院建設に関する手続きの実施
6. 医療機器整備計画の検討、実施
7. 現病院解体設計の計画策定
8. 福島県、福島市、本社、支部等関係機関との協議
9. 新病院建設に関する広報の推進
10. その他新病院建設に関する対応(報道、業者対応等)

## 会計課

- 【課長】 遠藤 新一(会計課長)  
 【係長】 佐藤 恵子(経理係長)  
 [主事] 大内 裕子、阿部 宣子、山名慎一郎  
 [事務員] 古川 由美、羽田恵津子

#### <平成28年度実績>

1. 平成28年度度医療施設特別会計決算報告書作成
2. 平成29年度医療施設特別会計歳入歳出予算概要書作成
3. 平成28年度収益事業決算報告書作成
4. 平成28年度消費税収支決算報告書作成
5. 平成28年度中の運転資金極度借入手続き及び本社交付書類行使報告
6. 平成28年度中の運転資金短期借入金本社承認手続き及び交付書類行使報告
7. 平成28年度各運営費補助金事業関係事務処理
  - ・福島県災害拠点病院耐震化事業補助金
  - ・福島県感染症指定医療機関運営費補助金
  - ・福島県新人看護職員研修事業費補助金
  - ・福島県産科医等確保支援事業補助金
8. 平成28年度事業委託契約に基づく事務処理
  - ・福島県看護職再就業支援研修業務

9. 平成28年度財政調整事業資金借入手続き
10. 平成28年度法律事務所委託分未収金回収額 1,890,090円
  - ・平成23年11月委託開始～平成28年度末日までの回収額 21,808,317円(回収率51.9%)

#### <平成29年度目標>

- ・平成29年度決算の医業収支黒字決算
- ・資金繰りの好転

### 医事課

【課長】 齋藤 智浩(医事課長)

【係長】 阿部 育子(診療情報管理係長)、池田 久光(医事係長兼外来係長)、  
竹田 強(病歴管理係長)、金原 昭世(入院係長)

[主事] 野地 美佳、島村 健翔、金子 瑛

[事務員] 貴島 竹代、大橋 睦子、志田 沙織、芳賀 瑞樹

[委託職員] 入院6名、外来19名、中央カルテ16名

#### <平成28年度実績>

1. 「DPC導入の影響評価にかかる調査」のデータをより正確に遅滞なく提出できた。
2. 新規施設基準取得を推進した。
3. 総合入院体制加算施設基準維持に尽力した。
4. 平成28年度診療報酬改定に関わる情報収集に努めた。
5. 5月に診療報酬改訂説明会を開催した。
6. 指導料管理料の算定件数増加を図った。
7. 病院指標を初めて公表した。
8. DPC事務局が院長表彰を受けた。

#### <平成29年度目標>

1. 適性な保険請求を実施し、査定額・返戻額の削減に努める。
2. 「DPC導入の影響調査評価にかかる調査」のデータをより正確に遅滞なく提出する。
3. 診療報酬請求額の適切な請求に努める。
4. 次期診療報酬改定の情報収集を行い、滞りなく算定できるよう準備を行う。
5. スムーズな外来電子カルテの導入
6. 患者様の満足を得られる接遇
7. 一人一人が医事課職員として基本スキルを身につける。(接遇力、情報収集力、知識力)

### 用度施設課

【課長】 東 一豊(用度施設課長)

【係長】 高橋 敏夫(電気係長)

[主事] 佐藤 恵美子、渡辺 源貴

[技術員] 濱名 正美(施設)、加藤 仁義(電気)

[派遣職員(電話交換)] 門馬 幸代、紺野 朋子

[委託職員(ボイラー)] 仲野 明夫、田辺 勇、寺島 勲、佐藤 謙太、安西 正雄

#### <平成28年度実績>

1. 省エネルギー推進により前年度比で重油使用量約3%、水道使用量約6%、ガス使用量約7%削減
2. 感染性廃棄物の適正分別啓発等により前年度比で排出量約6%削減

3. 感染性廃棄物運搬契約業者の一部変更により、感染性廃棄物用段ボール購入費前年度比約250万円削減
4. 診療材料購入価格交渉により前年度比約5,000万円の削減
5. 電気設備安全維持のため定期点検実施、及び本館用直流電源装置、本館用受変電設備電圧計・電流計・表示灯設備、MRI用分電盤整備実施
6. 電子マニフェストの一部導入
7. 新病院建設準備室と連携を図り新病院の施設設備安全維持・低コスト建設推進

#### <平成29年度目標>

1. 長時間使用照明のLED化等、省エネルギー推進によるエネルギー使用量、水道使用量の前年度比1%削減
2. 感染性廃棄物排出量前年度比1%削減
3. 診療材料費の前年度比1%削減
4. 医薬品費の3施設共同見積り合せによる前年度比1%削減
5. 新電力会社への契約電力単価値下げ交渉による前年度比1%削減
6. 新病院建設準備室と連携を図り新病院の施設設備安全保持・低コスト建設推進
7. エネルギー施設設備の無事故運転維持管理推進及び建物設備の適宜修理と迅速対応
8. 電気設備安全維持のため定期点検、本館非常用回路点検及び本館用非常用発電機、中庭受変電設備パネルメーター類の整備実施

## 27. 医療安全推進室

【室長】 今野 修(副院長)

【管理者】 阿部 美幸(看護師長)

### 医療安全関係

#### <平成28年度実績>

##### 1. 研修会 ※研修会2回以上の参加者79%(前年度80%)

実施月日	対象者	テーマ	参加人数
4月4日	新採用職員	医療安全について	40名
5月30日 5月31日 6月2日 6月3日	全職員	①赤十字医療施設で取り組む医療安全 ②平成27年度のヒヤリハット・アクシデント報告のまとめと安全対策 ③医療安全推進室の活動計画	517名
6月7日 6月8日	看護補助者	①看護補助者の業務範囲 ②個人情報と守秘義務 ③ヒヤリハット報告について ④危険予知トレーニング(演習)	33名
6月23日	新採用看護師	医療安全フォローアップ研修 ・転倒・転落防止対策 ・KYT ・SBAR ・与薬 ・放射線関係の検査に関する医療安全 ・輸血に関する医療安全 ・医薬品に関する医療安全 ・医療機器に関する医療安	16名
7月8日	全職員 連携病院のスタッフ	認知症の人とのコミュニケーション	院内152名 院外6名
8月4日	全職員 連携病院のスタッフ	患者取り違え	123名
8月31日	全職員 連携病院のスタッフ	吉本新喜劇から学ぶ最強の医療コミュニケーション 「なんでやねん力」	院内176名 院外11名
9月8日	医療職	医薬品と医療安全①「麻薬と危険薬」 医療機器と医療安全①「輸液ポンプとシリンジポンプ」	75名
10月7日	医療職	医薬品と医療安全②「ヒヤリハット事例から学ぶ」 医療機器と医療安全②「人工呼吸器」	43名
12月7日	全職員	①医療安全推進担当者の役割 ②KYT	45名
12月27日 ・28日	栄養課職員	医療安全研修①	25名
1月30日 ・31日	栄養課職員	医療安全研修②	25名

## 2. QCサークル活動

実施月日	項目
6月1日	QCサークル活動キックオフ
7月31日	活動計画書提出(21サークル)
10月31日	中間報告書提出(21サークル)
12月28日	発表USB提出(発表会参加19サークル)
1月12日	QCサークル活動発表会① 9部署(サークル)
1月13日	QCサークル活動発表会② 10部署(サークル)

## 3. 医療安全対策および医療安全推進室の活動

実施月	項目	対策等の活動内容
通年	医療安全推進室メンバーによる安全ラウンド	医療安全ラウンド、医薬品安全ラウンド、医療機器安全ラウンドの年間計画書を作成し、ラウンドを実施する。
通年	医療安全研修について	参加率向上のため、4月に1年間の研修計画を配布、また職種別研修を行い、全職員年2回以上の研修参加を促す。
4月	医療安全推進委員会ワーキンググループ活動開始	①患者誤認防止対策チーム ②転倒転落防止対策チーム ③薬剤管理安全対策チーム 医療安全推進室メンバーがリーダーとなり3チームで活動開始
4月	ビグアライド経口糖尿病薬一覧表作成	造影検査時のビグアライド経口糖尿病薬注意喚起のため各科外来・病棟に薬剤写真つきの一覧表配布
8月	死亡患者一覧表修正	6月24日付医療法改正(医療事故調査制度)に伴い、死亡患者一覧表に院長確認欄を設け、室長検証後院長に提出し確認・承認を得るよう修正
8月	血管外漏出に注意すべき薬剤(抗がん剤以外)施行時看護記録マニュアル作成	血管外漏出に注意すべき薬剤(抗がん剤以外)施行時看護記録マニュアル作成し、看護記録マニュアルに追加
11月	ダブルチェック方法DVD作成しオーダーリング登録	医療安全リンクナース会と協力してダブルチェックの動画を撮影しDVDを作成
12月	患者誤認防止ポスター修正	医療安全推進委員会ワーキンググループで実施
1月	転倒防止対策としてポータブルトイレ入れ替え	背もたれ・手すりのないポータブルトイレを回収し、ベッドパンウォッシャー対応の背もたれ・手すりあり、高さ調節可能なポータブルトイレに変更
2月	経管栄養チューブ位置確認方法統一	経管栄養チューブ挿入時の位置確認方法として気泡音の確認のみでなく、レントゲン撮影またはPHチェッカーによる確認を実施することとし医療安全マニュアルに明記
3月	義歯紛失予防対策立案	義歯紛失予防対策として、義歯チェック表を作成し全病棟で使用 アメニティの義歯ケースを白色から水色に変更

### <平成29年度目標>

#### 1. 医療安全ラウンドの実施

院内各部署の現状を把握することにより、問題点の抽出や安全対策の立案につなげる。

- 1) 年間ラウンド計画を作成し、院内各部署のラウンドを実施する。
- 2) ラウンド結果は各部署にフィードバックし必要時改善計画書の提出を求める。
- 3) ラウンド結果はカンファレンスや会議で報告し、医療安全ニュース等で院内に周知する。

## 2. 医療安全研修会の参加率向上

- 1) 医療安全研修会参加率85%以上、欠席者レポート提出率100%をめざす。
- 2) 多職種混合によるグループワーク研修等の参加型研修を取り入れ、学習意欲を促進する。
- 3) 時間内研修会や感染研修とのコラボ研修会を企画し、半日勤務者等が参加しやすいような工夫をする。
3. QCサークル活動の促進と発表会の開催
4. 医療安全推進担当者の要因分析能力向上
5. ヒヤリハット・アクシデント報告書様式の統一
6. 内服薬自己管理基準の修正と確実な使用
7. 閉鎖式輸液セットの変更

## 感染関係

### <平成28年度実績>

#### 1. 研修会開催

実施月日	対象者		テーマ	参加人数
4月6日(水)	新人入職者(医師 看護師、薬剤師、 事務等)		感染管理の基本 ～標準予防策～	37名
5月18日(水) 24日(火)	全職員	第1回	平成27年度感染対策活動報告	403名
6月9日(木) 10日(金)	看護師 (ラダーⅠ～Ⅱ相当) 看護補助者	第2回	感染管理ベストプラクティス 振り返り ～おむつ交換～	106名
8月23日(火)	医療職種職員	第3回	再確認！耐性菌対策	144名
8月26日(金)	医療職種職員	第4回	抗菌薬の適正使用について	111名
9月12日(月) 13日(火)	看護補助者 (コムネット含む)	第5回	環境整備と感染管理	76名
9月12日(月)	看護師 (ラダーⅡ相当以上)	第6回	医療関連感染 「カテーテル関連尿路感染」	40名
11月18日(金)	全職員	臨時	武蔵野赤十字病院の感染対策	148名 (院外参加者 5名含む)
12月2日(金) 12日(月)	全職員	第7回	季節性の感染症を中心に	191名 (院外参加者 12名含む)
12月27日(火) 28日(水)	栄養課職員	臨時	感染性胃腸炎について	26名
1月30日(月) 31日(火)	栄養課職員	臨時	季節性インフルエンザについて	25名

#### 2. 感染対策(感染管理室およびICTの活動)

実施月	項目	対策などの活動内容
通年	感染対策マニュアルの改訂	3項目改訂 ・「集中治療室ハイケアユニット」改訂 ・「染対策指針」改訂(感染管理室を明記) ・「血液培養検体の採取法」の改訂
通年	耐性菌サーベイランス	JANIS(全入院患者部門、検査部門)
通年	感染対策ニュースの発行	感染対策ニュース12回発行 お知らせ8件

通年	ICTラウンド	64回 目的別ラウンドを実施 (抗菌薬・耐性菌・環境ラウンドなど)
通年	感染研修の実施	感染研修一覧参照
通年	職業感染防止(ワクチン接種)	HBVワクチン、麻疹・風疹・水痘・ムンプス、インフルエンザ
通年	合同カンファレンス	4回開催(わたり病院、第一病院)
通年	相互評価	2回開催(藤田病院)
通年	結核接触者調査	結核届出数11件 職員の接触者調査対象者13名、患者の対象者なし
通年	院内感染対策事例対応	18件
9月	感染対策物品の見直し、導入	クロルヘキシジンエタノール1%綿棒製剤の導入
11月		呼吸器関連物品の洗浄、消毒中央化への取り組み デモ部署の開始(救急センター、1の4病棟開始)
12月		経管栄養等浸漬消毒時の洗濯ネットを使用
1月		呼吸器関連物品の中央化デモ病棟(3の4)追加
12月	感染対策周知方法の見直し	「院内感染対策委員会報告」用紙を配布し確認チェックを開始
H29 3月	耐性菌等検出患者バイタルサ イン測定用物品収納ケース導 入	

#### <平成29年度目標>

1. 感染対策加算に係る合同カンファレンス、相互ラウンドの実施
2. ICT活動を通じて感染対策の充実を図る。
  - 1) ICT会議、ラウンドを週1回開催する。
    - (1)耐性菌サーベイランスのフィードバック方法を見直し オーダリングの活用
    - (2)広域抗菌薬投与患者一覧を活用した抗菌薬ラウンド結果をもとにした教育
    - (3)接触予防策ラウンド等の指導項目が改善される
    - (4)手術部位感染(SSI)サーベイランスを開始し、関連部門へのフィードバックができる
3. 感染研修を実施、評価する
  - 1)参加率80%以上を目標とし、職種別研修や看護部ではラダーのレベル別研修を行うことで参加者の知識や認知度に沿った内容の研修を企画し実施する。

## 28. 付帯施設

### 訪問看護ステーション

【所長】 佐藤 利恵(訪問看護ステーション所長 兼 看護係長)

【看護師】 高橋美千代、中村 広子、岸 美弥子

【保健師】 安田みどり

#### <平成28年度活動実績>

平成28年度は、事業収入が昨年度より2.9%増加した。

新規利用者は減っているが、訪問回数が増えた結果である。利用者が安定し、自宅療養が出来た結果、訪問終了する利用者が減少し、訪問件数も増加したと分析できる。

利用者層は、年々変化してきている。介護度が低く自立できている高齢な利用者や、認知症でも生活は自立している利用者が着実に増えている。これらの利用者の場合、介護プランは生活介護が優先され、医療的管理は二の次になってしまう。つまり、緊急時対応や安否確認などを期待

する利用形態が増えている。結果、訪問時間が短い訪問や訪問回数が月1～2回という、単価の低い訪問が全体の30%（平成21年度は10%未満だった）にまで増えている。したがって、訪問一件あたりの平均単価が年々減少し続けているのである。

しかし、これらの背景、地域の特性は、変えることのできない事実である。その時代の流れを上手くとらえ、今後求められる訪看の役割を探していかなければならないと感じている。

（訪問実績）

	平成27年度	平成28年度	対前年増減
年間利用者月平均	63.4名	71.8名	+8.4名
ひと月あたりの平均訪問件数	339件	359件	+20件
年間新規利用者数	47名	43名	-4名
年間在宅看取り人数	16名	11名	-5名
訪問1件あたり平均単価	9,564円	9,243円	-321円
年間事業収入	38,937,000円	40,075,680円	+1,138,680円

\*新規利用者の4割は、母体病院からの紹介

#### <平成29年度の目標>

- ・連携する医院・病院の開拓を行う。
- ・訪問看護の活動を、院内・外でアピールし、利用者確保につなげる。
- ・訪問看護の質の標準化のために、院内外研修参加、所内勉強会やケースカンファレンス開催など積極的に行う。

### 指定居宅介護支援事業所

【所長】 高野シク子(指定居宅介護支援事業所長 兼 看護係長)

【介護支援専門員】 土崎 元子、丸山奈緒美

#### <平成28年度実績>

ケアプラン総数：926件(1ヶ月平均：77.1件) 目標総数：1,080件(90件/月)

新規ケアプラン総数：20件(1ヶ月平均：1.6件) 目標総数：30件(2.5件/月)

認定調査総数：191件(1ヶ月平均：15.9件)

介護相談のみ：10件

介護保険法に従い、特定事業所として、「医療依存度の高い利用者様」はじめ、個別的介護の悩みに応じた丁寧な相談、解決策、適切な情報提供など行った。利用者様、家族様が安心とゆとりを持った療養生活や在宅介護ができるように支援してきた。また、当事業所のスタッフの移動もなく、三人体制で利用者様への支援が継続できた。

前年度に比べてケアプラン件数は14人減、新規利用件数については、8人減となった。認定調査件数については、13人増であった。内容についてみますと

\*医療依存度の高い利用者様が多く入退院を繰り返す。その後、自宅での看取り、病院にて死亡(13人)、また、独居の方で「認知症」のある方が多く、高齢となり在宅生活に限界が出てきて施設入所された(3人)、子供さんの近くに転居された(1人)、要支援となり居宅の変更、利用者様の希望にて変更(3人)

\*居宅介護支援事業所が年々増加しており、また、グループホーム、サービス付高齢者施設、小規模多機能居宅介護支援事業所等には、専属のケアマネが滞在しているため入所時、担当のケアマネが変更となる。

以上の事から、新規ケアプランの依頼、長期支援継続が難しい状況となり、ケアプラン件数が減少した。今後も新規ケアプランの獲得が大きな課題である。

### <平成29年度の目標>

1. 医療報酬改正情報の理解、医療、介護連携調整事業「退院調整ルール策定」ITによる福島地域医療福祉情報ネットワーク整備事業、「福来たネット」「総合事業」の研修等に積極的に参加して多職種連携を図る。特に、当病院と訪問看護、居宅介護支援事業所がスムーズに連携が図れ、「在宅から入院、退院から在宅」までの包括的支援を積極的に対応していく。
2. 新規ケアプラン受け入れのために積極的に働きかける。  
地域包括支援センター、院内併設の医療社会事業部、訪問看護ステーション、医療社会相談室などへの関係づくり、情報交換のために定期的な訪問をして働きかける。



# V

## 会議・委員会活動

1. 幹部会議	105	21. 院内感染対策委員会	118
2. 管理会議	106	22. 医師・看護師負担軽減対策委員会	120
3. 業務連絡会議	107	23. クリニカルパス委員会	121
4. 倫理委員会	108	24. 輸血療法委員会	121
5. 治験審査委員会	108	25. 臨床検査適正化委員会	121
6. 医療機械整備委員会	108	26. 診療情報管理委員会	122
7. 栄養管理委員会	108	27. DPC委員会	123
8. 診療材料購入等審議委員会	109	28. 手術室運営委員会	124
9. 災害対策委員会	110	29. 救急センター運営委員会	124
10. 医療情報システム検討委員会	110	30. ハイケアユニット運営委員会	124
11. 地域医療連携運営委員会	111	31. NST委員会	125
12. 病床管理委員会	112	32. 化学療法検討委員会	125
13. 診療報酬適正化委員会	112	33. 緩和ケア委員会	126
14. 薬事委員会	113	34. 褥瘡対策委員会	127
15. 顧客サービス・広報委員会	113	35. 医師臨床研修管理委員会	128
16. 個人情報保護委員会	114	36. 医師臨床研修プログラム委員会	128
17. 省エネルギー推進委員会	115	37. 図書委員会	128
18. 医療安全管理委員会	116	38. 安全衛生委員会	129
19. 医療事故調査委員会	117	39. 医療ガス安全管理委員会	130
20. 医療安全推進委員会	117		





# 1. 会議

1. 幹部会議	
目 的	本院における経営方針及び業務の運営・管理に関する重要事項を審議する。
第1回	平成28年4月26日(火)(拡大幹部会議)
	1. 組織の改定変更について 2. 3月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設進捗状況 4. 熊本地震災害救護対応 5. 副院長、院長補佐報告
第2回	平成28年5月31日(火)
	1. 認定看護師研修派遣について 2. 平成28年度職員採用計画について 3. 平成27年度決算概要 4. 4月分収支状況、主要計数 5. 新病院建設進捗状況 6. 新病院における資金計画
第3回	平成28年6月28日(火)(拡大幹部会議)
	1. 新病院イメージカラーについて 2. 組織の変更について 3. 5月分収支状況、主要計数 4. 新病院建設関連進捗 5. 副院長、院長補佐報告
第4回	平成28年7月26日(火)
	1. 平成28年度職員採用計画について 2. 6月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設関連進捗 4. 日本赤十字社健康保険組合の設立準備状況
第5回	平成28年8月30日(火)(拡大幹部会議)
	1. 外来診療(予約)体制の課題と待ち時間対策について 2. 7月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設関連進捗 4. 新たな緊急被ばく医療体制について 5. 医療機関別救急搬送状況 6. 新病院建設着工に伴う職員駐車場の変更 7. 病院駐車場管理業務契約更新に伴う利便性の改善 8. 副院長、院長補佐報告
第6回	平成28年9月27日(火)
	1. 8月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設関連進捗
第7回	平成28年10月25日(火)(拡大幹部会議)
	1. 9月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設関連進捗 3. 空調ESPについて 4. 副院長、院長補佐報告 5. 栄養課設備ニュークックチルについて
第8回	平成28年11月28日(月)
	1. 10月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設関連進捗 3. 特殊診断料配分方針 4. 新病院における栄養課設備について
第9回	平成28年12月27日(火)(拡大幹部会議)
	1. 栄養課設備ニュークックチル導入について 2. 11月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設関連進捗 4. 平成29年度採用職員内定状況 5. 副院長、院長補佐報告 6. 東北厚生局による施設基準等にかかる適時検査実施について
第10回	平成29年1月30日(月)
	1. 新病院1階総合図変更採否について 2. 今野副院長後任人事および所掌業務について 3. 12月分収支状況、主要計数 4. 新病院建設関連進捗
第11回	平成29年2月27日(月)(拡大幹部会議)
	1. 1月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設関連進捗 3. 平成29年度幹部体制について人事情報 4. 副院長、院長補佐報告
第12回	平成29年3月28日(火)
	1. 精神科病床の休止時期について 2. 2月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設関連進捗

2. 管理会議	
目 的	本院の管理及び運営に関する事項を審議する。
第1回	平成28年4月8日(金)
	1. 月次報告(2月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 医療事業にかかる本部制の導入について 4. 病院組織の変更について
第2回	平成28年5月2日(月)
	1. 月次報告(3月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 平成28年熊本地震災害に伴う熊本赤十字病院への病院支援要員(医師・看護師・事務)派遣状況 及び救護班派遣状況について 4. 病院組織の変更について 5. 医療機関別係数(DPC係数)について
第3回	平成28年6月1日(水)
	1. 月次報告(4月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況
第4回	平成28年7月4日(月)
	1. 月次報告(5月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 新病院移転資金計画および収支計画
第5回	平成28年8月1日(月)
	1. 月次報告(6月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 経営改善のためのお願い
第6回	平成28年9月2日(金)
	1. 月次報告(7月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 病院駐車場整理業務請負契約更新に伴う利便性の改善について
第7回	平成28年10月3日(月)
	1. 月次報告(8月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. ヒアリングについて 4. 病棟クラーク導入について 5. 保健所立入検査の日程について 6. 病院指標の公表について
第8回	平成28年11月1日(火)
	1. 月次報告(9月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 病院医学図書(和洋雑誌)の年間購読に関するお知らせとお願い
第9回	平成28年12月1日(木)
	1. 月次報告(10月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況
第10回	平成29年1月6日(金)
	1. 月次報告(11月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 東北厚生局施設基準等にかかる適時調査の実施について
第11回	平成29年2月1日(水)
	1. 月次報告(12月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 退院サマリー作成率について 4. 研修医カルテ承認状況について
第12回	平成29年3月1日(水)
	1. 月次報告(1月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 平成29年度幹部体制について 4. 人事異動情報

3. 業務連絡会議	
目 的	本院の業務の適正及び円滑な運営を図る。
第1回	平成28年4月14日(木)
	1. 特例病床運用状況 2. 新年度を迎えて 3. 救急車収容集計、重症度・医療・看護必要度について 4. エレベーター点検について 5. 3月の当日診療、入院依頼数、不応需内訳について 6. 健診等実績等について
第2回	平成28年5月10日(火)
	1. 赤十字月間における社費協力のお願ひ 2. 日赤医学会申込みについて 3. 赤十字運動月間・看護の日イベントについて 4. 停電時の配膳時間変更について
第3回	平成28年6月14日(火)
	1. 参議院選挙に係る院内不在者投票について 2. 福利厚生事業について 3. 献血車来院について 4. 全日空からすずらん贈呈について 5. 熊本地震派遣員報告会について
第4回	平成28年7月12日(火)
	1. 情報ツールの運用開始について 2. 新病院の外壁等について
第5回	平成28年8月9日(火)
	1. 職員説明会結果について 2. 県総合防災訓練派遣について 3. 平成28年度赤十字医療施設東北ブロック看護師長交流研修について 4. ふれあいまつり開催について
第6回	平成28年9月13日(火)
	1. 日赤健康保険組合設立について 2. 出退勤時の事故等発生時の対応について 3. 看護補助者「病棟クラーク」導入について 4. 実習生受入について
第7回	平成28年10月11日(火)
	1. 日本赤十字社健康保険組合設立連絡について 2. 保険証変更について
第8回	平成28年11月8日(火)
	1. 給与改定および差額支給について 2. NHK海外たすけあい活動について 3. 年末調整申告について 4. キビタン健康ネット導入について 5. 移転新築計画進捗状況について 6. 県立医大学生の実習受入について
第9回	平成28年12月13日(火)
	1. 厚生局の適時調査結果について 2. コンピューターウイルスについて注意喚起 3. 玄関ホールコンサートについて 4. 救護員主事研修・こころのケア研修について
第10回	平成29年1月10日(火)
	1. 新病院の住所および郵便番号について 2. ナースコール点検について エレベーター点検実施について 3. 看護職員第Ⅱ期ローテーション研修実施について
第11回	平成29年2月14日(火)
	1. 東日本大震災ピンバッチ配付のお知らせ 2. インターン実習生受入について
第12回	平成29年3月14日(火)
	1. 事務系組織改編について 2. 病室モックアップについて 3. 新病院売店運営業者選定について 4. 健診受付時間変更について 5. 新年度新人採用について 6. 看護職員ユニホームデザイン変更について

## 2. 病院運営に関する委員会

4. 倫理委員会	
目 的	本院及びその職員が人間を直接対象とした医学の研究(ヒトゲノム、遺伝子解析研究を含む。)及び医療行為を行う場合において、医の倫理に関するヘルシンキ宣言(1964年)の趣旨に添った倫理的配慮を図る。
委員 長 副委員 長	宮田 昌之(副院長) 今野 修(副院長)
第1回	平成28年6月16日(木)
1. 審査事項①「腹部大動脈瘤エコースクリーニングの有効性に関する検討」 2. 審査事項②「非アルコール性脂肪肝疾患(NAFLD)における睡眠の影響の解析」 3. 審査事項③「治療内視鏡におけるプロポフォール投与による鎮静の有効性と安全性に関する検討」 4. 審査事項④「福島赤十字病院における精神科コンサルテーション・リエゾン活動についての検討」	

5. 治験審査委員会	
目 的	厚生省令第28号(平成9年3月27日)、薬事法第430号(平成9年3月27日)並びにGCPに関連する通知等に基づき定められた本院治験審査委員会標準業務手順書に則り、治験審査を行う。
委員 長 副委員 長	宮田 昌之(副院長) 今野 修(副院長)

6. 医療機械整備委員会	
目 的	本院の適正な医療機械整備に関し、院長の諮問に答えるものとし、病院財政を充分考慮し整備する。
委員 長 副委員 長	渡部 洋一(院長) 寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 院長補佐)

7. 栄養管理委員会	
目 的	本院の給食計画及び給食全般の改善実施について、検討並びに院長の諮問に応える。
委員 長 副委員 長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 院長補佐) 郡司 崇志(第2外科部長)
第1回	平成28年4月19日(火)
1. 栄養管理委員会委員変更について 2. 外来栄養指導件数UPに向けての新たな取り組み 1) 糖尿病インスリン療法患者への指導の実施 2) 退院時栄養指導した患者の外来での継続栄養指導実施 3. 嚥下食内容見直しについて	
第2回	平成28年6月21日(火)
1. 祝膳メニュー改定、試食会	
第3回	平成28年8月16日(火)
1. 平成27年度個食対応件数	

第4回	平成28年10月18日(火)
1. 嗜好調査結果報告	
第5回	平成28年12月20日(火)
1. 保健所監査報告	
第6回	平成29年2月21日(火)
1. 厚生局監査報告 2. パン食量の設定について 3. 小児食の設定変更について	

8. 診療材料購入等審議委員会	
目的	健全な業務運営に資することを目的とし、本院において使用する診療材料の購入、使用及び管理等の適正化を図る。
委員長 副委員長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 院長補佐) 寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 院長補佐)
第1回	平成28年5月27日(金)
1. 診療材料の新規採用について(麻酔セット・消毒綿棒・ドレッシング材) 2. 診療材料の変更について(輸液セット・血糖測定器) 3. 医療消耗器具備品の新規採用について(沈渣スピッツ)	
第2回	平成28年7月22日(金)
1. 診療材料の新規採用について(腰部固定帯・CVポート) 2. 診療材料の変更について(血液反応板・吸引チップ) 3. 医療消耗器具備品の新規採用について(検体用スポイト) 4. 医療消耗器具備品の増設について(カフ圧計)	
第3回	平成28年9月27日(火)
1. 診療材料の新規採用について(排液バッグ・標本撮影シート) 2. 診療材料の変更について(血ガスキット) 3. 医療消耗器具備品の変更について(ケトン体測定器)	
第4回	平成28年12月9日(金)
1. 診療材料の新規採用について(滅菌済綿球・携帯型陰圧閉鎖療法システム) 2. 診療材料の製品切替提案(検診用ロールシート) 3. 医療消耗器具備品の新規採用について(クレアチニン分析装置) 4. 医療消耗器具備品の増設について(血栓予防装置)	
第5回	平成29年2月24日(金)
1. 診療材料の新規採用について(内視鏡用感染防止シース・検体用スポイト・経鼻カテーテル用延長チューブ)	

9. 災害対策委員会	
目 的	災害発生時における医療救護及び被害の拡大防止・災害復旧並びに災害・火災から職員、患者の生命、身体及び施設等を守るため、災害・防火対策に関する必要な事項を定める。
委員 長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	市川 剛(第2脳神経外科部長)
第1回	平成28年6月3日(金)
	1. 3月院内災害救護訓練反省 2. 今年度災害訓練：研修予定 3. 今年度常備班・登録救護員 4. 7月16日(土)支部合同訓練 5. 熊本地震対応 6. 編み上げ靴リニューアル
第2回	平成28年11月18日(金)
	1. 救護班参加状況 2. DMAT訓練参加状況 3. 救護研修について 4. これからの予定(研修、訓練) 5. 救護倉庫の整備 6. 原子力災害地域拠点病院申請について
第3回	平成28年12月21日(水)
	1. 第7回院内災害訓練打合せ
第4回	平成29年2月10日(金)
	1. 第7回院内災害訓練打合せ

10. 医療情報システム検討委員会	
目 的	病院の医療情報の一元化を図り、総合的な医療情報システムの確立、段階的に診療システム導入としてオーダーリングシステム、電子カルテシステム、診療支援システムの構築など将来的なシステムに関する事項を調査検討して、導入の可能性の有無及び導入時期・システム規模等について審議する。
委員 長	宮田 昌之(副院長)
副委員長	松本 修(企画課長)
第1回	平成28年4月13日(水)
	1. 運用上の問題点について 2. 平成28年度の医療情報システム更新計画 3. オーダーリング端末増設の検討 4. 富士通フォローアップ研修予定 5. キビタン健康ネットの病院見学予定 6. レベルアップ・診療報酬改定に伴うシステム停止のお知らせ
第2回	平成28年5月11日(水)
	1. 運用上の問題点について 2. 放射線オーダ画面の感染症の表示案 3. 薬剤総合評価調整管理料・加算算定について 4. 富士通フォローアップ研修報告 5. キビタン健康ネットの病院見学のご報告 6. 定期停電による医療情報システム停止のお知らせ
第3回	平成28年6月8日(水)
	1. 運用上の問題点について 2. オーダーリング上の同姓同名表示について 3. 患者掲示板の活用について 4. 注射オーダWGの進捗状況 5. キビタンネットの情報公開範囲の検討について 6. 停電作業時のハード故障対応の報告
第4回	平成28年7月6日(水)
	1. 運用上の問題点について 2. システム参照ログについて 3. 同姓同名表示対応のリリース報告 4. 動画系サーバ更新の進捗状況報告 5. 注射オーダWGにおける決定事項 6. オーダーリング端末増設について

第5回	平成28年8月3日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 入院臨時処方オーダーロックのタイミングについて 3. キビタン健康ネットの公開開始について 4. 診療情報の抽出及び2次利用における運用について 5. 疑義照会等のシステム記載について	
第6回	平成28年9月7日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 病名選択の自科・全科の設定について 3. 院内他科紹介機能について 4. カウンターサイン機能について 5. 動画系サーバの更新進捗について 6. 文書管理システム導入の検討	
第7回	平成28年10月5日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 日未定の便検査の入力について 3. ナビゲータ「検体検査のみ」の表示について 4. システム上の職種の見直しについて 5. 注射・レジメンオーダー運用説明 6. 定期停電による医療情報システム停止のお知らせ	
第8回	平成28年11月9日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 再診予約画面の自動選択ボタンについて 3. 注射・レジメンオーダーの運用課題 4. カウンターサイン機能の運用課題	
第9回	平成28年12月14日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 再診予約画面の自動選択ボタンについて 3. ワクチン接種歴のプロファイル登録について 4. 今後の医療情報システム更新スケジュールの検討について 5. グループウェアの導入について	
第10回	平成29年2月8日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 抗がん剤注射の日付変更について 3. 動画系サーバに伴うお知らせ 4. 文書オーダーへの医療機関検索機能追加について 5. グループウェア「マイページ」の機能紹介 6. 新病院におけるシステム選定の方針について	
第11回	平成29年3月1日(水)
1. 運用上の問題点について 2. プロファイルへの感染症項目追加について 3. 動画系サーバに伴うお知らせ 4. 外来電子カルテ運用への切替スケジュール 5. 新病院におけるシステム導入に関するアンケート	

11. 地域医療連携運営委員会	
目 的	本院と地域の医療機関が診療に関して緊密な連携を図ることにより、地域医療により良い環境を整える。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	田畑 友子(医療社会事業課長 兼 院長補佐)
第1回	平成28年5月16日(月)
1. 平成28年度地域医療連携運営委員会委員の変更について 2. 4月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 3. キビタン健康ネット 星総合病院見学報告について 4. 平成27年度実績報告について	
第2回	平成28年6月8日(水)
1. 5月の不応需状況について 2. キビタン健康ネットの運用について 3. 平成28年度福島赤十字病院地域連携懇話会について	

第3回	平成28年9月9日(金)
1. 6月～8月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 登録医・共同利用の新規契約について 3. キビタン健康ネットについて 4. 医療機関への情報提供の際の依頼様式について 5. 平成28年度福島赤十字病院地域医療連携懇話会について	
第4回	平成28年10月19日(水)
1. 8・9月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 共同利用の新規契約について 3. 平成28年度福島赤十字病院地域医療連携懇話会について	
第5回	平成28年11月16日(水)
1. 10月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 平成28年度福島赤十字病院地域医療連携懇話会について 3. 共同利用の伝票について	
第6回	平成29年3月13日(月)
1. 11月～2月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 紹介患者の診療予約に関するアンケートの結果について 3. 退院支援に関する実績について	

12. 病床管理委員会	
目 的	各病棟間との連絡調整を行いながら、運営上の諸問題について協議するとともに、病床管理の円滑な運営により、病床全体の効率的運用を図る。
委員 長	大和田尊之(第1循環器科部長 兼 院長補佐)
副委員長	渡邊 知子(看護副部長)

13. 診療報酬適正化委員会	
目 的	本院における適正算定及び査定防止を図る。
委員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 院長補佐)
副委員長	大河内幸男(耳鼻咽喉科部長)
第1回	平成28年4月27日(水)
1. 平成27年12月、平成28年1月診療分保険査定について 2. その他	
第2回	平成28年6月22日(水)
1. 平成28年2月、平成28年3月診療分保険査定について 2. その他	
第3回	平成28年8月24日(水)
1. 平成28年4月、平成28年5月診療分保険査定について 2. その他	
第4回	平成28年10月26日(水)
1. 平成28年6月、平成28年7月診療分保険査定について 2. その他	
第5回	平成28年12月21日(水)
1. 平成28年8月、平成28年9月診療分保険査定について 2. その他	
第6回	平成29年2月22日(水)
1. 平成28年10月、平成28年11月診療分保険査定について 2. その他	

14. 薬事委員会	
目 的	院長の諮問に応じ、本院にて使用される医薬品の選定について調査し、かつ、医薬品の効率的、合理的な運用調整を図り、病院の健全な業務運営に資する。
委 員 長 副委員長	我妻 禎(薬剤部長) 黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)
第1回	平成28年4月11日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品への変更検討
第2回	平成28年5月9日(月)
1. 報告事項	2. 後発品への変更 3. 使用歴の少ない薬剤を削除 4. 漢方をツムラに変更
第3回	平成28年6月7日(火)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. その他
第4回	平成28年7月4日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品へ変更
第5回	平成28年8月2日(火)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品へ変更 5. その他
第6回	平成28年9月5日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. 後発品へ変更
第7回	平成28年10月4日(火)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. その他
第8回	平成28年11月7日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. その他
第9回	平成28年12月6日(火)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. ジェネリックへ変更 5. 採用品変更
第10回	平成29年2月7日(火)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. ジェネリックへ変更
第11回	平成29年3月6日(月)
1. 報告事項	2. 新規採用 3. 削除品 4. ジェネリック品のメーカー変更 5. 院外処方疑義照会簡略化プロトコールと院内疑義照会代行プロトコールの提案

15. 顧客サービス・広報委員会	
目 的	療養環境・職場環境・接遇の改善等により、顧客(患者)の満足度を向上させ、顧客(患者)を意識した正確な情報発信を検討する。
委 員 長 副委員長	今野 修(副院長) 安藤 精一(血管外科部長)
第1回	平成28年4月22日(金)
1. 今年度の委員会	・ 広報としての役割 ・ 顧客サービスとしての役割
2. その他	
第2回	平成28年5月27日(金)
1. 今月の動き	2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について
4. Facebookについて	

第3回	平成28年6月24日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. 接遇改善目的のアンケートの実施について	
第4回	平成28年7月29日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. 接遇改善職員アンケートについて 5. ふれあいまつりの開催について	
第5回	平成28年8月26日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. ふれあいまつりに関して	
第6回	平成28年9月30日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. ふれあいまつりに関して 4. Facebookについて	
第7回	平成28年10月28日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. ふれあいまつりに関して 5. Facebookについて	
第8回	平成28年11月25日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. ふれあいまつりの開催報告	
第9回	平成28年12月16日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 患者満足度調査について 4. Facebookについて	
第10回	平成29年1月27日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 患者満足度調査について 4. Facebookについて 5. 敷地内禁煙に対する周知啓発について	
第11回	平成29年2月24日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 患者満足度調査について 4. Facebookについて	
第12回	平成29年3月24日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 患者満足度調査の実施報告 4. Facebookについて 5. 来年度の委員について	

16. 個人情報保護委員会	
目 的	本院及びその附帯施設における個人情報保護法への適切な対応について「個人情報管理規程」に沿って審議する。
委 員 長	緑川 茂樹(事務部長)
副委員長	今野 修(副院長)

17. 省エネルギー推進委員会	
目 的	本院の省エネルギー活動を効果的に促進することを目的として、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に適合したエネルギー管理方針を定め運用する。
委 員 長 副委員長	宮田 昌之(副院長) 緑川 茂樹(事務部長)
第 1 回	平成28年 5月27日(金)
	1. 昨年度のエネルギー使用量について 2. 今年度の目標について 3. 省エネパトロールについて 4. 省エネ診断について
第 2 回	平成28年 7月29日(金)
	1. 5月、6月のエネルギー使用量について 2. エネルギー使用量推移について 3. 啓蒙、啓発活動について
第 3 回	平成28年12月 5日(月)
	1. 今年度(7月～11月)のエネルギー使用量について 2. 冬季空調管理規定、電気機器管理規定について 3. ウォームビズのお願い 4. 省エネパトロール(結果)について
第 4 回	平成29年 2月 7日(火)
	1. 今年度(11月～1月)のエネルギー使用量について 2. 省エネパトロール(結果)について 3. 啓蒙、啓発活動について



### 3. 医療安全管理に関する委員会

18. 医療安全管理委員会	
目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	今野 修(副院長)
第1回	平成28年4月20日(水)
	1. アクシデント事例3事例検討 2. 「医薬品の安全使用のための業務手順書」修正について 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告 5. 3月分死亡患者カルテ確認結果報告 6. 平成28年度東北ブロック医療安全推進担当者養成ワークショップ開催について(当院担当) 7. アクシデント事例経過報告
第2回	平成28年5月25日(水)
	1. 「医療安全管理指針」修正について 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 4月分死亡患者カルテ確認結果報告
第3回	平成28年6月22日(水)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 5月分死亡患者カルテ確認結果報告
第4回	平成28年7月27日(水)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 6月分死亡患者カルテ確認結果報告 5. アクシデント事例経過報告
第5回	平成28年8月24日(水)
	1. アクシデント事例1事例検討 2. 苦情事例について対応検討 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告 5. 7月分死亡患者カルテ確認結果報告 6. 医療事故調査制度について 7. 医師記録について
第6回	平成28年9月28日(水)
	1. 新規同意書申請「精神科訪問看護交通費の同意書」について検討 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 8月分死亡患者カルテ確認結果報告 5. アクシデント事例経過報告
第7回	平成28年10月26日(水)
	1. 同意書修正について検討(合併症の定義追加の件) 2. 医療安全管理マニュアル修正について 3. 患者誤認防止ポスターの修正について 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告 6. 9月分死亡患者カルテ確認結果報告
第8回	平成28年11月30日(水)
	1. アクシデント事例2事例検討 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 10月分死亡患者カルテ確認結果報告

第9回	平成28年12月27日(火)
1. 経管栄養チューブ位置確認方法について 2. 医療安全マニュアルの修正について 3. 新規同意書申請「子宮内搔把術(内膜組織検査)を受けられる方へ」「分娩誘発・陣痛促進剤についての説明及び同意書」について検討 4. 退院処方薬の受け取りに関するヒヤリハット事例検討 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告 7. 11月分死亡患者カルテ確認結果報告 8. QCサークル活動発表会の評価について	
第10回	平成29年1月25日(水)
1. アクシデント事例1事例検討 2. 新規同意書申請「嚥下造影検査についての説明及び同意書」について検討 3. QCサークル活動評価結果報告(優秀部署決定) 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告 6. 12月分死亡患者カルテ確認結果報告 7. アクシデント事例経過報告	
第11回	平成29年2月22日(水)
1. アクシデント事例1事例検討 2. 医療安全推進委員会報告 3. 患者相談室カンファレンス報告 4. 1月分死亡患者カルテ確認結果報告	
第12回	平成29年3月22日(水)
1. アクシデント事例3事例検討 2. 「医薬品の安全使用のための業務手順書」修正について 3. 新規同意書申請「がん免疫療法の説明及び同意書」について検討 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告 6. 2月分死亡患者カルテ確認結果報告	

19. 医療事故調査委員会	
目 的	本院に医療事故やクレーム等が発生した場合、速やかに事故原因の究明と今後の対策等について検討する。
委 員 長	今野 修(副院長)
副委員長	緑川 茂樹(事務部長)

20. 医療安全推進委員会	
目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	阿部 美幸(看護師長、専任リスクマネージャー)
第1回	平成28年4月15日(金)
1. 3月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動及びグループ編成について説明 ・転倒転落防止対策チーム ・患者誤認防止対策チーム ・薬剤管理安全対策チーム 3. ワーキンググループ活動	
第2回	平成28年5月20日(金)
1. 平成27年度ヒヤリハット・アクシデント報告書集計・分析結果報告 2. ワーキンググループ活動	
第3回	平成28年6月17日(金)
1. 4・5月の医療安全管理委員会報告 2. QCサークル活動について 3. ワーキンググループ活動	

第4回	平成28年7月15日(金)
1. ワーキンググループ活動	
第5回	平成28年8月19日(金)
1. 6・7月の医療安全管理委員会報告 2. QCサークル活動について 3. ワーキンググループ活動	
第6回	平成28年9月16日(金)
1. ワーキンググループ活動	
第7回	平成28年10月21日(金)
1. 8・9月の医療安全管理委員会報告 2. QCサークル活動について 3. ワーキンググループ活動中間報告会	
第8回	平成28年11月18日(金)
1. ワーキンググループ活動	
第9回	平成28年12月16日(金)
1. 10・11月の医療安全管理委員会報告 2. QCサークル活動発表会について 3. ワーキンググループ活動	
第10回	平成29年1月20日(金)
1. ワーキンググループ活動	
第11回	平成29年2月17日(金)
1. 12・1月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動	
第12回	平成29年3月17日(金)
1. 2月の医療安全管理委員会報告 2. ワーキンググループ活動年間のまとめと今後の課題報告会	

21. 院内感染対策委員会	
目 的	院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理の万全を期す。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 院長補佐)
第1回	平成28年4月12日(火)
1. 3月分検査データ報告 2. 3月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 平成27年度職員、患者のインフルエンザ罹患状況報告 4) カテーテル関連感染サーベイランス結果報告 5) ICTラウンド結果報告 4. 【審議事項】 ○栄養課が毎月1回実施している便検査の項目にノロウイルスの検査追加の検討	

第2回	平成28年5月10日(火)
1. 4月分検査データ報告 2. 4月分結核発生届報告 3. ICT報告報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 職員、患者のインフルエンザ罹患状況報告 4) 平成27年度MRSAサーベイランス結果報告 5) ICTラウンド結果報告 6) 感染対策研修会予定報告 4. 【審議事項】 ○感染対策マニュアル【12】部門別感染対策 ○集中治療室 改訂案について 5. 【その他】 ○委員長より病院組織の変更について報告。	
第3回	平成28年6月14日(火)
1. 5月分検査データ報告 2. 5月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 職員、患者のインフルエンザ罹患状況報告 4) 平成27年度針刺し・切創報告 5) ICTラウンド結果報告 6) 感染対策研修会実施報告 7) 平成28年度第1回 感染防止対策加算 合同カンファレンス開催報告	
第4回	平成28年7月12日(火)
1. 6月分検査データ報告 2. 6月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) ANIS耐性菌報告(MRSA感染症 2件) 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 6月のICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 平成28年度第1回 感染防止対策合同カンファレンス開催報告	
第5回	平成28年8月9日(火)
1. 7月分検査データ報告 2. 7月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修会予定報告 5) 平成28年度第2回 感染防止対策合同カンファレンス開催予定報告 4. 【審議事項】 ○皮膚消毒薬1%クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール製剤の導入について	
第6回	平成28年9月13日(火)
1. 8月分検査データ報告 2. 8月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 感染対策研修予定報告 6) 平成28年度第2回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 4. 【審議事項】 ○「感染対策マニュアル・血液培養検体の採取法」の改訂	
第7回	平成28年10月11日(火)
1. 9月分検査データ報告 2. 9月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染対策研修報告 5) 平成28年度感染防止対策地域連携相互評価 開催予定報告 6) 平成28年度第3回感染防止対策合同カンファレンス開催予定報告 4. 【審議事項】 ○インフルエンザワクチン接種実施について	

第8回	平成28年11月8日(火)
1. 10月分検査データ報告 2. 10月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 平成28年度感染防止対策地域連携相互評価 開催報告 5) 平成28年度第3回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 6) 耐性菌サーベイランス上半期報告	
第9回	平成28年12月13日(火)
1. 11月分検査データ報告 2. 11月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染研修報告 5) 平成28年度感染防止対策地域連携相互評価報告 4. 【審議事項】 ○院内感染対策委員会議事録周知を目的とした、院内感染対策委員会報告(案)について 5. 【その他】 ○職員のインフルエンザA型の発生報告 ○抗菌薬の見直しについて	
第10回	平成29年1月10日(火)
1. 12月分検査データ報告 2. 12月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) ICTラウンド結果報告 4) 感染研修報告 5) 平成28年度第4回感染防止対策合同カンファレンス開催報告 4. 【審議事項】 ○当院採用抗菌薬検討による抗菌薬使用状況報告・抗菌薬投与報告書改定(案)について	
第11回	平成29年2月14日(火)
1. 1月分検査データ報告 2. 1月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) インフルエンザ感染状況報告 4) ICTラウンド結果報告 4. 【審議事項】 ○当院採用抗菌薬検討により抗菌薬投与報告書改定(案)について	
第12回	平成29年3月14日(火)
1. 2月分検査データ報告 2. 2月分結核発生届報告 3. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) インフルエンザ感染状況報告 4) ICTラウンド結果報告 4. 【審議事項】 ○平成28年度感染研修報告ならびに平成29年度感染研修計画(案)について	

22. 医師・看護師負担軽減対策委員会	
目 的	医師・看護師の負担軽減及び処遇改善に係る計画の策定と実行・評価
委 員 長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 院長補佐)
第1回	平成28年11月22日(火)
1. 平成28年度上半期医師事務作業補助業務報告 2. 今後の業務計画	



## 4. 診療に関する委員会

23. クリニカルパス委員会	
目 的	本院に良質な医療を提供するため各部門参画によるチーム医療の推進を図る。
委 員 長	阪本 貴之(第3循環器内科部長)
副委員長	高木 朝子(看護副部長)
第1回	平成29年度1月26日(木)
1. 電子パスについて	
第2回	平成29年3月30日(木)
1. 電子カルテの準備 2. 「リストアップされた項目を紙ベースで埋める作業」の具体的な説明 3. パスの責任者 4. 現行パスの検証	

24. 輸血療法委員会	
目 的	輸血療法の適応、血液製剤の保管管理・使用状況・適正使用の徹底及び輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策について検討し、適正な輸血療法を推進する。
委 員 長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
第1回	平成28年5月25日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(3、4月分) 2. 定期配送へのご協力のお願について	
第2回	平成28年7月27日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(5、6月分) 2. 院内輸血講演会開催について	
第3回	平成28年9月28日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(7、8月分) 2. 医局会での説明(定期配送へのご協力のお願について) 3. 院内輸血講演会開催日決定	
第4回	平成28年11月30日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(9、10月分) 2. 院内輸血講演会報告 3. 自己血に関する事例報告(室温放置)	
第5回	平成29年1月25日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(11、12月分)	
第6回	平成29年3月29日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(1、2月分) 2. 次年度の輸血療法委員会メンバー変更について	

25. 臨床検査適正化委員会	
目 的	本院の臨床検査の管理、運営上の適正化を図るとともに重要事項を審議し、管理運営に万全を期すため、院内各部署と連携を密にし当院の発展に寄与する。
委 員 長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
副委員長	宮田 昌之(副院長)

第1回	平成28年5月19日(木)
1. 第49回日本医師会精度管理調査報告 2. 保険点数改正に伴い時間外検査項目にHBAIC追加について 3. その他	
第2回	平成28年10月20日(木)
1. 平成28年度日臨技臨床検査精度管理報告 2. その他	

26. 診療情報管理委員会	
目的	本院における診療情報の適正な保管・管理を図るとともに、診療・調査研究等に対し有効に活用できることを定める。
委員長	宮田 昌之(副院長)
第1回	平成28年4月14日(木)
1. 平成27年度総括 —略語使用・医療情報システム検討委員会との統合— 2. 立入検査結果(平成27年12月8日実施) —指導事項 診療録— 3. 診療情報管理規定改訂 —内視鏡の記録方法についての記載— 4. 診療録管理体制加算1→5月以降取得 —サマリ作成率—	
第2回	平成28年5月19日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成28年4月分— 2. 診療録文書の追加 —診療情報提供書(化学療法・緩和ケア)— —薬総評管・薬総評加—→システム記録→管理規定追加 3. 診療情報管理規定 —看護必要度B項目—→システム記録→管理規定追加	
第3回	平成28年6月16日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成28年5月分— 2. 診療録文書の追加(継続審議) —診療情報提供書— 3. 「紙カルテから電子カルテへ」 —診療情報管理の変遷と課題— 4. その他	
第4回	平成28年7月14日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成28年6月分— 2. 診療録文書の追加(継続審議) —診療情報提供書— 3. 「紙カルテから電子カルテへ」 —診療情報管理の変遷と課題— 文書類の一元管理とペーパーレス化→一覧表作成 [今後の課題 記載率90%以上の維持 退院サマリ質の向上]	
第5回	平成28年10月13日(木)
1. サマリ完成率報告 —平成28年9月分— 2. 「紙カルテから電子カルテへ」診療情報管理の変遷と課題 —導入目的の明確化・電子媒体における診療録監査— 3. 診療記録自主管理票について	
第6回	平成28年11月10日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成28年10月分— 2. 「紙カルテから電子カルテへ」診療情報管理の変遷と課題 —診療録自主管理票— 3. 看護要約 —要約記載(2-3病棟)—	

第7回	平成28年12月15日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成28年11月分— 2. 医師別研修医カルテ承認状況報告 3. その他 転帰定義ガイド・入院総括副傷病名欄5行に変更	
第8回	平成29年1月19日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成28年12月— 2. 医師別研修医カルテ承認状況報告 3. 診療情報管理規定 —改訂：カウターサイン 追加：リハビリテーション—	
第9回	平成29年2月16日(木)
1. サマリ作成率報告平成29年1月— 2. 医師別研修医カルテ承認状況報告 3. 退院時サマリ→スケジュール 4. 外来要約 —問題点：オーデット(医師記載状況および内容評価) —	
第10回	平成29年3月29日(木)
1. サマリ作成率報告 —平成29年2月分— 2. 医師別研修医カルテ承認状況報告 3. 退院時サマリ→スケジュール変更 4. 外来要約 5. 診療録・フィルム —外部保管・廃棄—	

27. DPC委員会	
目 的	当院における標準的な診断及び治療方法について院内で周知徹底し適切なコーディングを行う体制を確保する。
委 員 長 副委員長	渡部 洋一(院長) 宮田 昌之(副院長)
第1回	平成28年4月28日(木)
1. 新制度シミュレーション 2. DPCコードの変更点・ここがポイント！(適切なコーディングに関する委員会) 3. 市中肺炎A-DORPスコア 4. 今年度のDPC係数について	
第2回	平成28年5月26日(木)
1. 用度課の取り組み 2. Hファイル作成(厚労省提出)の進捗状況 3. 「持参薬の扱い」進捗状況 4. DPC / PDPS傷病名コーディングテキスト(適切なコーディングに関する委員会) 5. 在院日数短縮に向けた取り組み	
第3回	平成28年7月27日(水)
1. 看護必要度の検証 2. 診療科別入院期間Ⅱ以内退院割合について 3. 県北二次医療圏における機能評価係数Ⅱ比較	
第4回	平成28年8月25日(木)
1. 看護必要度の評価・運用 2. 持参薬の運用とデータ提出 3. 臨床指標の公開について	
第5回	平成28年9月29日(木)
1. 看護必要度・持参薬の進捗報告 2. DPC算定ルール見直しの影響(適切なコーディングに関する委員会) 3. 臨床指標の公開について	
第6回	平成28年10月27日(木)
1. コーディングルールの説明・6事例報告報告(適切なコーディングに関する委員会) 2. 管理料等の算定件数の向上について	
第7回	平成28年11月24日(木)
1. 地域医療構想について 2. 県北医療兼病院指標の比較	

第8回	平成28年12月22日(木)
1. 持参薬の経緯 2. 退院先別に見る入院期間Ⅱ以内退院割合 3. 上半期稼動額について	
第9回	平成29年1月26日(木)
1. 重症度、医療・看護必要度データ作成の取り組み 2. 医師事務作業補助体制加算の変更について 3. 認知症と診療報酬について	
第10回	平成29年2月23日(木)
1. 適切なコーディングに関する委員会(事例報告) 2. 来年度の機能評価係数Ⅱとその分析	
第11回	平成29年3月23日(木)
1. 総合入院退体制加算3について 2. 重症度、医療・看護必要度病棟研修会報告 3. 厚生労働省の動き 4. 「手術・処置等2」について	

28. 手術室運営委員会	
目 的	手術室の円滑な運営を図る。
委 員 長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
副委員長	安達 守(第1麻酔科部長)／岩崎 睦子(看護師長)
第1回	平成28年5月9日(月)
1. 手術室運営委員会及び規定について 2. 手術組織検体の取り扱いについて 3. 手術加算について 4. 麻酔記録・手術看護記録について 5. 手術台デモ機使用について 6. 手術開始時間について	
第2回	平成29年3月21日(火)
1. 新病院に関して 1)映像システムについて 2)無影灯のデモについて 3)サプライ滅菌器械について 2. 手術の申し込みについて	

29. 救急センター運営委員会	
目 的	急患室を利用する救急患者への対応に関する事項を審議し、急患室における業務の適正かつ円滑な運営を図る。
委 員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 院長補佐)
副委員長	高木 朝子(看護副部長 兼 外来看護師長)
第1回	平成29年2月28日(火)
1. 救急搬送患者受け入れについて 2. 検討事項 1)各科救急車当番表の見直し 2)各科対応困難な場合の初期対应当番見直し 3)CPA当番表の見直し 3. その他	

30. ハイケアユニット運営委員会	
目 的	ハイケアユニットの適正な運営を図る。
委 員 長	安達 守(第1麻酔科部長)
副委員長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
第1回	平成28年度7月22日(金)
1. 平成27年度HCU使用状況 2. HCU医療看護必要度の変更について 3. HCU定期点検清掃について 4. VAP予防にむけての取り組み	

31. NST委員会	
目 的	入院患者に適切かつ効果的な栄養管理を行い、治療効果の向上を図る。
委 員 長 副委員長	遠藤 豪一(第1外科部長) 元木 良和(皮膚科部長)
第1回	平成28年4月20日(水)
	1. 平成28年度のNST勉強会について 2. 平成28年度のNSTメンバーについて 3. その他
第2回	平成28年5月18日(水)
	1. ラウンド報告 2. その他
第3回	平成28年6月15日(水)
	1. 症例報告 2. NSTフォーラムについて 3. その他
第4回	平成28年7月20日(水)
	1. 症例報告 2. NST勉強会について 3. その他
第5回	平成28年8月17日(水)
	1. NST勉強会について 2. その他(摂食機能療法促進について)
第6回	平成28年9月21日(水)
	1. 摂食機能療法の促進について 2. NST勉強会について 3. NSTフォーラムについて 4. その他
第7回	平成28年11月16日(水)
	1. ラウンド報告 2. NST勉強会の報告 3. 摂食機能療法ワーキングチームの報告 4. その他
第8回	平成28年12月21日(水)
	1. NSTフォーラムの打ち合わせ報告 2. 摂食機能療法ワーキングチームの報告 3. その他
第9回	平成29年1月18日(水)
	1. 症例報告 2. 摂食機能療法ワーキングチームの報告 3. その他
第10回	平成29年2月15日(水)
	1. 症例報告 2. NSTフォーラムについて 3. その他
第11回	平成29年3月15日(水)
	1. 症例報告 2. NSTフォーラムの反省と今後の開催についての決定事項 3. その他

32. 化学療法検討委員会	
目 的	がん化学療法を実施するにあたって、施設・設備などのハードウェア面、医師・看護師・薬剤師などのスタッフ面、セーフティーマネジメントなどの運用面など、充足すべき課題を検討し、化学療法を安全に、安心して実施するための基本的な考え方、具体的な方法を審議する。また、外来化学療法を実施するための運用についても審議し、実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し承認する委員会を兼ねる。
委 員 長 副委員長	今野 修(副院長) 伊藤 史浩(第2産婦人科部長)
第1回	平成28年4月19日(火)
	1. 曝露対策ガイドライン作成、研修会について 2. パクリタキセルの過敏反応事例報告 3. 化学療法同意書の変更について 4. レジメン変更、制吐剤の見直し

第2回	平成28年5月17日(火)
1. 安全キャビネットについて 2. 効能追加アバスチン・サイラムザ、レミケード	
第3回	平成28年6月21日(火)
1. 外来化学療法室開設後患者数報告 2. レジメン新規申請、変更について 3. 化学療法施行時のモニター装着について 4. 外来がん患者在宅連携指導料について	
第4回	平成28年7月19日(火)
1. レジメンWG ー企画課主導で注射オーダーリングのレジメン登録・管理の取り決めー	
第5回	平成28年9月20日(火)
1. ヒアリハット事例報告 2. 東北がんプロフェッショナル養成及びがん薬物療法研修について 3. 適応追加(オブジーボ、ゼロダ) 4. レジメン新規申請、変更	
第6回	平成28年10月18日(火)
1. フレア現象 2. フラッシュ用生食について 3. レジメン登録について	
第7回	平成28年11月15日(火)
1. アバスチンの蛋白尿チェックについて 2. レジメンオーダー運用について(11月7日より運用開始) 3. 抗がん剤の投与量が50%以下となる場合の対応について 4. レジメン登録状況について	
第8回	平成29年1月17日(火)
1. レジメンオーダー運用について 2. レジメンの新規申請、変更 3. 蓄尿指示について 4. 化学療法室のベットコントロールについて	
第9回	平成29年2月21日(火)
1. 在宅でポンプより抗がん剤投与中ポート漏れの報告 2. 東北厚生局監査ケモ室での質問事項 3. 少量規格インフューザーポンプのメーカー選択について	
第10回	平成29年3月21日(火)
1. PTX投与時レスタミン内服、アルコール製剤のための車運転禁の説明について 2. 化学療法施行前のHBVスクリーニングについて 3. お薬手帳に記載する検査項目について 4. オブジーボ投与時の検査項目セット登録と同意書について	

33. 緩和ケア委員会	
目 的	生命を脅かす疾患に直面した全ての患者とその家族に、早期より全人的苦痛に対する適切な緩和ケア提供を推進する。
委 員 長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
副委員長	齋藤 明子(看護師長)
第1回	平成28年4月19日(火)
1. 今年度の研修計画について 2. その他	
第2回	平成28年7月19日(火)
1. 第1回研修会の報告(平成28年6月21日緩和ケア研修会実施) 2. 第2回研修会について 3. その他	
第3回	平成28年10月25日(火)
1. オピオイドの適正な処方とその啓発について 2. 第2回研修会について 3. その他	

第4回	平成29年2月28日(火)
1. オピオイドの適正な処方とその啓発について 2. 次年度の研修に関してどのような研修内容とするか	

34. 褥瘡対策委員会	
目的	本院における褥瘡予防対策の確立や褥瘡治癒促進に向けて、褥瘡対策マニュアルの作成、褥瘡に関する情報の収集と共有、褥瘡対策についての教育研修の計画及び実施などを通し、褥瘡対策及び関連する事項について調査・審議する。
委員長 副委員長	元木 良和(皮膚科部長) 佐藤 美絵(看護係長、皮膚・排泄ケア認定看護師)
第1回	平成28年4月26日(火)
1. 3月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第2回	平成28年5月24日(火)
1. 4月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第3回	平成28年6月28日(火)
1. 5月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第4回	平成28年7月26日(火)
1. 6月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第5回	平成28年8月23日(火)
1. 7月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第6回	平成28年9月27日(火)
1. 8月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第7回	平成28年10月25日(火)
1. 9月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第8回	平成28年11月22日(火)
1. 10月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第9回	平成28年12月27日(火)
1. 11月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第10回	平成29年2月28日(火)
1. 12月～1月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. ラウンド	
第11回	平成29年3月28日(火)
1. 2月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 部署内活動報告会	

## 5. 教育・研究に関する委員会

35. 医師臨床研修管理委員会	
目 的	本院と臨床協力病院及び臨床研修協力施設とが共同で行う医師の臨床研修の実施を統括管理する。
委員 長 副委員 長	渡部 洋一(院長) 宮田 昌之(副院長)
第 1 回	平成28年10月 4 日(火)
	1. 平成29年度採用初期臨床研修医の選考について 2. 全科当直翌日の勤務に関して
第 2 回	平成29年 3 月 7 日(火)
	1. 平成27年度採用初期臨床研修医 研修修了の認定について 2. 平成28年度採用初期臨床研修医 研修状況について

36. 医師臨床研修プログラム委員会	
目 的	医師の臨床研修の円滑な運営を図る。
委員 長 副委員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長 兼 院長補佐) 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
第 1 回	平成28年 4 月 4 日(月)
	1. 2年次研修医の学会発表、学会参加状況 2. 臨床研修管理委員会(9月開催)の内容に関して 3. 臨床研修プログラム委員会所掌事項 追加事項
第 2 回	平成28年 6 月 6 日(月)
	1. 9月開催予定の臨床研修管理委員会に関して 2. 臨床研修プログラム委員の追加の提案 3. メンターから 4. 小児科研修について
第 3 回	平成28年 8 月 8 日(月)
	1. 臨床研修管理委員会(10月 4 日開催予定)に関して 2. 研修指導状況の評価 3. メンターから
第 4 回	平成28年 9 月21日(水)
	1. 平成29年度マッチング経過報告 2. 2次救急当直の翌日午後
第 5 回	平成28年12月 5 日(月)
	1. 前橋赤十字病院小児科研修報告・それを受けての意見交換
第 6 回	平成29年 2 月 6 日(月)
	1. 来年度研修プログラム案 2. 臨床研修管理委員会での議題 3. 福島赤十字病院臨床研修医同窓会 4. 来年度の外部講師

37. 図書委員会	
目 的	本院全体における診療その他に必要な図書の整備、購入、利用、管理等を検討するとともに、病院図書の有効利用を図る。
委員 長 副委員 長	遠藤 豪一(第1外科部長) 阪本 貴之(第3循環器内科部長)



## 6. 労務及び安全管理に関する委員会

38. 安全衛生委員会	
目 的	職員の安全衛生及び健康管理に関する事項について調査審議し、快適な職場環境を形成する。
委 員 長 副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長 兼 院長補佐) 藤森 春生(精神科部副部長)
第1回	平成28年4月22日(金)
	1. ストレスチェックについて 2. 4月労働者傷病報告について
第2回	平成28年5月27日(金)
	1. 5月労働者傷病報告について 2. 勤務中の暴言・暴力・セクハラ等体験報告について 3. 安全衛生委員会だよりについて
第3回	平成28年6月24日(金)
	1. 6月労働者傷病報告について 2. 勤務中の暴言・暴力・セクハラ等体験報告について
第4回	平成28年7月29日(金)
	1. 7月労働者傷病報告について 2. その他 ・ストレスチェックについて
第5回	平成28年8月19日(金)
	1. 8月労働者傷病報告について 2. ストレスチェック制度実施規程(案)について
第6回	平成28年9月30日(金)
	1. 9月労働者傷病報告について 2. ストレスチェック制度実施について 3. 作業環境測定結果報告
第7回	平成28年10月28日(金)
	1. 10月労働者傷病報告について 2. ストレスチェック制度実施状況について
第8回	平成28年11月25日(金)
	1. 11月労働者傷病報告について
第9回	平成28年12月26日(月)
	1. 12月労働者傷病報告について
第10回	平成29年1月27日(金)
	1. 1月労働者傷病報告について
第11回	平成28年2月24日(金)
	1. 2月労働者傷病報告について 2. 作業環境測定結果について
第12回	平成29年3月24日(金)
	1. 3月労働者傷病報告について

39. 医療ガス安全管理委員会	
目 的	診療の用に供する酸素、笑気ガス、麻酔用エーテル、窒素、炭酸ガス、吸引、医療用圧縮空気等医療用ガスの使用上の安全確保を目的とした保守点検と、医療用ガスに関する設備の部分的な改造修理等にあたって、常に高度の安全管理をする。
委 員 長	管野 隆三(呼吸器外科部長)
副委員長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
第1回	平成29年3月7日(火)
1. 医療ガス設備保守点検結果報告について 2. 医療ガス研修会について 3. その他	

VI

研究発表





# 1. 学会・研究会発表

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
平成28年 4月14日 ～16日	鈴木 恭一	札幌市	第41回 日本脳卒中学会総会	フルオレセイン術中蛍光血管撮影 ～現状とレーザー照明導入による今 後の展開～
4月14日 ～16日	長井健一郎	札幌市	第41回 日本脳卒中学会総会	当院における急性期機械的血栓回収 術の治療成績－STEN retriever導入 後の比較－
4月14日 ～16日	伊藤 裕平	札幌市	第41回 日本脳卒中学会総会	当院における抗凝固療法中の心原性 脳塞栓症発症例の検討
4月15日 ～17日	宮田 昌之 香曾我部絹子	東京都	第113回 日本内科学会総会講演会	発熱・下腿の紫斑、腎炎を発症し PR3-ANCA陽性であった感染症心内 膜炎(IE)の一例
4月21日 ～23日	宮田 昌之	横浜市	第60回 日本リウマチ学会 総会学術集会	関節リウマチ(RA)のトシリズマブ (TOZ)治療においてメトトレキサ ート(MTX)は中止可能か－Michinoku Tocliumab Study(MYSG)でのコホ ート研究
5月1日	根本 浩	郡山市	第2回 細胞検査士資格認定 対策勉強会	小細胞癌のスクリーニング同定を主 として
5月7日	遠藤 豪一 香曾我部絹子	郡山市	第3回 日本臨床外科学会 福島県支部会学術集会	開腹手術後胆汁漏の2例
5月12日 ～14日	松村 勇樹	京都市	第33回 日本呼吸器外科学会 総会及び呼吸器外科 セミナー	「肺腺癌全手術例のEGFR遺伝子変異 を検索すると何が分かるのか？」 「呼吸器外科における次世代シーク エンサーを用いた肺癌ゲノム・遺 伝子解析」
5月12日 ～13日	管野 隆三 井上 卓哉	京都市	第33回 日本呼吸器外科学会総会	辺縁系脳炎を契機に発見された胸 腺腫の一例
5月12日 ～13日	管野 隆三 大和田有紀	京都市	第33回 日本呼吸器外科学会総会	高齢者肺癌に対する外科治療の 成績と臨床的特徴の検討
5月19日 ～21日	佐藤 義憲	京都市	第59回 日本糖尿病学会 年次学術集会	糖尿病ケトアシドーシス時の動脈 血酸素分圧の検討
5月28日	横川沙世子	福島市	第72回 福島循環器談話会	頻発性心室性期外収縮を契機に心 房中隔欠損症の診断が得られ、そ の閉鎖術により心室性期外収縮が 減少した一例
6月3日 ～5日	渡部 寿康	浜松市	日本緩和医療薬学会	癌性疼痛患者のオピオイド誘発 性便秘に対するルビプロストンの 効果の検証
6月4日	佐藤 優紀	盛岡市	第162回 日本循環器学会 東北地方会	Sirolimus eluting stentに 関連のした遅発性イベントを繰 り返した一例

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
6月11日	管野 隆三 猪狩 剛	仙台市	第97回 日本胸部外科学会 東北地方会	肺腺癌に併発した原発性肺髄膜炎腫 の1例
6月11日	角田 圭一	仙台市	第86回 日本小児外科学会 東北地方会	胆道穿孔に発症したTチューブドレ ナージを施行した先天性胆道拡張症 の1例
6月23日 ～24日	垣野内 景	鹿児島市	第78回 耳鼻咽喉科臨床学会	甲状腺超音波検査にて発見された下 咽頭梨状窩瘻の2例
6月25日	吉田 憲司	福島市	第44回 東北赤十字臨床検査 技師会研修会	経頭蓋電気刺激運動誘発電位モニタ リングにおける偽陰性を避けるため の至適刺激強度の検討
6月25日	氏家 洋幸	福島市	第44回 東北赤十字臨床検査 技師会研修会	内視鏡室業務における臨床検査技師 の関わり
6月26日	鈴木 恭一	横浜市	第12回 日本脳神経外科 光線力学学会	レーザー照明を用いたフルオレセイン 蛍光脳血管撮影-周辺構造物と血流 との同時観察の試み-
7月2日	長井健一郎	福島市	第21回 福島脳血管障害治療 研究会	当院でのステントリトリーバーによ る経皮的血栓回収術の治療成績
7月6日 ～7日	大和田尊之	東京都	第25回 日本心血管インター ベンション治療学会	安定狭心症における蛋白のプラーク 脆弱性に対する関与
7月7日 ～9日	黒田 聖仁 菅野有紀子 猪狩 剛	山形市	第201回 日本消化器病学会 東北支部例会	糖尿病性アトシドーシス(DKA)を 契機に発症した急性食道粘膜病変 (AEML)の1例
7月7日	渡部 研一	東京都	第25回 日本心血管インター ベンション治療学会	12年にわたり安定した経過で形成さ れた"routes root appearance"病変を OCTで確認し得た一例
7月7日	横川沙代子	東京都	第25回 日本心血管インター ベンション治療学会	シロリムスステント留置晩期に"Late acquired"とneoatherosclerosisによっ て急性冠症候群を発症した1例
7月8日	菅野有紀子 天海 一明	山形市	第201回 日本消化器病学会 東北支部例会	慢性の経過をたどり内視鏡的な食物 残渣除去が奏功した十二指腸憩室炎 の1例
7月9日	管野 隆三	福島市	第1回 東北胸部疾患研究会 (講師)	術後膿胸に合併した紫斑病2例
7月9日	峯 徹次	福島市	第3回 関節リウマチの寛解を 考える会in福島	関節エコーで評価した生物学的製剤 の効果-ステージごとの検討-

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
7月14日	金子 瑛	いわき市	第73回 福島県診療情報管理 研究会	診療データを用いた経営改善の施策
7月15日 ～17日	渡部 研一	札幌市	第63回 日本不整脈心電図学会 学術集会	A csse of the atrial fibrillation which the cerebral infarction occurred by the discontinuation of rivaroxaban for 3 days for endoscopic mucosal resection
7月23日	管野 隆三 松村 勇輝	仙台市	第55回 日本肺癌学会東北支部 学術集会	肺癌術後に化膿性脊椎炎を来した一例
7月30日	大和田尊之 天海 一明	秋田市	第40回 日本心血管インター ベンション治療学会 東北地方会	異なる一世代DESの異なる病変での Late CATSH UPに対して異なる治 療選択をしていずれも再々狭窄が起 こらなかった一例
8月20日	寺島真由子	福島市	第32回 福島県消化器内視鏡 技師研究会	内視鏡業務に関わるスタッフの医療 安全に対する意識調査
8月20日	氏家 洋幸	福島市	第32回 福島県消化器内視鏡 技師研究会	胆膵疾患における体外式超音波検査 と比較した超音波内視鏡検査の有用 性と問題点－内視鏡技師である検査 技師の立場から－
8月27日	香曾我部絹子	仙台市	第15回 東北臨床免疫研究会	腹痛、発熱、下腿の紫斑で発症した PR#-ANCA陽性の一例
8月27日 ～31日	大和田尊之	ROME - ITALY	ESC 2016	Apolipoprotein b level correlates with the necrotic core in a lesion plaque in patients with stable coronary disease
9月3日	伊藤 裕平	山形市	第53回 日本脳神経外科学会 東北支部会	当院における院内発症脳主幹動脈閉 塞例の検討
9月9日 ～10日	角田 圭一	山形市	第42回 東北小児外科研究会	後腹膜原発新生児神経芽腫の術後に 総胆管狭窄を来した一例
9月9日 ～10日	守谷 新	山形市	第98回 日本神経学会東北地方会	胸腺腫に伴う傍腫瘍性辺緑脳炎の一例
9月17日	國島麻実子	福島市	第36回 福島心疾患治療談話会	主に食事中に失神を認めた状況失神 の一例
9月17日 ～19日	武藤 壮平	京都市	第26回 日本医療薬学会年会	薬薬連携で残薬消滅に取り組んだ現 状報告～第2報～
9月19日	土田あゆみ	仙台市	第12回 固定チームナーシング 研究会 東北地方会	経口摂食が困難な患者の“食べたい” と思う気持ちを支援する関わり

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
9月23日 ～25日	草野 敬悟	東京都	第64回 日本心臓病学会学術集会	左前下行枝へのステント留置直後に左主幹部に血腫を伴う進行性解離を来し、治療方針に苦慮した一例
9月23日 ～25日	佐藤 優紀	東京都	第64回 日本心臓病学会学術集会	Sirolimus eluting stent関連の遅発性イベントを繰り返す中で、二度の急性冠症候群の経過中二度とも脳梗塞を来したハイリスクアテローム血栓症の一例
9月23日 ～25日	天海 一明	東京都	第64回 日本心臓病学会学術集会	心室性期外収縮を契機に心房中隔欠損症の診断が得られ、その閉鎖術により心室性期外収縮が減少した一例
9月24日	小河原貴之	いわき市	第23回 福島NSTフォーラム	とろみ状経管栄養剤使用により下痢と褥瘡の改善を認めた1症例
9月25日	渡部 寿康	郡山市	福島県薬剤師学術大会	「熊本地震」災害救護活動報告①
9月25日	薄 大介	郡山市	福島県薬剤師学術大会	「熊本地震」災害救護活動報告②
9月29日 ～ 10月1日	鈴木 恭一	福岡市	第75回 日本脳神経外科学会 学術総会	レーザー照明手術顕微鏡でのフルオレセイン蛍光脳血管撮影Part2周辺構造物と血流との同時観察の試み
9月29日 ～ 10月1日	伊藤 裕平	福岡市	第75回 日本脳神経外科学会 学術総会	レーザー照明手術顕微鏡でのフルオレセイン蛍光脳血管撮影Part1キセノン照明との比較
9月29日 ～ 10月1日	長井健一郎	福岡市	第75回 日本脳神経外科学会 学術総会	バイパス手術における脳表血流評価 蛍光脳血管撮影と2次元レーザー血流画像検査の有用性と限界
10月8日	大沼 夏澄	郡山市	第80回 福島脳神経外科懇話会	終末期脳腫瘍患者の家族と関わって
10月14日 ～15日	鈴木 直人	仙台市	日本手術看護学会	腹腔鏡下結腸切除術を受ける患者の褥瘡・神経障害予防の取り組みについて
10月15日	森 湧平	郡山市	第45回 cardiovascular intervention conference	造影上判別困難な回旋枝入口部病変に対してステント・KBTに治療した一例
10月19日 ～20日	籠島 彰人	シンガポール	ASVS2016	Long-term Outcomes of Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm in an Aging Society
10月20日 ～21日	二階堂雄平	宇都宮市	第52回 日本赤十字社医学会総会	震災から5年間の入院患者分析 ～なぜ避難住民の入院患者が増え続けるのか～
10月21日 ～22日	鈴木 恭一	旭川市	第37回 日本レーザー医学会総会	レーザー照明手術顕微鏡の現状

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
10月21日	遠藤 豪一	福島市	第354回 福島消化器病研究会	右半結腸が嵌頓した巨大Amyand herniaの一例
10月22日	武井 明美	郡山市	リウマチ-ワークショップ in福島フォロアップ会	研修参加後の自施設での取り組み
10月24日	長井健一郎	南相馬市	第79回 福島脳神経外科談話会	ステントリバーによる経皮的血栓回収術の経験
10月27日 ～29日	浅野 聡子	郡山市	第46回 日本臨床神経生理学会 学術大会	言語音と単純音の逸脱刺激を用いた時間統合窓の左右差についての検討
11月3日 ～5日	出羽 明子 天海 一明 國島麻実子	高知市	第36回 日本臨床麻酔学会	原因不明の四肢筋力低下、2型呼吸不全を呈し人工呼吸器離脱が困難であった1例
11月4日 ～5日	佐藤 法義	大阪市	第43回 日本股関節学会	短外施筋温存法による後方アプローチTHAの脚延長量の検討
11月5日	後藤 大介	東京都	第16回 精神疾患と認知機能 研究会	簡易客観的精神指標(UBOM)でみた健常者、広汎性発達障害、統合失調症における差異
11月5日 ～6日	早坂美智子	石巻市	第7回 東北ブロック研修会 日本赤十字社臨床工学 技士会	当院における臨床工学技術課の業務紹介
11月6日	佐藤 竜馬	郡山市	平成28年度福島県放射 線技師会学術大会	手指MRI検査の補助具およびポジショニング
11月12日	佐藤 義憲	仙台市	第54回 日本糖尿病学会 東北地方会	繰り返す低血糖にグルコース静注を繰り返したところ痙攣発作をきたした摂食障害の1例
11月12日 ～13日	野地もも子	仙台市	第54回 日本糖尿病学会 東北地方会	ソフトドリンクケトーススが原因と考えられた急性膵炎の1例
11月12日 ～13日	國島麻実子	仙台市	第54回 日本糖尿病学会 東北地方会	多発性骨髄腫に併発したインスリン自己免疫症候群と考えられる1例
11月12日 ～13日	矢澤 浩之	仙台市	第39回 日本産婦人科手術学会	LM後の妊娠経過中に胎児機能不全を呈した不全子宮破裂症例
11月5日 ～6日	武藤 壮平	名古屋市	日赤臨床薬学研修会	福島県北地区における薬薬連携～残薬削減への取り組み～
11月19日	市川 剛	福島市	福島脳血管内治療 カンファレンス2016	当院での機械的血栓回収術の経験と成績
11月24日 ～25日	橋本 健一	福島市	平成28年度東北ブロッ ク赤十字病院リスクマ ネージャー養成ワーク シップ	ME部門における医療安全担当者の役割

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
11月24日 ～26日	市川 剛	神戸市	第32回 日本脳神経血管内治療 学会学術総会	穿通枝梗塞で発症した血栓化中大脳 動脈瘤に対してコイル塞栓術を行っ た一例
11月24日 ～26日	中山 彩	神戸市	第32回 日本脳神経血管内治療 学会学術総会	当院における機械的血栓除去術の統 一プロトコルの作成
11月24日 ～26日	国島やよい	神戸市	第32回 日本脳神経血管内治療 学会学術総会	当院における脳虚血用MRI検査統一 プロトコルの作成
11月24日 ～26日	紺野みゆき	神戸市	第32回 日本脳神経血管内治療 学会	当院における脳血管内治療セットの 作成～迅速で安全な治療を患者さま へ提供するために～
11月25日 ～26日	郡司 崇志	東京都	第78回 日本臨床外科学会総会	後腹膜脂肪肉腫再発の1例
11月26日 ～27日	宮田 昌之 菅野有紀子	福島市	第26回 日本リウマチ学会 北海道・東北支部集会	関節リウマチ3症例(メトトレキ サート(MTX)治療中の関節リウマ チ患者での肝障害について)
11月26日	角田 圭一	郡山市	第5回 福島県新生児談話会	後腹膜原発新生児神経芽腫の術後に 総胆管狭窄を来した1例
12月6日	根本 浩	福島市	第3回 県北細胞診勉強会	婦人科陰部断端細胞診について
12月8日 ～10日	矢澤 浩之	横浜市	第29回 日本内視鏡学会総会	THLにおける2Dと3D内視鏡シス テムによる手術実績の比較検討
12月19日 ～21日	猪狩 剛	福岡市	第57回 日本肺癌学会学術集会	肺腺癌に併発した原発性肺髄膜炎腫 の1例
12月19日 ～21日	渡邊 譲	福岡市	第57回 日本肺癌学会学術集会	肺癌の縦隔リンパ節転移に対する PET/CTの有用性の検討
12月19日 ～21日	井上 卓哉	福岡市	第57回 日本肺癌学会学術集会	肺癌術後に化膿性脊椎炎をきたした 一例
平成29年 1月23日	長井健一郎	郡山市	第5回 福島NRカンファレンス	術中破裂を来し、術後に付随運動を 呈した内頸動脈瘤の1例
2月2日 ～3日	菅野有紀子 猪狩 剛	仙台市	第158回 日本消化器内視鏡学会 東北支部例会	A型胃炎に発生した早期胃癌と多発 胃神経内分泌腫瘍に対しESDを施行 した1例
2月3日 ～4日	菅野有紀子 加藤 恒孝	仙台市	第202回 日本消化器病学会 東北支部例会	肝外門脈閉塞症と多発胆管結石を 合併したIHBC(Intra-hepatic biliary cyst)の1例
2月4日	菅野 隆三 渡邊 譲	仙台市	第33回 東北肺癌研究談話会	胸腺腫摘出後、合併した自己免疫性 疾患に対する免疫療法中に発症した 炎症性肉芽腫の2例

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
2月4日	黒田 聖仁	仙台市	第202回 日本消化器病学会 東北支部例会	肝外門脈閉塞症と多発胆管結石を合併したIHBC(Intra-hepatic biliary cyst)の1例
2月4日	角田 圭一	福島市	第28回 福島小児外科研究会	鑑別診断に難渋した後腹膜原発静脈性血管奇形
2月18日	長井健一郎	福島市	平成28年度福島県地域医療症例検討会	術後に不随意運動と情動障害を呈した内頸動脈瘤の1例
2月24日 ～25日	市川 剛	仙台市	第35回 日本脳神経血管内治療学会東北地方会	Craniocervical junction DAVFの一例
3月3日 ～4日	後藤 大介	東京都	第26回 日本社会精神医学会	高齢認知症患者の症状と家族介護者の対応の関連性における後方視的検討
3月4日	市川 剛	福島市	FUKUSHIMA NEURO IVR SEMINAR	当院での機械的血栓回収術の経験と成績
3月4日	佐藤 恵美	福島市	福島NeuroIVRセミナー	当院における機械的血栓除去術に対する工夫
3月11日	葛城 美貴	福島市	第24回 福島NSTフォーラム	誤嚥性肺炎を繰り返す精神疾患患者にNSTが介入した1症例
3月16日 ～19日	森 湧平	大阪市	第42回 日本脳卒中学会学術集会	脳梗塞・脳内出血・細菌性脳動脈瘤に対する治療を要した感染症心内膜炎の一例
3月16日 ～19日	長井健一郎	大阪市	第46回 日本脳卒中の外科学会学術集会	STA-MCA吻合術における脳表血流評価 蛍光脳血管撮影血流解析と2次元レーザ血流画像の有用性と限界
3月26日	橋本 健一	郡山市	福島県臨床工学工学 技士学術集会	急性脳梗塞における機械的血栓除去術に対する工夫
3月27日 ～30日	垣野内 景	浜松市	第94回 日本生理学学会	鶏卵漿尿膜(CAM)の経漿尿膜電位に寄与するイオンチャンネルの検討



## 2. 学会・研修会講演

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
平成28年 4月10日	後藤 大介	福島市	認知症の人と家族の会 第32回福島地区定期総 会記念講演会	認知症になっても住み慣れた地域で 生活し続けるために
5月13日	渡部 洋一	伊達市	赤十字健康講演	脳卒中ってどんな病気？ 脳卒中になったらどうする？
5月17日	安藤 精一	福島市	赤十字健康講演	動脈硬化と血栓症について
6月16日	鈴木 恭一	福島市	Anticoagulation Conference in Fukushima(講師)	脳卒中発症予防に関する福島県内市 町村の取り組み
6月19日	宮田 昌之	郡山市	第44回 日本リウマチ友の会 定期総会・大会	関節リウマチにおけるメトトレキ サートの重要性と上手な使い方
6月22日	渡部 洋一	郡山市	郡山医学会	実臨床における心原性脳塞栓症二次 予防の課題
7月2日	宮田 昌之	函館市	RA Union Meeting in Hakodate	関節リウマチ治療中の肝障害について
7月5日	渡部 洋一	福島市	平成28年度福島県市町 村保健活動推進連絡協 議会県北部会研修会	心房細動による脳梗塞の予防
7月30日	渡部 洋一	札幌市	Xarelto Expert Meeting for Neurosurgery & Neurology	構築されつつあるDOACの実臨床エ ビデンスー脳梗塞急性期治療や再発 予防を考えるー
8月2日	佐藤る美子	石川町	平成28年度日本赤十字 社福島県支部県中地区 有功会総会・研修会	美味しく食べて健康でいよう！ ～元気に夏をのりきるために～
8月4日	渡部 洋一	郡山市	平成28年度熊本地震に おける医療支援報告会 (講師)	熊本地震における日本赤十字社の活 動及び当院の医療支援
8月19日	渡部 洋一	米沢市	第14回 米沢先端医療勉強会	福島第一原発事故における当院の対 応および事故から5年後の福島の現 状と課題
9月15日	菅野 直樹	福島市	平成28年度福島市登録 派遣手話通訳者研修会	ストレスとの上手な付き合い方 ～ストレスを理解する、ストレス対 処の方法を学ぶ～
9月21日	渡部 洋一	福島市	福島県北脳心連携の会	実臨床における心原性脳塞栓症二次 予防の現状と課題
9月21日	大和田尊之	福島市	福島県北脳心連携の会	肺血栓塞栓症、深部静脈血栓症の診 断と管理
9月21日	宮田 昌之	東京都	日本赤十字社副院長会議	東日本大震災から病院新築への5年 間の歩み

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
9月25日	後藤 大介	郡山市	福島県医師会メンタルヘルス学術講演会	子どもたちのセルフケア力を高めるためには
10月6日	宮田 昌之	横浜市	IL-6 BLOCKADE AU Tumn Seminar in Yokohama	MTXのTCZ治療における位置づけとMTX治療でみられる肝障害について
10月6日	鈴木 恭一	いわき市	平成28年度福島県臨床研修病院ネットワーク指導医セミナー	マッチングゼロからフルマッチへの道のり
10月17日	後藤 大介	福島市	Paliperidone Web Seminar from Fukushima	インウエガ錠を使いこなす ～実戦でどう使うか?～
10月28日	宮田 昌之	東京都	第14回 Japan Rheumatology Conference	MTX関連肝障害(続報)
10月29日	菅野 直樹	横浜市	全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会 関東ブロック研修会	災害時における福祉の役割
11月2日	後藤 大介	福島市	福島市立ひらの幼稚園 教養講座	親と子のメンタルヘルス
11月9日	阪本 貴之	南相馬市	相馬郡医師会講演会	心房細動と抗凝固療法
11月28日	渡部 洋一	川俣町	Anticoagulation Seminar in Kawamata	心原性脳塞栓症の予防を考える -DOACによる抗凝固療法の有用性-
11月29日	後藤 大介	福島市	不安とうつを考える会	不安とうつについて
12月8日	後藤 大介	福島市	第42回 心身医学・リエゾン精神医学セミナー	DPATにおける包括的課題提供 -災害フェーズに沿った薬物治療を含むその役割について-
12月10日	今野 修	白河市	第5回 福島医療の質・安全フォーラム	パネルディスカッションによる医療事故調査制度に対する当院の取組み発表
12月13日	後藤 大介	福島市	福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部 12月合同研修会	災害派遣精神医療チーム(DPAT)の創設と役割、そして災害精神医療について
12月23日	後藤 大介	会津若松市	福島県DPAT基礎研修会(会津方部)	災害派遣精神医療チーム(DPAT)の創設と役割について
平成29年 1月14日	後藤 大介	本宮市	本宮市認知症講演会	誰もなりたくはないけど、なってしまう認知症-早く見つけるとこんな良いことがある-
2月7日	渡部 洋一	南相馬市	Stroke Seminar in Minamisoma	心原性脳塞栓症の急性期治療と再発予防 -実臨床におけるDOACの有用性-

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
2月11日	今野 修	福島市	第8回 ふくしま市民フォーラム	福島市民がん検診の実施状況と今後 ～乳がん検診について～
2月13日	渡部 洋一	仙台市	脳心腎関連 up to date	心原性脳塞栓症の2次予防 -DOACによる抗凝固療法と全身管理-
2月13日	後藤 大介	伊達市	福島県伊達地区認知症 高齢者運転免許問題に ついての研修会	認知症と自動車運転
2月23日	後藤 大介	郡山市	福島県DPAT基礎研修会 (中通り方部)	災害派遣精神医療チーム(DPAT)の 創設と役割について
2月24日	後藤 大介	いわき市	福島県DPAT基礎研修会 (浜通り方部)	災害派遣精神医療チーム(DPAT)の 創設と役割について
2月27日	後藤 大介	国見町	院内研修会における講演 (認知症講演会)	認知症の基本的な理解-認知症疾患 医療センターの役割を含めて-
3月15日	後藤 大介	福島市	認知症サポーター 養成指導者講習会	認知症の基本的な理解-早期からの気 づきと対応の必要性について-
3月16日 ～19日	鈴木 恭一	大阪市	STROKE2017	レーザー照明手術顕微鏡を用いた蛍光 脳血管撮影の現状
3月22日	後藤 大介	福島市	福島県若年性認知症 講演会	若年性認知症への対応の現状について



### 3. 論文発表・著書

著者	論文名	誌・巻(号)ページ
Wataru Fukuda, Tadamasa Hanyu, Masaki Katayama, Shinichi Mizuki, Akitomo Okada, <u>Masayuki Miyata</u> , Yuichi Handa, Masatoshi Hayashi, Yoshinobu Koyama, Kaoru Arii, Toshiyuki Kitaori, Hiroyuki Hagiya, Yoshinori Urushidani, Takahito Yamasaki, Yoshihiko Ikeno, Tsuyoshi Suzuki, Atsushi Omoto, Toshifumi Sugitani, Satoshi Morita, Shigeo Inokuma	Incidence of hepatitis B virus reactivation in patients with resolved infection on immunosuppressive therapy for rheumatic disease : a multicentre, prospective, observational study in Japan	Ann Rheum Dis doi : 10.1136/annrheumdis-2016-209973
Inoue T, Owada Y, Watanabe Y, Muto S, Okabe N, Yonechi A, <u>Kanno R</u> , Suzuki H	Recurrent Intrapulmonary Solitary Fibrous Tumor With Malignant Transformation	Ann Thorac Surg 102, 43-45, 21016
Takagi H, Owada Y, Inoue T, Watanabe Y, Yamaura T, Fukuhara M, Mutoh S, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Yonechi A, Osugi J, Hoshino M, Shio Y, Fujii K, <u>Kanno R</u> , Ohisi A, Suzuki H, Gotoh M	Efficacy and tolerability of nanoparticle albumine-bound paclitaxel in combination with carboplatin as a late-phase chemotherapy for recurrent and advanced non-small-cell lung cancer : A multi-center study of Fukushima lung cancer association group of surgeons	Oncology Letters 13(6), 4315-4321, 2017
伊藤 裕平、 市川 剛、 鈴木 恭一、 渡部 洋一	Drip, Ship, and Retrieve システムにより良好な転帰を得た重症脳梗塞の1例	福島医学雑誌66 : 198-203, 2016
鈴木 恭一、 市川 剛、 渡部 洋一	術中蛍光脳血管撮影. 木内博之(編).プライム脳神経外科 脳動脈瘤	三輪書店. 東京. 29-34, 2017

著 者	論文名	誌・巻(号)ページ
遠藤 豪一	小腸壊死で発症し術後多発性静脈血栓症を併発した先天性AT-Ⅲ欠損症の一例	日本臨床外科学会誌 第77巻12号 2915 - 2919
Ohwada T, Yokokawa T, Kanno Y, Hotsuki Y, Sakamoto T, Watanabe K, Nakazato K, Takeishi Y.	Vascular composition data supporting the role of N-3 polyunsaturated fatty acids in the prevention of cardiovascular disease events.	Data Brief. 2016 Apr 7;7 : 1237-47.

---

福島赤十字病院  
平成28年度 病院年報

通算第7号  
平成30年2月発行

編集◎福島赤十字病院 事務部企画課  
発行◎福島赤十字病院

〒960-8530 福島県福島市入江町11-31  
TEL 024-534-6101(代表) FAX 024-531-1721  
<http://www.fukushima-med-jrc.jp/>

copyright©JAPANESE RED CROSS FUKUSHIMA HOSPITAL All rights reserved.

---



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.